

資料編

狛江市市民参加と市民協働に関する審議会答申（総合的評価）

平成 24 年 12 月 14 日

狛江市市民参加と市民協働に関する審議会

目 次

○平成 23 年度市民参加の実施状況 平成 22 年度との比較・過去の状況	… 1
○公募市民委員アンケート集計結果	… 20
○公募市民委員アンケート用紙	… 40
○平成 23 年度市民協働事業概要調査	… 42
○平成 23 年度市民協働事業概要調査一覧	… 54
○市民協働事業評価アンケート 評価のまとめ	… 77
○市民協働事業評価アンケート結果	… 80
○市民協働事業評価アンケート用紙	…115

平成 23 年度市民参加の実施状況 平成 22 年度との比較・過去の状況

【審議会等】

1. 審議会等の数

平成 23 年度 会議数—45

・基本条例第 5 条該当：27

・自主的に市民参加：14

(5 条該当かつ自主的に市民参加せず：4)

平成 22 年度 会議数—37

市で設置している審議会等（委員会、協議会など）で、議題・検討内容が市民参加と市民協働の推進に関する基本条例第 5 条に該当するもの、及び自主的に市民参加手続を行っている会議数

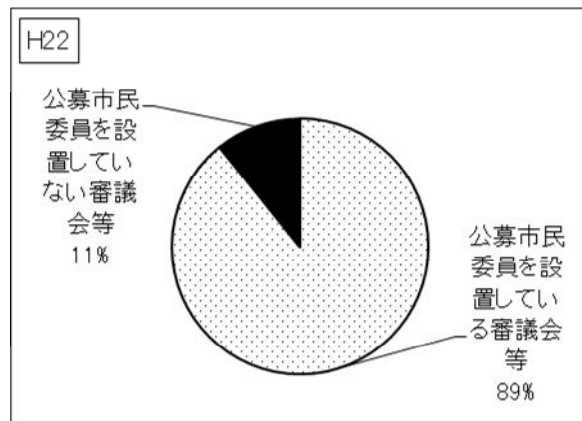
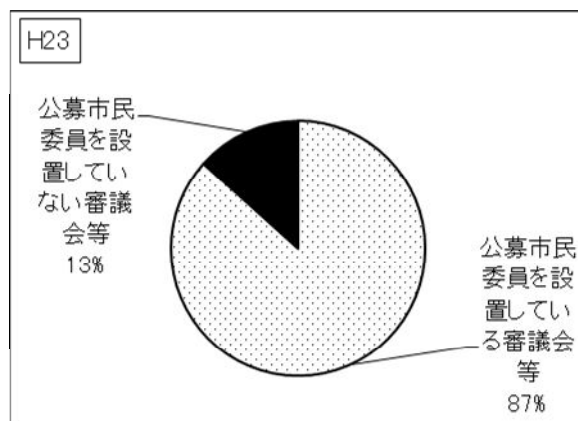
2. 公募市民委員の有無

平成 23 年度

公募市民委員を設置している審議会等	39 件	87%
公募市民委員を設置していない審議会等	6 件	13%
計	45 件	

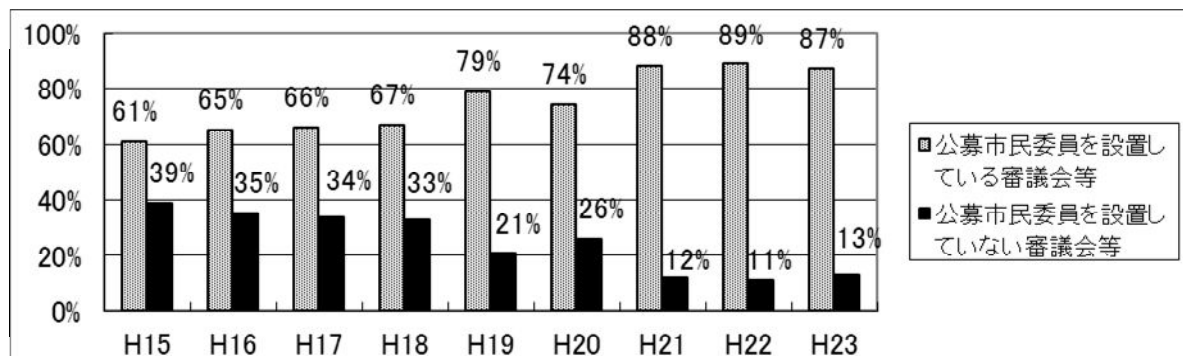
平成 22 年度

公募市民委員を設置している審議会等	33 件	89%
公募市民委員を設置していない審議会等	4 件	11%
計	37 件	



過去の状況

	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
公募市民委員を設置している審議会等	61%	65%	66%	67%	79%	74%	88%	89%	87%
公募市民委員を設置していない審議会等	39%	35%	34%	33%	21%	26%	12%	11%	13%



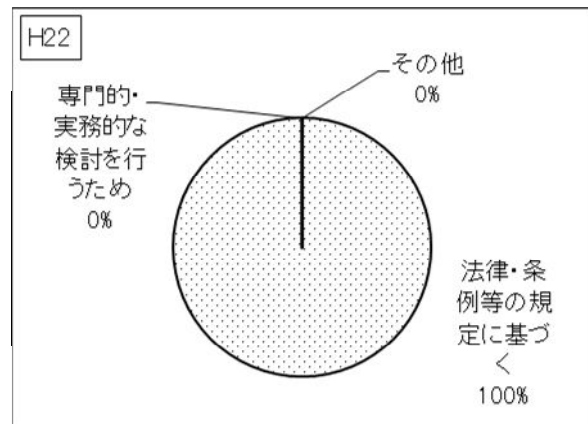
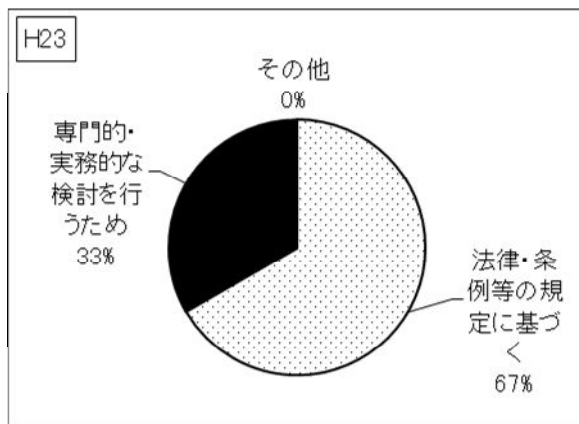
3. 公募市民委員枠がない場合の理由

平成 23 年度

法律・条例等の規定に基づく	4 件	67%
専門的・実務的な検討を行うため	2 件	33%
その他	0 件	0%
計	6 件	

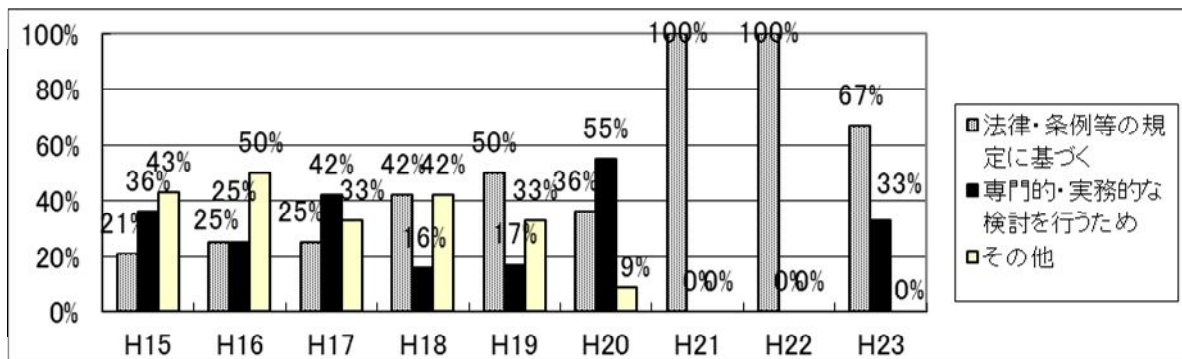
平成 22 年度

法律・条例等の規定に基づく	4 件	100%
専門的・実務的な検討を行うため	0 件	0%
その他	0 件	0%
計	4 件	



過去の状況

	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
法律・条例等の規定に基づく	21%	25%	25%	42%	50%	36%	100%	100%	67%
専門的・実務的な検討を行うため	36%	25%	42%	16%	17%	55%	0%	0%	33%
その他	43%	50%	33%	42%	33%	9%	0%	0%	0%



* 平成 23 年度の公募市民委員の定数

- ・ 2 名以下の審議会等：9 件 23%
- ・ 3 名以上の審議会等：30 件 77%

平成 23 年度の公募市民委員の人数

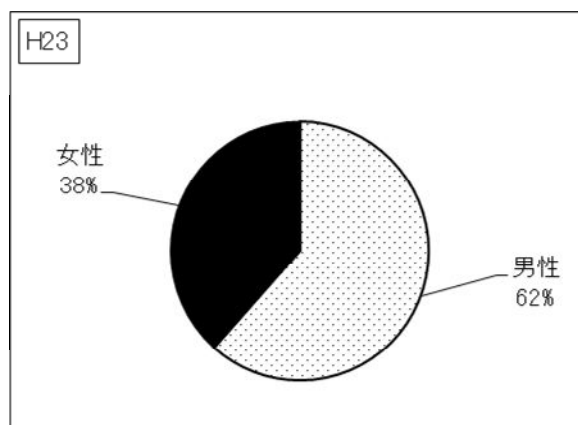
- ・ 2 名以下の審議会等：18 件 49%
- ・ 3 名以上の審議会等：19 件 51%

※委嘱していない 2 会議 (2 件) は含まず。

4. 公募市民委員の男女の割合

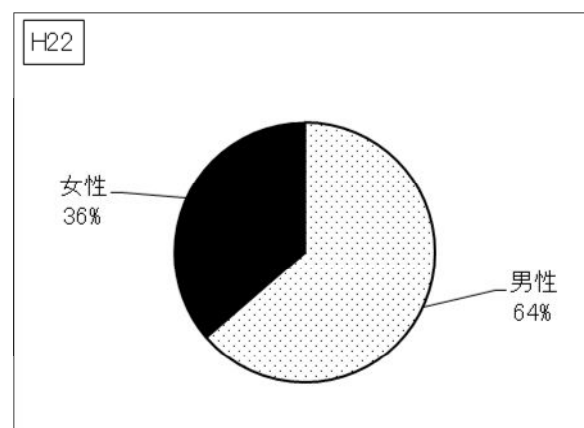
平成 23 年度

男性	85 名	62%
女性	53 名	38%
計	138 名	



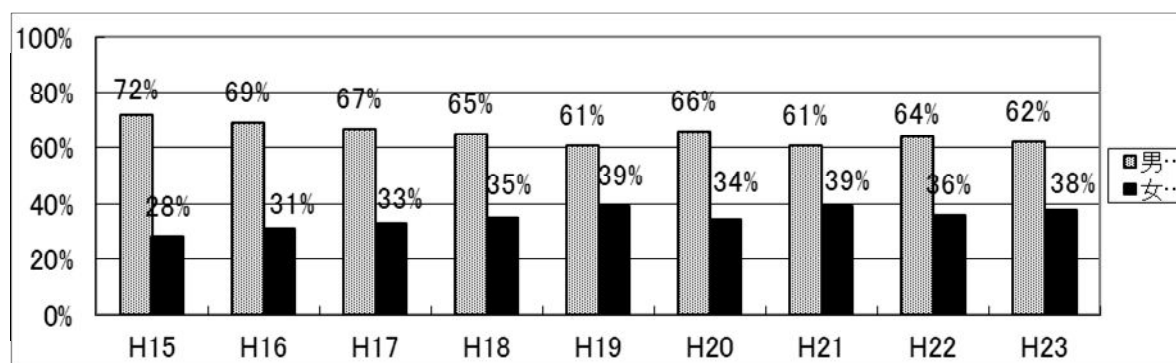
平成 22 年度

男性	72 名	64%
女性	41 名	36%
計	113 名	



過去の状況

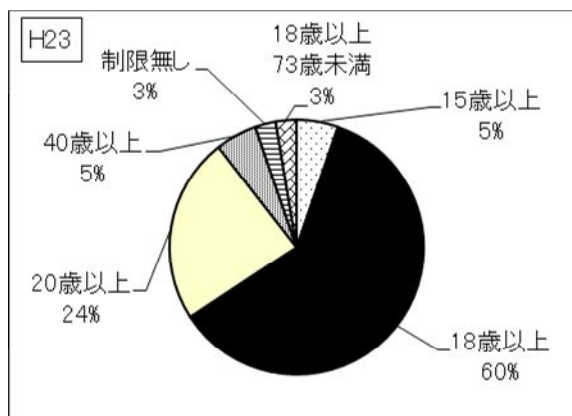
	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
男性	72%	69%	67%	65%	61%	66%	61%	64%	62%
女性	28%	31%	33%	35%	39%	34%	39%	36%	38%



5. 公募市民委員の応募条件 <年齢>

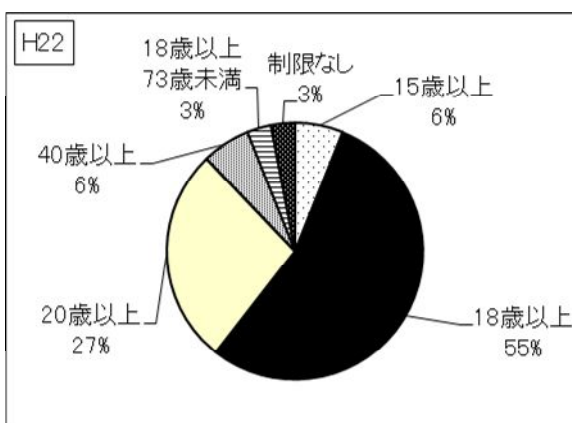
平成 23 年度

15 歳以上	2 件	5%
18 歳以上	23 件	60%
20 歳以上	9 件	24%
40 歳以上	2 件	5%
制限無し	1 件	3%
18 歳以上 73 歳未満	1 件	3%
計	38 件	



平成 22 年度

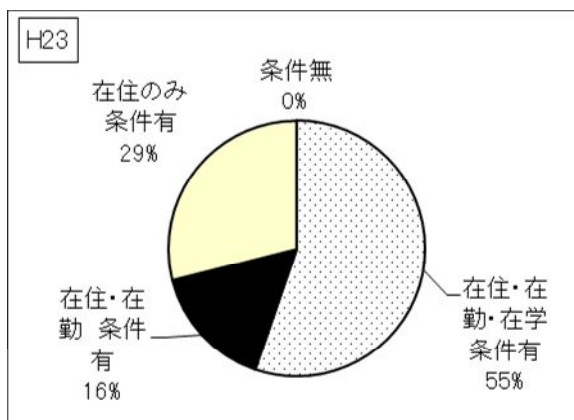
15 歳以上	2 件	6%
18 歳以上	18 件	55%
20 歳以上	9 件	27%
40 歳以上	2 件	6%
制限無し	1 件	3%
18 歳以上 73 歳未満	1 件	3%
計	33 件	



6. 公募市民委員の応募条件 <在住><在勤><在学>

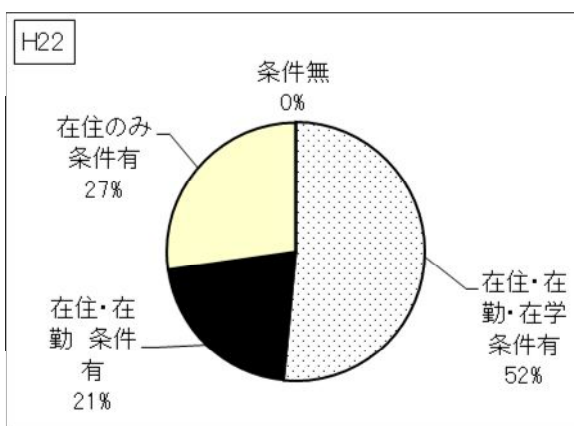
平成 23 年度

在住・在勤・ 在学条件有	21 件	55%
在住・在勤 条件有	6 件	16%
在住のみ 条件有	11 件	29%
条件無	0 件	0%
計	38 件	



平成 22 年度

在住・在勤・ 在学条件有	17 件	52%
在住・在勤 条件有	7 件	21%
在住のみ 条件有	9 件	27%
条件無	0 件	0%
計	33 件	



過去の状況

	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
在住・在勤・在学 条件有	9%	9%	9%	25%	30%	42%	57%	52%	55%
在住・在勤 条件有	9%	17%	17%	21%	22%	23%	19%	21%	16%
在住のみ 条件有	50%	48%	48%	46%	35%	35%	24%	27%	29%
条件無	32%	26%	26%	8%	13%	0%	0%	0%	0%

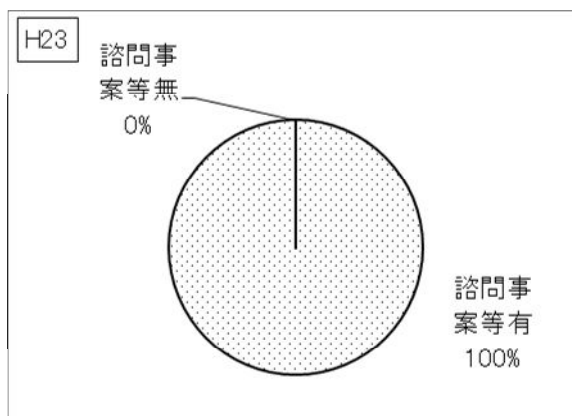
7. 公募市民委員の応募条件 <その他>

公募市民委員の応募条件のその他として、「会議内容に関心のある者」、「被保険者」、「サービス利用者」、「サービス従事者」、「公民館利用団体の構成員」等の条件を付している。

8. 諮問等事案の有無

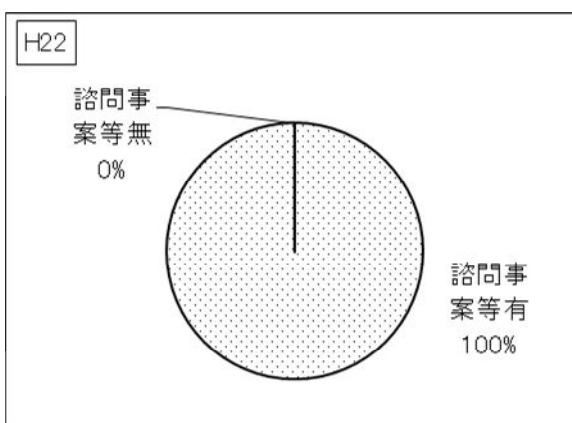
平成 23 年度

諮問等事案有	40 件	100%
諮問等事案無	0 件	0%
計	40 件	



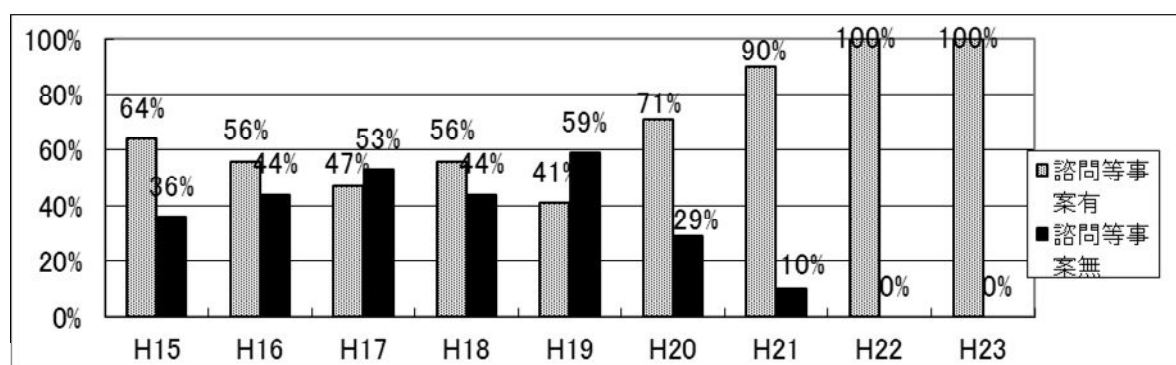
平成 22 年度

諮問等事案有	34 件	100%
諮問等事案無	0 件	0%
計	34 件	



過去の状況

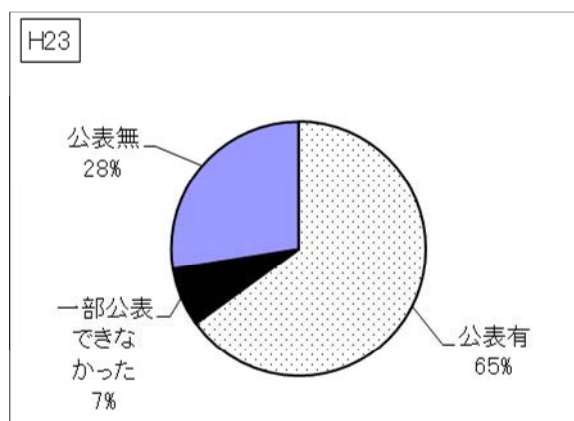
	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
諮問等事案有	64%	56%	47%	56%	41%	71%	90%	100%	100%
諮問等事案無	36%	44%	53%	44%	59%	29%	10%	0%	0%



9. 諮問等事案の公表の有無

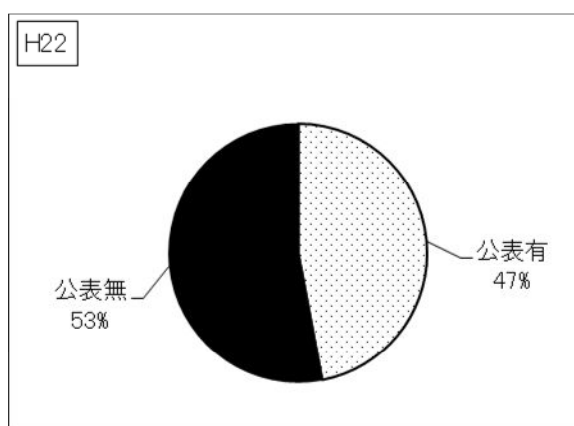
平成 23 年度

公表有	26 件	65%
一部公表できなかった	3 件	7%
公表無	11 件	28%
計	40 件	



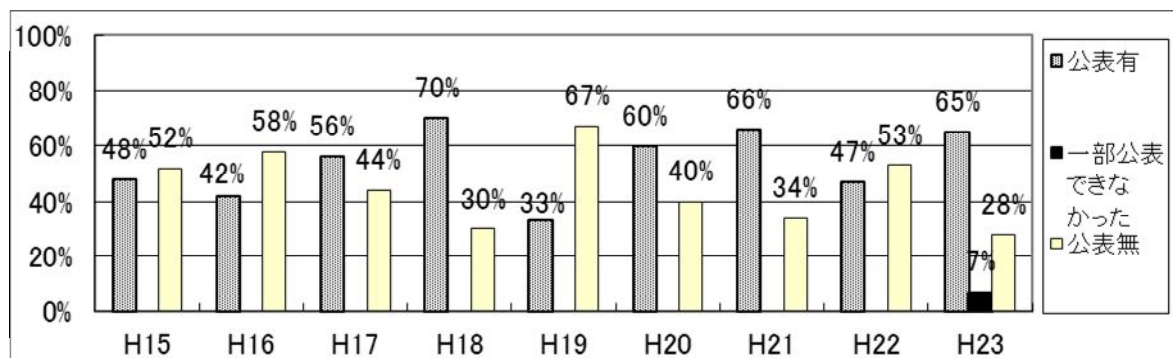
平成 22 年度

公表有	16 件	47%
公表無	18 件	53%
計	34 件	



過去の状況

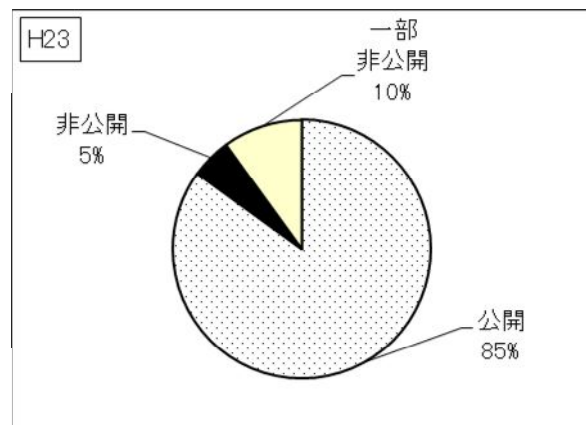
	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
公表有	48%	42%	56%	70%	33%	60%	66%	47%	65%
一部公表できなかった	—	—	—	—	—	—	—	—	7%
公表無	52%	58%	44%	30%	67%	40%	34%	53%	28%



10. 審議会等の公開

平成 23 年度（開催された会議）

公開	34 件	85%
非公開	2 件	5%
一部非公開	4 件	10%
計	40 件	



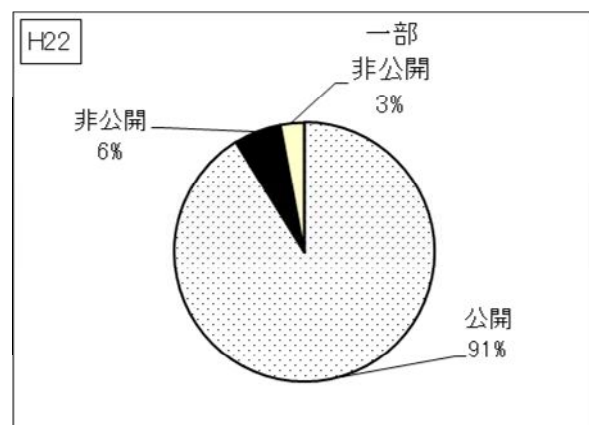
設置はされているが未開催会議が 5 件。

非公開の理由は、「法人等意思決定に関わるため」「審査に傍聴者等からの影響を避けるため」。

一部非公開の理由は、「個人情報保護条例第 31 条の 2 第 5 項」、「情報公開条例第 18 条第 5 項」、「個人情報や選定に関わるため」、「審査時に委員の活発な発言を促すため」。

平成 22 年度（開催された会議）

公開	31 件	91%
非公開	2 件	6%
一部非公開	1 件	3%
計	34 件	



設置はされているが未開催会議が 3 件。

非公開の理由は、「個人情報保護条例第 31 条の 2 第 5 項」、「情報公開条例第 18 条第 5 項」。

一部非公開の理由は、「諮問内容に個人情報が含まれていたため」。

過去の状況

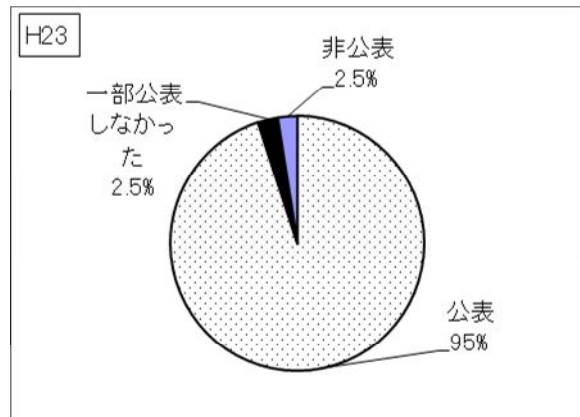
	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
公開	88%	88%	90%	91%	65%	89%	89%	91%	85%
一部非公開	6%	6%	3%	0%	14%	3%	8%	3%	10%
非公開	6%	6%	7%	9%	7%	8%	3%	6%	5%
公表しなかった	0%	0%	0%	0%	14%	0%	0%	0%	0%

11. 会議録の公表

平成 23 年度

(下表以外に未開催会議が 5 件ある。)

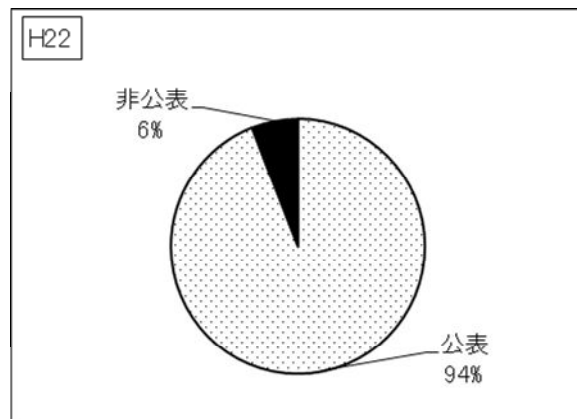
公表	38 件	95%
一部非公表	1 件	2.5%
非公表	1 件	2.5%
計	40 件	



平成 22 年度

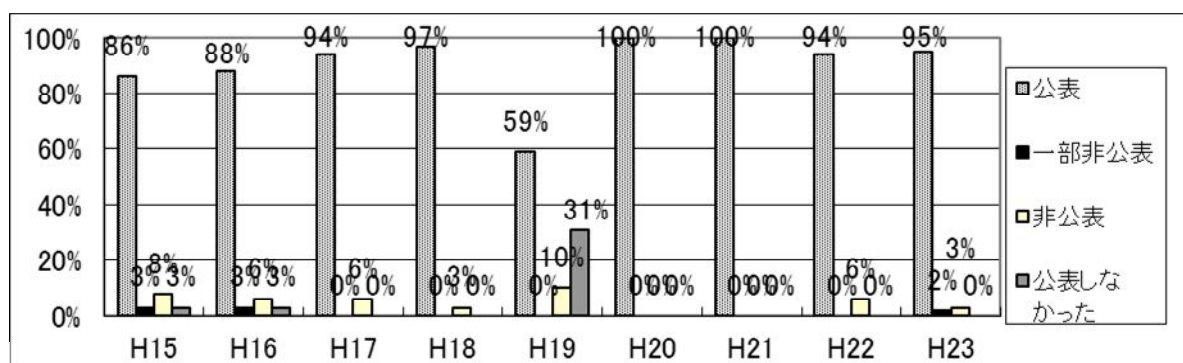
(下表以外に未開催会議が 3 件ある。)

公表	32 件	94%
非公表	2 件	6%
計	34 件	



過去の状況

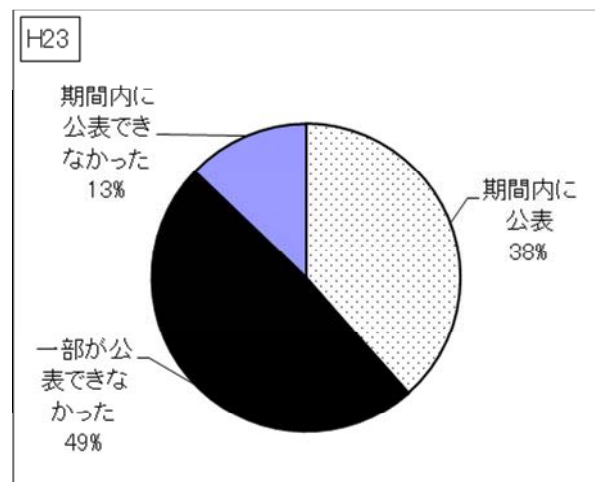
	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
公表	86%	88%	94%	97%	59%	100%	100%	94%	95%
一部非公表	3%	3%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2%
非公表	8%	6%	6%	3%	10%	0%	0%	6%	3%
公表しなかった	3%	3%	0%	0%	31%	0%	0%	0%	0%



12. 会議録の公表の時期（4週間以内に公表）

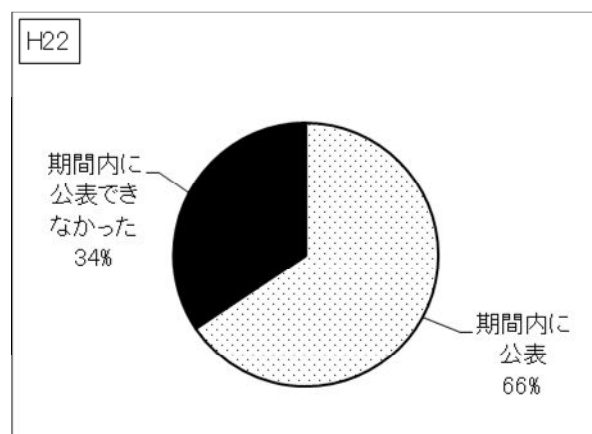
平成 23 年度

期間内に公表	15 件	38%
一部が公表できなかった	19 件	49%
期間内に公表できなかった	5 件	13%
計	39 件	



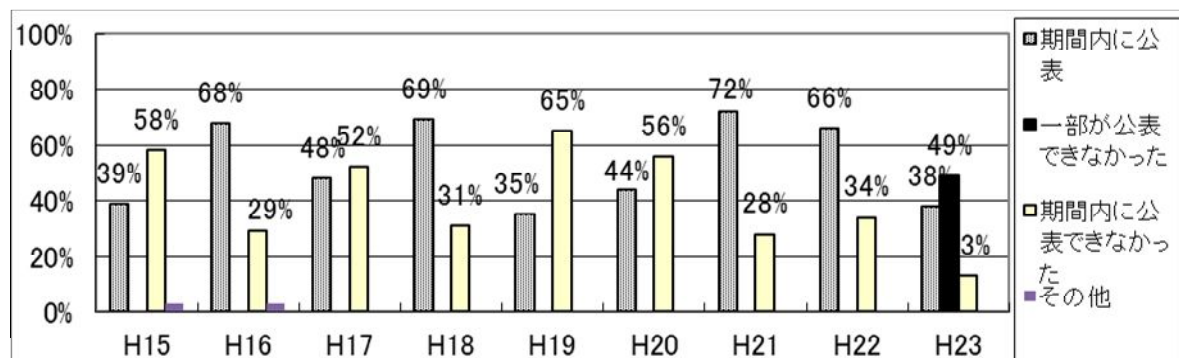
平成 22 年度

期間内に公表	21 件	66%
期間内に公表できなかった	11 件	34%
計	32 件	



過去の状況

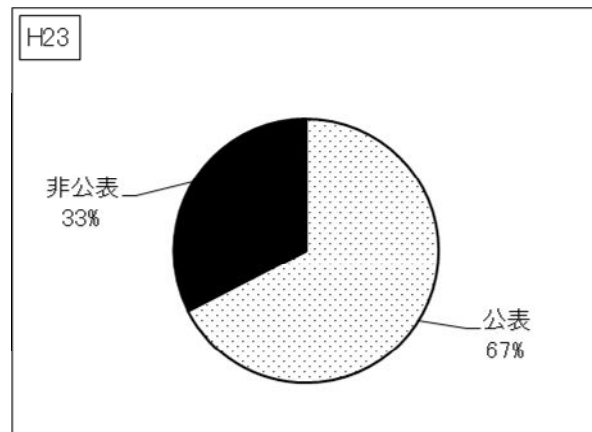
	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
期間内に公表	39%	68%	48%	69%	35%	44%	72%	66%	38%
一部が公表できなかった	—	—	—	—	—	—	—	—	49%
期間内に公表できなかった	58%	29%	52%	31%	65%	56%	28%	34%	13%
その他	3%	3%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%



13. 委員名簿の公表

平成 23 年度

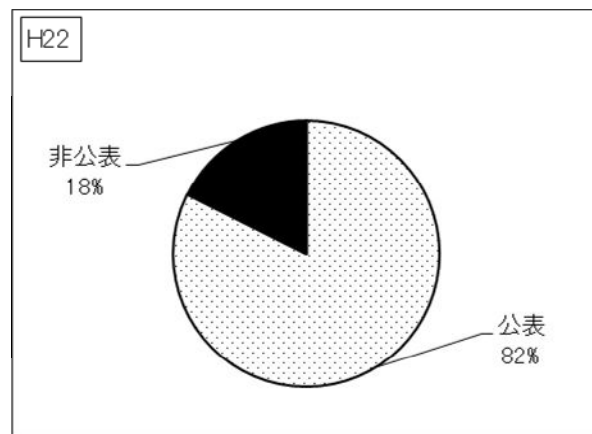
公表	27 件	67%
非公表	13 件	33%
計	40 件	



※22 年度までは「委員名の公表」で集計

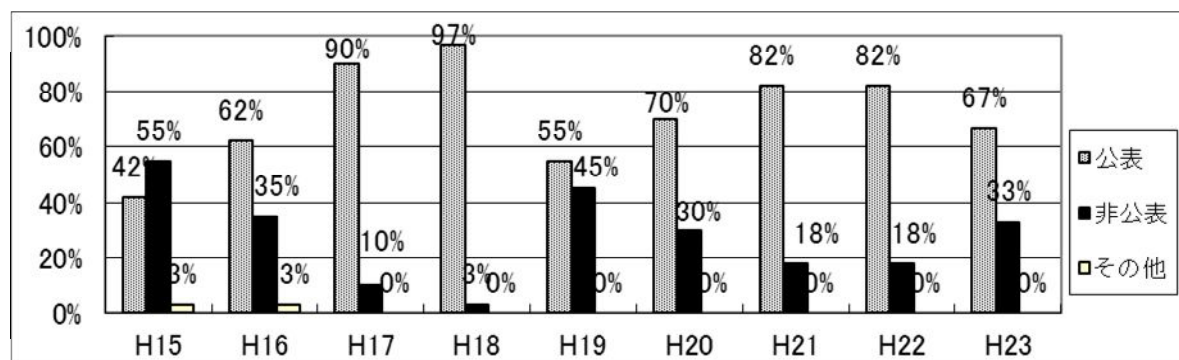
平成 22 年度

公表	28 件	82%
非公表	6 件	18%
計	34 件	



過去の状況

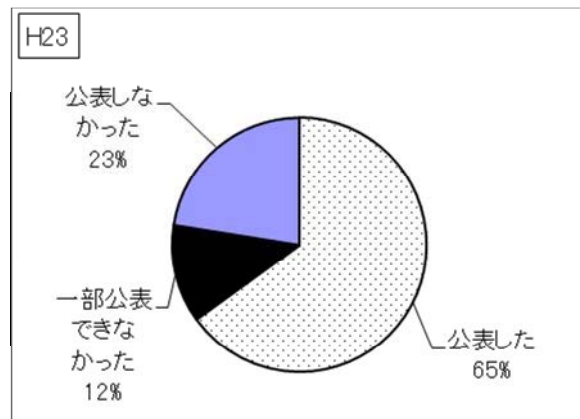
	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
公表	42%	62%	90%	97%	55%	70%	82%	82%	67%
非公表	55%	35%	10%	3%	45%	30%	18%	18%	33%
その他	3%	3%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%



14. 審議会等の開催予定の公表

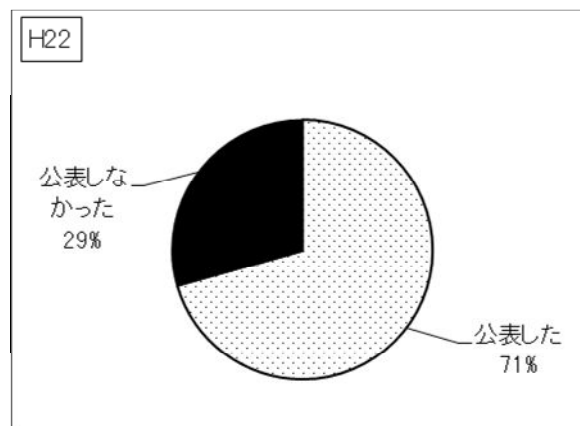
平成 23 年度

公表した	26 件	65%
一部公表できなかった	5 件	12%
公表しなかった	9 件	23%
計	40 件	



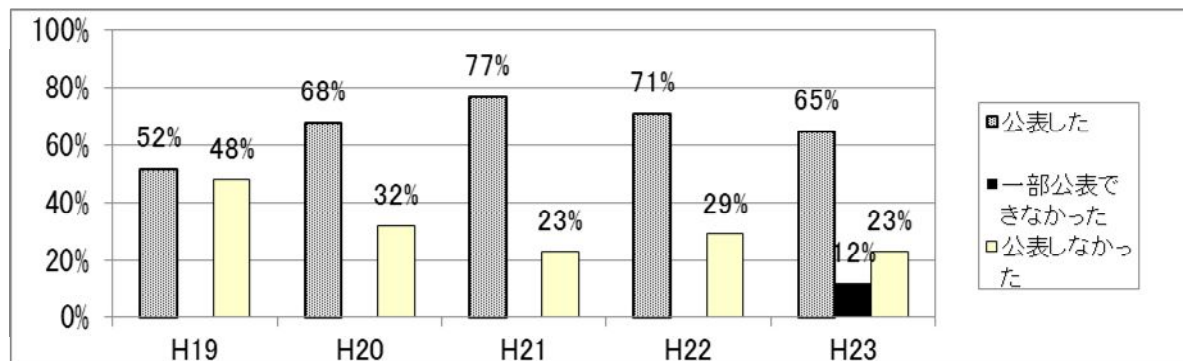
平成 22 年度

公表した	24 件	71%
公表しなかった	10 件	29%
計	34 件	



過去の状況

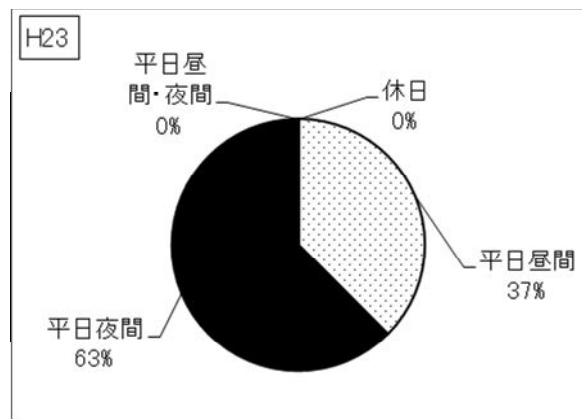
	H19	H20	H21	H22	H23
公表した	52%	68%	77%	71%	65%
一部公表できなかった	—	—	—	—	12%
公表しなかった	48%	32%	23%	29%	23%



15. 審議会等の会議の開催時間

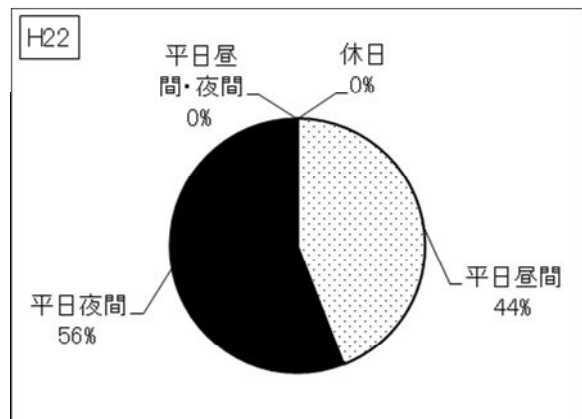
平成 23 年度

平日昼間	15 件	37%
平日夜間	25 件	63%
平日昼間・夜間	0 件	0%
休日	0 件	0%
計	40 件	



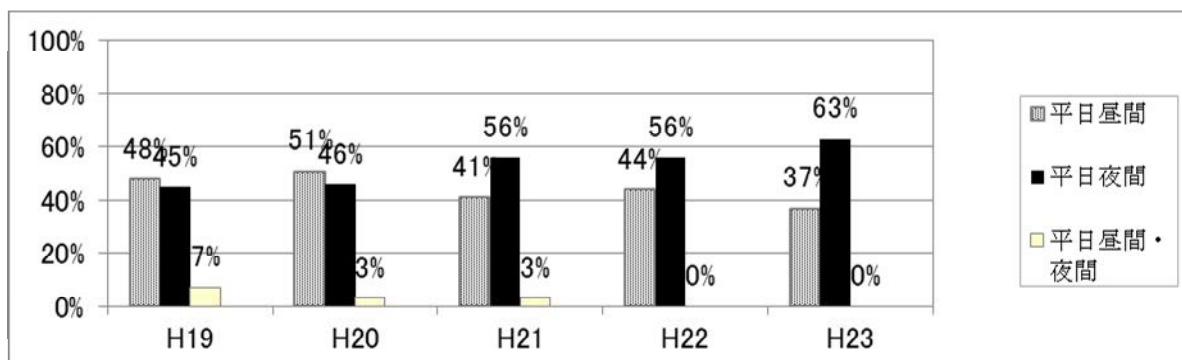
平成 22 年度

平日昼間	15 件	44%
平日夜間	19 件	56%
平日昼間・夜間	0 件	0%
休日	0 件	0%
計	34 件	



過去の状況

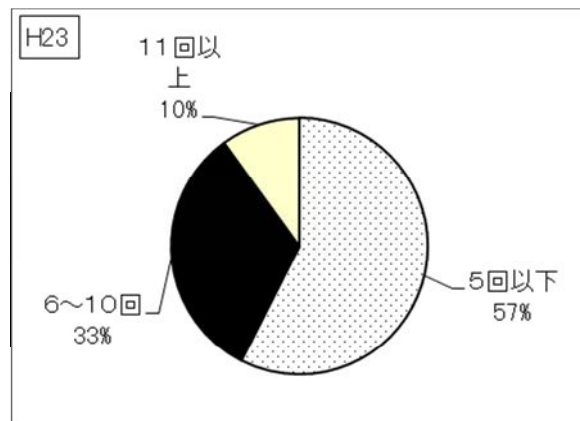
	H19	H20	H21	H22	H23
平日昼間	48%	51%	41%	44%	37%
平日夜間	45%	46%	56%	56%	63%
平日昼間・夜間	7%	3%	3%	0%	0%
休日	0%	0%	0%	0%	0%



16. 会議開催回数

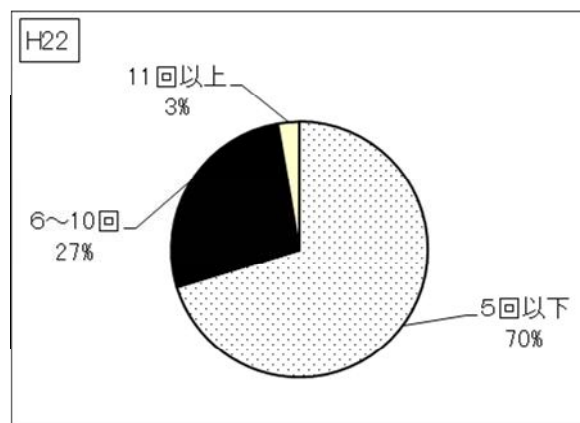
平成 23 年度

5 回以下	23 件	57%
6 ～ 1 0 回	13 件	33%
1 1 回以上	4 件	10%
計	40 件	



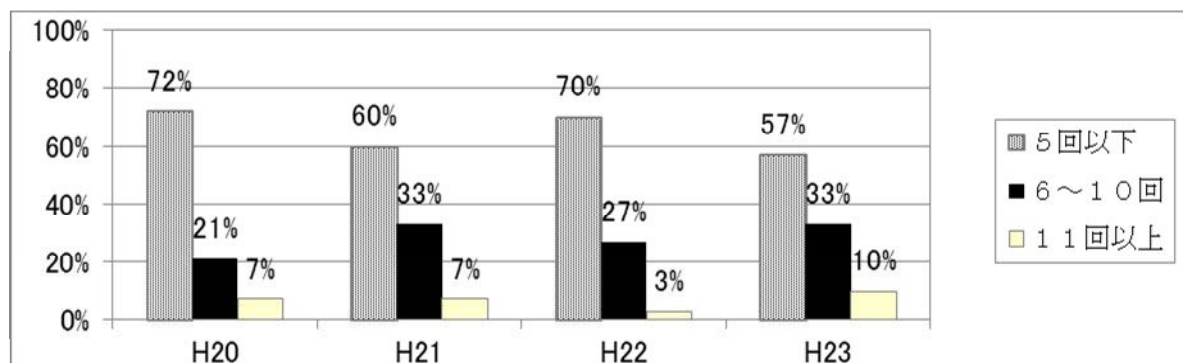
平成 22 年度

5 回以下	26 件	70%
6 ～ 1 0 回	10 件	27%
1 1 回以上	1 件	3%
計	37 件	



過去の状況

	H20	H21	H22	H23
5 回以下	72%	60%	70%	57%
6 ～ 1 0 回	21%	33%	27%	33%
1 1 回以上	7%	7%	3%	10%
計	0%	0%	0%	0%



【パブリックコメント】

平成 23 年度

	施策名	担当課	意見提出者
1	狛江市の市民参加と市民協働の推進に関する基本条例改正	政策室	1 人
2	狛江市交通安全計画策定	安心安全課	2 人
3	(仮称) 狛江市安心で安全なまちづくり基本条例策定		3 人
4	第 3 次あいとぴあレインボープラン（狛江市地域福祉計画）策定	福祉サービス支援室	0 人
5	狛江市障害者計画・障害福祉計画策定		15 人
6	狛江市福祉基本条例改正		2 人
7	狛江市第 5 期介護保険事業計画及び高齢者保健福祉計画策定	介護支援課	3 人
8	狛江市墓地等の経営の許可等に関する条例策定	環境管理課	1 人
9	(仮称) 狛江市多摩川河川敷の環境を保全する条例策定		23 人
10	(仮称) 狛江市環境美化条例策定		59 人
11	狛江市都市計画マスタープラン改定	都市整備課	11 人
12	狛江市スポーツ振興計画策定	社会教育課	2 人

平成 22 年度

	施策名	担当課	意見提出者
1	狛江市食育推進計画策定	健康支援課	0 人
2	狛江市一般廃棄物処理基本計画策定	清掃課	4 人
3	狛江市教育振興基本計画策定	指導室	5 人※

※（他に小学生 199 件・中学生 152 件）

平成 21 年度

	施策名	担当課	意見提出者
1	狛江市地域防災計画（21 年度修正）	安心安全課	5 人
2	狛江市次世代育成支援行動計画（後期）	子育て支援課	2 人
3	狛江市下水道総合計画	上下水道課	3 人
4	狛江市男女共同参画推進計画策定	政策室	11 人
5	狛江市第三次基本構想策定		104 人
6	狛江市前期基本計画策定		44 人

平成 20 年度

	施策名	担当課	意見提出者
1	第 2 期狛江市障害福祉計画素案	福祉サービス支援室	12 人
2	狛江市コミュニティバス運行内容	都市整備課	30 人
3	狛江市商店街振興プランの改定素案	地域活性課	8 人
4	公共施設再編方針委員会報告書案	政策室	74 人

平成 19 年度

	施策名	担当課	意見提出者
1	狛江市耐震改修促進計画案	総務防災課	1 人
2	中学校給食実施案	学校教育課	3 人

平成 18 年度

	施策名	担当課	意見提出者
1	狛江市の市民参加と市民協働の推進に関する基本条例の一部改正素案	市民協働課	2 人
2	狛江市国民保護計画(素案)	総務防災課	6 人
3	狛江市地域防災計画修正素案	総務防災課	2 人
4	狛江市農業振興計画	産業生活課	0 人

【公聴会】

平成 17・18・19・20・21・22・23 年度、公聴会は実施されなかった。

【その他の市民参加の手続き】

1. 手続きの種類・件数

平成 23 年度

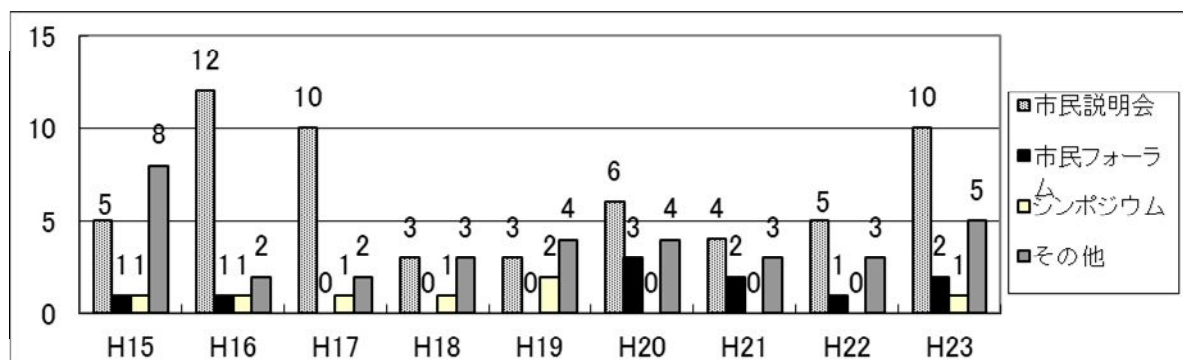
市民説明会	10 件
市民フォーラム	2 件
シンポジウム	1 件
その他	5 件
計	18 件

平成 22 年度

市民説明会	5 件
市民フォーラム	1 件
シンポジウム	0 件
その他	3 件
計	9 件

過去の状況 (単位 件)

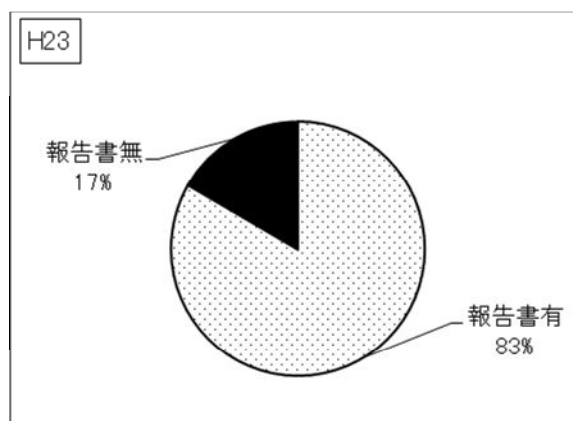
	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
市民説明会	5	12	10	3	3	6	4	5	10
市民フォーラム	1	1	0	0	0	3	2	1	2
シンポジウム	1	1	1	1	2	0	0	0	1
その他	8	2	2	3	4	4	3	3	5



2. 報告書作成の有無

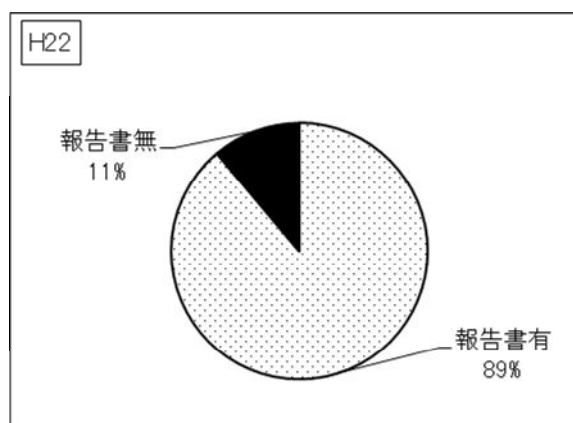
平成 23 年度

報告書有	15 件	83%
報告書無	3 件	17%
計	18 件	



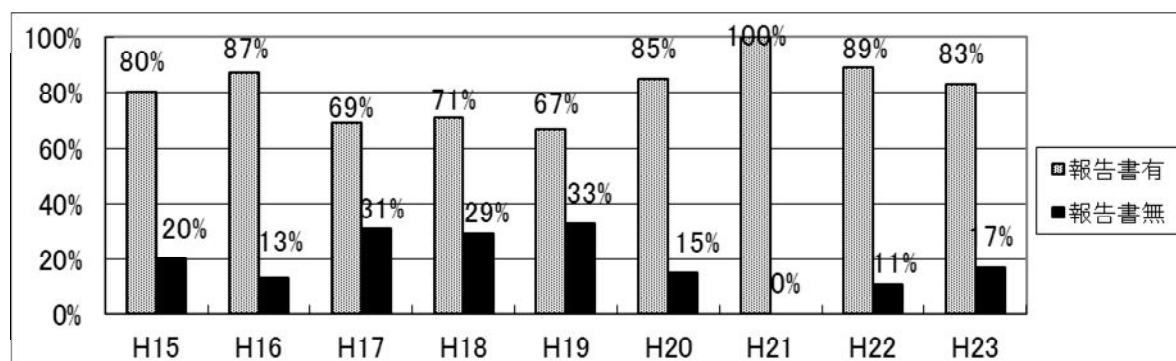
平成 22 年度

報告書有	8 件	89%
報告書無	1 件	11%
計	9 件	



過去の状況

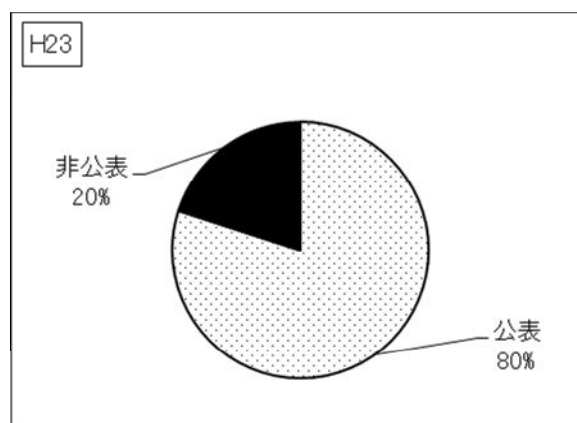
	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
報告書有	80%	87%	69%	71%	67%	85%	100%	89%	83%
報告書無	20%	13%	31%	29%	33%	15%	0%	11%	17%



3. 報告書の公表

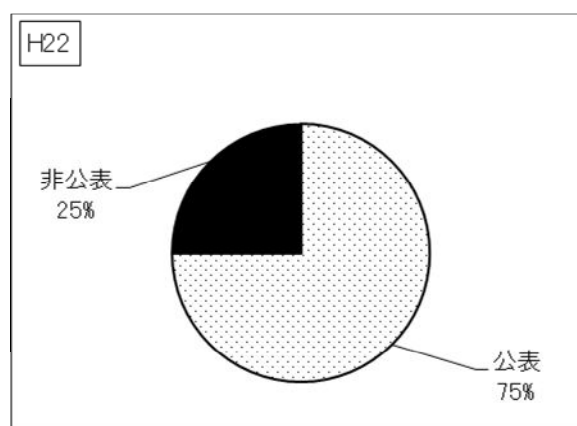
平成 23 年度

公表	12 件	80%
非公表	3 件	20%
計	15 件	



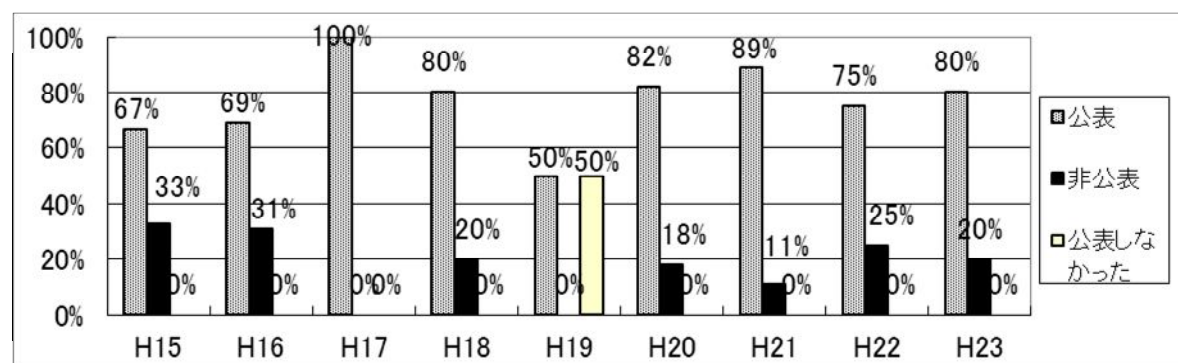
平成 22 年度

公表	6 件	75%
非公表	2 件	25%
計	8 件	



過去の状況

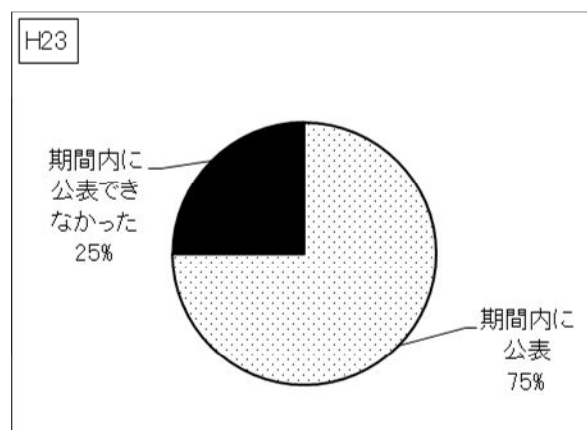
	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
公表	67%	69%	100%	80%	50%	82%	89%	75%	80%
非公表	33%	31%	0%	20%	0%	18%	11%	25%	20%
公表しなかった	0%	0%	0%	0%	50%	0%	0%	0%	0%



4. 報告書の公表時期（4週間以内に公表）

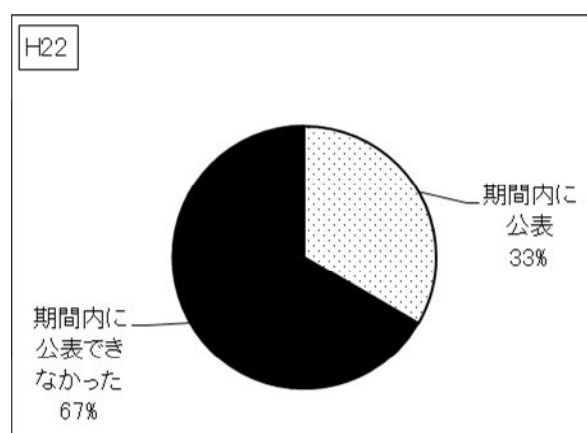
平成 23 年度

期間内に公表	9 件	75%
期間内に公表できなかった	3 件	25%
計	12 件	



平成 22 年度

期間内に公表	2 件	33%
期間内に公表できなかった	4 件	67%
計	6 件	



公募市民委員アンケート集計結果

調査対象:平成23年度に市の審議会等(委員会・協議会等)
に公募による市民委員として参加されていた方

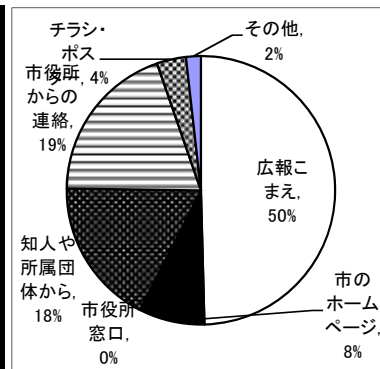
調査期間:平成24年3月26日～4月23日

アンケート実績	
送付数	131通 (H22:108 H21:141 H20:84 H19:77)
回答数	90通 (H22:86 H21:98 H20:56 H19:53)
回答率	68.7% (H22:79.63 H21:69.5 H20:66.67 H19:68.83)

◆市民委員に応募した時点のことを伺います。(複数回答可)

○どの方法で委員募集を知りましたか？

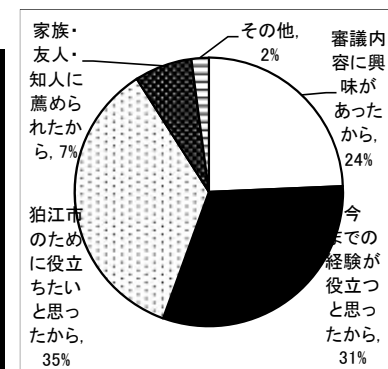
	H23		H22	H21	H20	H19
	回答数	%	%	%	%	%
広報こまえ	56	50%	47%	44%	43%	53%
市のホームページ	9	8%	8%	8%	2%	4%
市役所窓口	0	0%	0%	1%	2%	0%
知人や所属団体から	20	18%	23%	20%	27%	24%
市役所からの連絡	22	19%	19%	21%	19%	14%
チラシ・ポスター	4	4%	0%			
その他	2	2%	3%	6%	6%	4%
計	113					



「広報こまえ」の割合が高く、次いで「市役所からの連絡」、「知人や所属団体から」の順となる。

○応募のきっかけは何ですか？

	H23		H22	H21	H20	H19
	回答数	%	%	%	%	%
審議内容に興味があったから	35	24%	24%	31%	27%	26%
今までの経験が役立つと思ったから	45	31%	31%	24%	26%	29%
狛江市のために役立ちたいと思ったから	51	35%	31%	29%	32%	32%
家族・友人・知人に薦められたから	10	7%	9%	11%	12%	3%
その他	3	2%	5%	4%	3%	9%
計	144					



「狛江市のために役立ちたいと思ったから」「今までの経験が役立つと思ったから」の割合が高く、次いで「審議内容に興味があったから」の順となる。

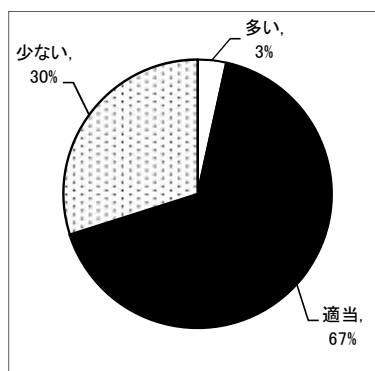
「その他」について

- ・2回目以降は事務局からの依頼による。
- ・前期の継続でした。

◆平成23年度の会議の事務について伺います。(いずれか一つに回答)

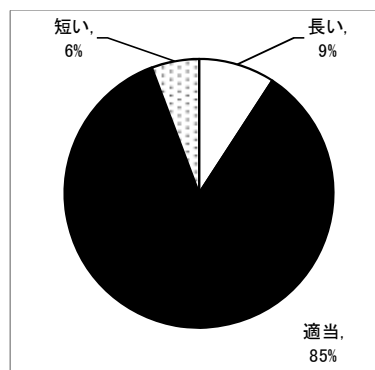
○会議の開催回数についてどのように感じましたか？

	H23		H22	H21	H20	H19
	回答数	%	%	%	%	%
多い	3	3%	0%	1%	0%	0%
適当	58	67%	70%	67%	73%	63%
少ない	26	30%	30%	32%	27%	37%
計	87					



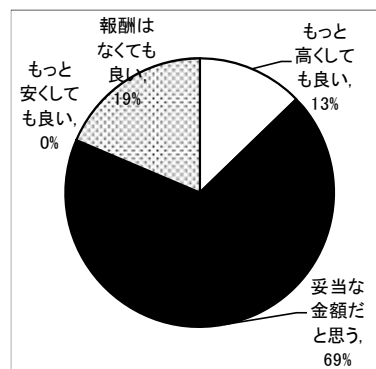
○1回あたりの会議時間はどのように感じましたか？

	H23		H22	H21	H20	H19
	回答数	%	%	%	%	%
長い	8	9%	8%	11%	0%	4%
適当	74	85%	78%	78%	95%	84%
短い	5	6%	13%	11%	5%	12%
計	87					



○会議の委員報酬についてどのように感じましたか？

	H23		H22	H21	H20	H19
	回答数	%	%	%	%	%
もっと高くしても良い	11	13%	4%	6%	14%	11%
妥当な金額だと思う	59	69%	61%	62%	57%	43%
もっと安くしても良い	0	0%	6%	7%	0%	0%
報酬はなくても良い	16	19%	29%	26%	29%	45%
計	86					

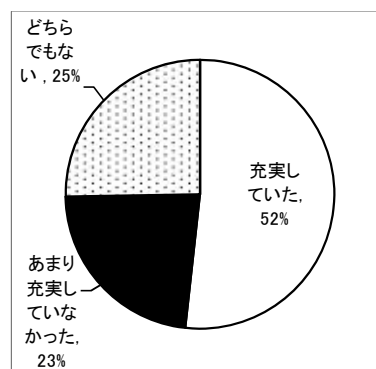


◆平成23年度の会議の中身について伺います。(いずれか一つに回答)

○会議の審議内容についてどのように感じましたか？

	H23		H22	H21	H20	H19
	回答数	%	%	%	%	%
充実していた	45	52%	46%	57%	60%	48%
あまり充実していなかった	20	23%	24%	22%	21%	31%
どちらでもない	22	25%	31%	21%	19%	21%
計	87					

「充実していた」の回答の割合が高い。



【充実していた理由】

1	関係当事者からの答弁もあり充実していた。
2	状況により、市組織内部の情報開示。
3	行政のあり方と市民の望む社会との間に立って、より良い方向付けをするための審議だった。
4	毎回密度の濃い議論ができていた。
5	条例改正に向けて、広範な意見を聞き、深い検討を行ったため。
6	審議案件は皆重要なことばかりで良かった。
7	各委員真剣に考えて発言していたと思う。
8	必要な意見交換はできていたと思います。
9	ただし、パソコンに弱い年代として、一寸難しかった。
10	会議にはあまり出席することができませんでした(出産のため)が、数少ない出席できた会議が充実していたので。
11	やるべきことがたくさんあり毎回頭が良い意味でパンパンになる。
12	事務局で資料整理されており、スムーズだった。
13	大体は良いが、時間不足等により後半の内容を端折ることがある。
14	狛江市環境基本計画の見直しや平成23年度版「狛江のかんきょう」の審議など身のある議論がされたと思うから。
15	議題に即して、ある程度議論されたが、より活発な議論が望まれる。
16	議長の能力(会議をまとめる)が優れている。
17	事前に説明を受けたから。
18	事前に資料の準備などきちんとしていただき、資料検討のうえ審議に臨めた。
19	資料が多く、しかし意見もまとまらず次回持ち越しや臨時会など開かれました。

【あまり充実していなかった理由】

1	審議内容から逸脱することがあった。
2	各委員の発言が偏っていた。
3	資料等の配布が直前で内容をよく見る余裕がない。
4	会長が孤軍奮闘しているようで申し訳なくなります。
5	大半が事務局よりの資料説明に費やされ議論の深まりが無い。結果的に形式的なものになってしまう。
6	事務局側に更なる審議内容の理解度を求めたい。
7	専門家委員の発言少ない。
8	委員の意見があまり活発に出ずというのも、テーマが毎回バラバラで心の準備が少なかったのでは？
9	大体は良いが、時間不足等により後半の内容を端折ることがある。
10	公募市民委員以外の発言なし。

11	経緯が理解できないで参加したが、会議で審議するに至った説明(声)がもっと聞きたかった。
12	決まりきったことを進める印象。市が決めたことを追認するだけの会議・・今後いかに活性化するか。
13	実際に議論する時間が少なかった。
14	審議内容が多いのに時間が短い。
15	審議の進め方が悪く、中身のある議論が少なかった。
16	市民を呼ぶが結局見えないところで、市と委員長が話を決めているという印象。あの内容では協働とは言えない。

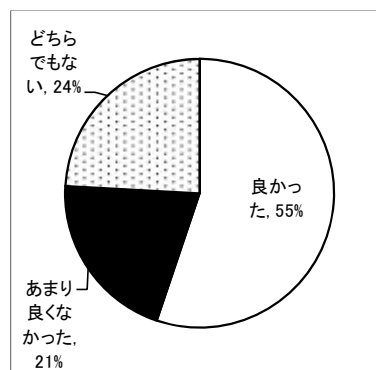
【どちらでもない理由】

1	当初は方向不明で消化不良。中間のヒアリングは時間がかかりすぎ。終盤でようやく議論も充実。
2	関係分野委員発言に伴い、内容説明になるので、聞いて資料判断して納得していく。
3	専門分野での素案計画結果なので住民(一般人)に向けての解明しやすくなく、複雑化された内容では判断できない。
4	作業委員会はやることがはっきりしていた。全体会は、形式的でポイントがしぼれていなかったと思う。
5	あれやこれやで絞った審議で内容を深めるというようになりにくかった。
6	計画を審議する際の過去の実績、課題の分析が不十分である。
7	このような委員会に参加いたしますのは、初めての経験で内容について事前に調べることは勉強になりました。
8	取材、企画等、子連れで行うのが大変な中しているの、その効果となるアクセス数等、フィードバックをきちんとしてほしい。
9	インターネットと成り立ちの説明とかはいらなかった。会議になってからはよかった。
10	充実していた部分と充実していない部分があったように思えた。
11	マンション建設に於ける調整会に片寄っている気がする。
12	自分自身の準備が足りなかった。
13	主には予算の都合で提案事項が現実的でなくなっていたような気がしました。
14	委員が積極的に発言せず、発言した場合でも勉強不足が明らかであったため。
15	こまバスの定義が徹底しなかったの、議論が散漫になった部分があった。
16	まだ初回のみで分からない。
17	第1回目で自己紹介と役員選出会の趣旨説明で終始。
18	私自身が仕事の都合で十分に審議に参加できなかった。

○審議の進め方(進行)についてはいかがでしたか？

	H23		H22	H21	H20	H19
	回答数	%	%	%	%	%
良かった	48	55%	64%	60%	73%	65%
あまり良くなかった	18	21%	15%	21%	9%	15%
どちらでもない	21	24%	21%	19%	18%	19%
計	87					

「良かった」の回答の割合が高いが、ポイントは下がっている。



【良かった理由】

1	委員長の的確な進め方で時間内に終わった。
2	各委員が事前に準備を行って熱のこもった議論を行ったため。
3	会長さんが十分に発言を受け止め、適切なまとめ方をしてくれた。
4	議長の進行が良かった。
5	進行はスムーズでした。
6	基本的に、良いと思います。
7	知識のある方がおられてましたので、会議内容の進め方がスムーズに行われたと感じております。
8	伝えたい熱心さを感じた。
9	自分たちで進めるようになってからよかった。
10	委員同士が遠慮することなく色々意見を出し合えた。
11	分かりやすいと思った。
12	事務局で資料整理されておりスムーズだった。
13	事務局が事前に資料を整理してくれていたの、総体的には順調に会議が進められたと思う。
14	予定の議事を時間内に処理できていた。
15	方向づけができてから、各回の結論とどの時点にゆくかの確であった。
16	委員長が現実的な方で、うまくリードしていただきました。
17	司会、進行する方の力量が十分あった。
18	事前に説明を受けたから。
19	会長は初めてではない方で終始スムーズだと感じた。
20	議題に沿ってスムーズに進められたと思います。
21	ただ人数が多いので、それぞれ個人の意見を聞きながら同時にまとめていくというのは、とても難しい作業となってしまうと感じました。

【あまり良くなかった理由】

1	審議内容に戻す進行をすべきと思う。
2	全体に運行が荒っぽく雑だった。意見があれば文書でとの要請には閉口した。

3	特定の人がクドクドと長く話したりするため、結論を出すまで無駄な時間が多すぎる。
4	形式的なものと感じる。
5	打ち合わせが十分でないためか？
6	もっとサポートを強力にしてほしい。
7	事務局の説明がうまくない。
8	事務局がお粗末。
9	時間の制限で狛江市にとって市民によって良いことなのですが、市民に理解、説明ができるまで議論すべきだと思った。
10	既に決定された内容を審議している印象。
11	行政はコンサル・学識に仕事を任せている感が強く、主体的に参加しているとは言い難かったため。
12	時間を急ぐあまり、委員長の独断と強引な進行によって基本的に皆があきらめ半分の展開となった。
13	もう少し委員間での討論ができなかったかと思う。進行は難しいかもしれませんが。
14	司会が不慣れであったため。
15	ダメです。1回目と2・3回目の方針が異なっています。何のための会議か考える必要があります。

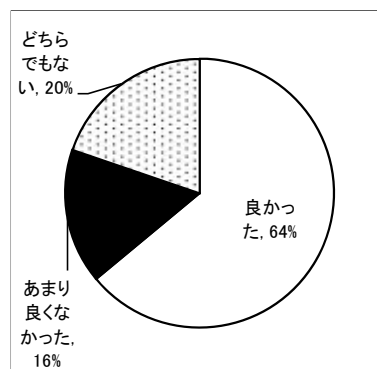
【どちらでもない理由】

1	議題以外の話題への発展性に乏しかった。
2	上記のごとく(審議内容の理由)進行されるので、意見というべき内容から個人意見の状況発言で終了。
3	当然のことだが、内容により専門分野所属委員の発言多し。
4	議題や決めるべき事項をもっと会議の最初に明確にしてから始めたほうがよい。市民議長になってから他のメンバーも参加意欲が高まった気がしてよい。
5	もう少し工夫が合ってもよい。
6	資料の説明の時間が長いので、議論の時間がなくなる。
7	この委員会は諮問を主体(70%)とし市民委員の意見を汲み上げるのは30%位でよいと思う。
8	委員の経験のある人と初めて参加した人のために情報をしっかりと提供する。
9	まだ初回のみで分からない。
10	審査した内容がどのようにあらためられたのかが分からない。

○会議のための市事務局が作成した資料や市事務局からの説明はいかがでしたか？

	H23		H22	H21	H20	H19
	回答数	%	%	%	%	%
良かった	55	64%	58%	58%	66%	63%
あまり良くなかった	14	16%	12%	24%	9%	17%
どちらでもない	17	20%	30%	18%	25%	21%
計	86					

「良かった」の回答の割合が高い。



【良かった理由】

1	資料は的確で十分であった。
2	当初資料の作成には、困惑していたようだった。終盤の整理資料は見事だった。
3	公正な記録をもとに作られた資料と思った。
4	正確迅速に適正な資料が準備された。
5	事務局もよく勉強されて準備をしていた。
6	懇切丁寧な説明がされていた。大変能力のある人と思った。
7	必要なものは十分準備し、説明してくれた。多いな・・・と思ったがそれだけのことをしているのだと思った。
8	分かりやすかった。
9	毎回詳しい説明があった。
10	資料の内容とそれに関する説明は十分出来ていたと思う。
11	分かりやすく丁寧だと思う。
12	充実した資料に自宅学習時間が思いのほかかった。審議会としては当然と思うが。
13	2、3不十分な点もなかった訳ではないが、総体的にはよかったと思う。
14	意図する資料が事前に準備されていた。
15	前回の会議での要望事項が準備され、内容も比較的満足できるものであった。
16	分かりやすかったから。
17	克明であった。労力は大変だったと思います。
18	1回目の議題として。
19	初めての参加です。
20	担当部署からのマンネリな評価が多いのは困る。
21	他の自治体の参考資料なども添えていただき、良かった。
22	その会議の度に、適切な資料を用意していただいたと思います。

【あまり良くなかった理由】

1	事前送付はされたが、2～3日前で余裕がない。
2	形式的なものと感じられる。

3	事務局は自信をもって説明してほしい。
4	事務局が先取り意識に基づいて作成してほしい。
5	マニュアル等を五月雨式にもらい、分かりづらかった。
6	大体は良いが、時には説明不足とを感じる時がある。
7	事前配布が徹底していない。
8	ピントはずれの回答が多かった。
9	冗長な説明。質問に答えられない。間違いが多い。
10	内容が市民委員には難しい表現があった。
11	行政自らが作成したものではなく、コンサルに委託して作成されたもので、説明も事務局が主体的に行うものとはなっていなかったため。
12	最終的には都との打ち合わせでほとんど決定した…最初から打ち合わせ済みとしてその問題点を列挙すれば、意味のない時間をとらなくても良かった。
13	NG。市民アンケートの羅列ではダメ。2回目委員に依頼して委員が作ったものを出さず、説明が意味不明。3回目は結局市の案が出てきた。

【どちらでもない理由】

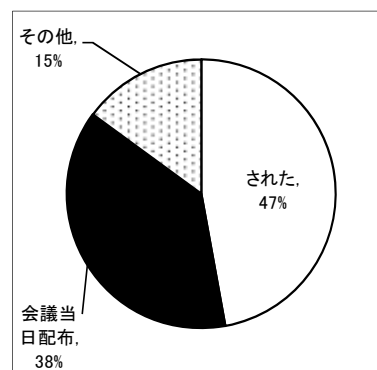
1	説明が分かりやすい時と分かりにくい時とがある。
2	分かりやすい説明もあったが、論点がぶれている説明もあった。
3	ケースバイケースだが、部署によっては個人情報保護条例の内容と十分理解されていないと思われる場合もあった。
4	資料説明なので資料多く(担当努力の結果認めるが)発言の際の理解がしにくい。
5	資料の量について多いと感じたときがあった。
6	内容文案に努力あれど知識薄い。一般人には認可等の判断内容等判断弱い。
7	過去の「健康まつり」の数値的データがほしかった。
8	良い時と悪い時があったから。
9	事務的な説明でした。良い条例を作る場合、意気込みを感じたいと思う。
10	事前に情報を整理して、出していただくのが良いかと考えます。
11	良い点もありますが、説明していただかないと理解しにくいものが多かったです。

○会議資料は事前送付されましたか？

	H23		H22
	回答数	%	%
された	41	47%	53%
会議当日配布	33	38%	34%
その他	13	15%	14%
計	87		

「された」の回答の割合が高いが、前年より下がっている。

「その他」は事前と当日配布両方との回答。



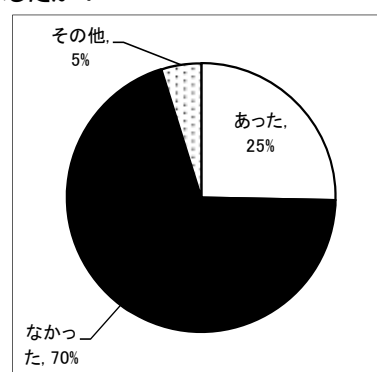
○市事務局から会議の審議内容等について、事前レクチャーはありましたか？

	H23		H22
	回答数	%	%
あった	21	25%	36%
なかった	58	70%	55%
その他	4	5%	9%
計	83		

「なかった」の回答の割合が高く、前年より上がっている。

「その他」について

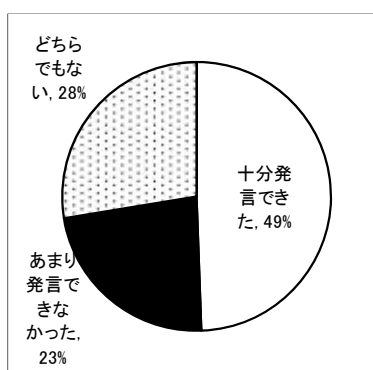
- ・第1回目に見通しや議題について。
- ・忘れました。



○会議でのご自身の発言についてどのように感じましたか？

	H23		H22	H21	H20	H19
	回答数	%	%	%	%	%
十分発言できた	43	49%	49%	54%	47%	40%
あまり発言できなかった	20	23%	32%	30%	32%	38%
どちらでもない	24	28%	20%	16%	21%	23%
計	87					

「十分発言できた」の割合が高い。

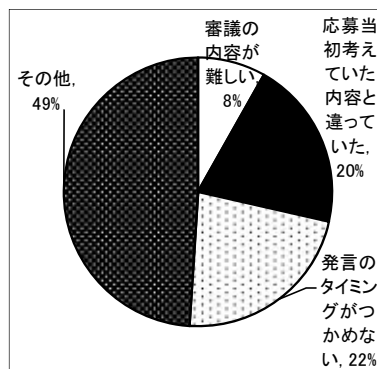


※「あまり発言できなかった」、「どちらでもない」とお答えいただいた方に伺います。

○十分に発言できなかった理由は何ですか？

	H23	H22	H21	H20	H19
	回答数	%	%	%	%
審議の内容が難しい	4	8%	15%	15%	14%
応募当初考えていた内容と違って	10	20%	21%	24%	18%
発言のタイミングがつかめない	11	22%	21%	20%	29%
その他	24	49%	42%	41%	52%
計	49				

(複数回答もカウント)



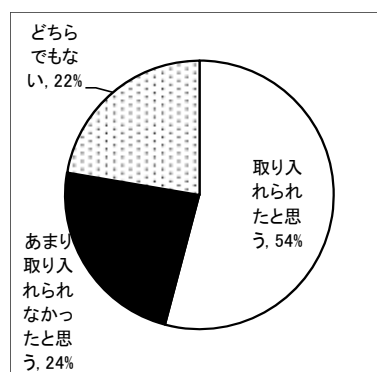
【その他】

1	全体の発言が少なく、他の委員よりも多く発言したつもりだが、思っていたことは十分発言しにくかった。
2	市民委員として勉強不足だった。
3	出席回数が少なかったため。
4	発言はしているつもりだが、会議を盛り上げるまでには至ったないかな・・・と。
5	会議内容の把握に初めての経験も含め、緊張していたのです。
6	何か短期間で終了しなければならないような雰囲気を感じる。
7	経験者委員の中で新人は私と他数名であったため。
8	こちらの勉強不足。
9	メンバーとの交流があまりないので、十分と言える程、積極的には発言できていない。
10	出席自体が出席のため、難しくなってしまったので。
11	資料が多い時、当日配布では自分もその内容を把握できない。
12	体調不良(風邪気味でのが痛いときがあった。)
13	資料の事前配布がなく、会場で目を通すのが精一杯、間違い探しに終始。
14	立場によって考えが違うと思うが、目標(目的)は粕江市民の1人として同じであることを確認して望みたかった。
15	自分自身の準備不足のため。
16	他の委員にも発言の機会を確保する必要があるため。
17	内容によって発言できないときがある。
18	自分自身の準備不足のため。
19	新任なので前半は遠慮があった。
20	はじまったばかりで・・・。
21	他の委員の発言を優先と考え。
22	とにかく第1回目で自己紹介以外発言するような場が少ない。
23	1年目で内容についてもう少し勉強が必要であった。
24	意見はそれぞれ個人で出ると、全部違っていてまとまっていけない時があると感じました。テーマの絞込みの必要性を感じた。

○審議の中でご自身の意見が取り入れられたと思いますか？

	H23		H22	H21	H20	H19
	回答数	%	%	%	%	%
取り入れられたと思う	46	54%	47%	55%	57%	44%
あまり取り入れられなかったと思う	20	24%	16%	19%	11%	25%
どちらでもない	19	22%	37%	26%	32%	31%
計	85					

「取り入れられたと思う」の回答の割合が、前年より上がっている。



【取り入れられたと思う理由】

1	審議を進める中でリーダーの皆さんを信頼できた。
2	十分反映された。
3	一つ一つの意見を尊重した審議が行われたため。
4	条例改正の項目に取り入れてもらえた。
5	市民委員としての視点を考慮していただいた。
6	もちろん取り入れ、答えてくれていると思っています。
7	皆さんちゃんと聞いてくれて実現(記事に)できるから。
8	文章の訂正などは取り入れられた。
9	発言が少なかったから。
10	ある程度は反映されたように思う。
11	提案者案は大切に變更していただいた。
12	「一市民として素直な意見を」と促していただき、気づいたことを発言できた。

【あまり取り入れられなかったと思う理由】

1	一部の人を除いて、理解がうすい。
2	前回とあまり変わらず、初めからまとめがほぼ考えられているように思えた。
3	理解がないためか？
4	あまり発言していないため。
5	事前のテーマでは市民にアピールできないのではないかと思います、手段を変える提案をしたが的確なものとはならなかった。
6	内容確認の発言にとどまったので。
7	マンション問題に関しては当事者のため参加できず。都市マスはまちづくり委員会の位置づけがあいまい(都市マス委)等の意見を述べた印象。
8	結局委員長のつるの一声と事務局が考えている案が会議のないところで決まっていく。やり方を変える必要あり。
9	答申に反映されていないことが多々ある。
10	市や都の既定方針と相容れない部分があったからと思う。
11	十分に発言していない。
12	文章等のなおしが多く、内容についてできていない物がある。
13	全体に審議のテーマも多く解決しないまま、臨時会議が2回程追加されました。テーマが多い時、2グループ位に分かれ絞り込んで行くのは良いと考えました。最後に合流してまとめる等。

【どちらでもない理由】

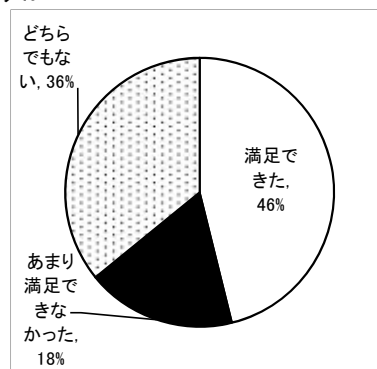
1	皆さんの協議・審議の結果だから。
2	最終報告がない場合あり。
3	重要なテーマ(件)については、何故か否定的な雰囲気を感じた。
4	公募委員なので発言をひかえ、指名されても内容から外れたものとなりやすく迷惑をかけやすいので遠慮しているのが実情。
5	内容によって取り入れられた。
6	こまえスマイルぴーれのトピックとかは採用されたけど、サイトの作り自体はされなかった。
7	個人の意見が取り入れられることもあるが、その会議全体でまとめて1つの方向を示すこともある。
8	数回は取り入れられたと思う。
9	同意いただいた部分はあると思いますが、基本的に市の予算にマッチしなかったと感じました。

○会議がまとめた答申(提言・報告)内容について、どのように思いますか？

	H23		H22	H21	H20	H19
	回答数	%	%	%	%	%
満足できた	36	46%	48%	56%	66%	60%
あまり満足できなかった	14	18%	13%	24%	9%	13%
どちらでもない	28	36%	39%	19%	25%	27%
計	78					

「満足できた」の回答の割合が高いが、ポイントは下がっている。

「あまり満足できなかった」の回答の割合が前年より上がっている。



【満足できた理由】

1	十分審議できたと思うから。
2	答申には満足したが、その答申が活用されたのか否かが知りたい。
3	十分な議論に基づき起案され、十分吟味できた。
4	議論をつくしてまとめられたため。
5	自分の発言したことが、かなりきちんと盛り込まれた。
6	推進内容としてはうまくいったと感じています。
7	他のメンバーの活動により。着実に実行がされていると思うので。
8	一応市長の諮問に答える内容になっていたと思う。
9	旧来のマスタープランよりも具体的な方法が入ったから。
10	配布された資料を自宅で読んで。
11	各委員の意見を汲んでまとめてくださったと思います。
12	答申のための作業部分にも参加でき、十分に話し合いができた。
13	後半はテーマが明確化して(公民館側の方々のご提案もあり)分かりやすくなりました。
14	休日開館が実施されることになった。

【あまり満足できなかった理由】

1	答申の時期(期限)が決まっていることもあってか、重要なテーマについて十分な検討がされていなかった。
2	行政の横のつながりが強化できなかった。
3	一部の人を除いて理解がうすい。
4	進捗状況、評価、プロジェクトチーム編成など今後対応しなければならない課題を引き続き現委員が対応する体制が未定のまま！課題が多すぎる。
5	もう少し多くの事業者や広範囲な意見が集まる環境であれば良いと思う。
6	自信をもってまとめてほしい。
7	修正のきかない時点での開催ではアリバイ作りに利用されたとは思えない。
8	事前のテーマでは市民にアピールできないのではないかと思い、手段を変える提案をしたが的確なものとはならなかった。
9	マンション問題に関しては調整会の運営方法に問題を感じた。
10	答申はだしてもできるできないかは市が決める。そして市の方向はすでに決まっていできないのに答申を出している。意味がない。
11	市(行政)の判断が優先され、委員会の議論、さらに言えば委員長の意見さえ、受け入れられていないため。

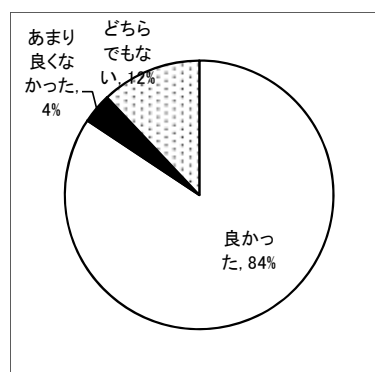
【どちらでもない理由】

1	効果確認ができない。
2	これからの市民協働を展開していくことを願う。
3	推進作業としては今のところうまく行っていると感じている。
4	審議会委員・事務担当者の答申なので公募委員としては異議なし。
5	市民が何を望んでいるのかもっと考えるべきだと思います。
6	担当者による審議内容・発言等適切に明記されて作成されておられると確信。
7	内容については、良かったのかは分からない。個人的には最善を尽くしたが、力不足と。
8	前回のまとめと変わらず重点とすることが見えない。もれのないよう机上でまとめた感が否めない。
9	答申とまでの集約がなされていないのでは。
10	そういうのはなかったと思う。
11	すみません。読んでません。
12	報告者の起案、検討にもう少し時間を割きたかった。
13	審議がメインで答申等の提出はしていない？
14	特にグランドメゾン建設の最終調整会の終わり方は後味が悪い。
15	十分に議論したという認識がないので、よく分からない。
16	本当にこれでよいのか？

○公募市民委員として会議に参加してどうでしたか？

	H23	H22	H21	H20	H19
	回答数	%	%	%	%
良かった	70	84%	82%	85%	81%
あまり良くなかった	3	4%	4%	5%	8%
どちらでもない	10	12%	15%	9%	13%
計	83				

「良かった」の回答の割合が高い。



【良かった理由】

1	勉強になった。
2	市の現状と問題となっていることが認識できたから。
3	経験が活用できた。
4	市民としての貢献と事情が理解できた。
5	行政と市民を対立した軸で考えず、協働を求めて審議できた。
6	市民の立場からの意見を十分反映することができた。
7	市民に一定の理解をえられる答申をまとめることができた。
8	審議会委員(含:学識経験者)のレベルや構成などが良く理解できた。
9	市政に関することがいろいろ分かり、自分が市民の一人であるという自覚が持てた。
10	市担当・関係部長等の発言と共に警察・消防署等の報告、関係団体等の出席委員発言の理解はできる。
11	いろいろ勉強になった。
12	審議内容により市の実情が理解しやすく感じるとともに複雑化も感じる(やすい)。
13	現状の状況、情報が得られる。
14	市の抱えた問題や職員の熱心な仕事ぶりにも触れられた。
15	狛江市にある事業所の一員として、直接保険者と交流できることが有意義であると考えます。
16	私自身もこれからの生活で知っておくことでもあった。
17	状況の把握ができる。
18	色々なママの意見が知れておもしろい。
19	いろんな方と知り合えて知らないことを知れた。自分の世界を広げられたと思う。
20	非常に勉強になりました。
21	狛江市立保育園など保育現状が分かった。
22	行政などの取り組み方が分かる。
23	ある程度自分の経験を生かすことができたと思うから。
24	状況が把握できた。
25	他の委員の考え方(各種異なった立場)が把握できた。
26	初めての市民参加でした。一人の市民として真剣に考えた参加でした。多くの市民が参加をしていただきたいです。
27	まちづくりに少しでも役立てればと考えて。
28	難しさが分かった。
29	市政が幾分理解できました。バス停、路線を新設・変更する際の手続きの難しさが少しだけ分かりました。
30	市職員の考え方、レベル、構造が判った。

31	大いに勉強になった。
32	①意見は尊重してもらえた。②実情がよく判った。③今後、更に勉強しようと思うようになった。
33	教育委員会のすべての仕事を理解できた。
34	教育委員会の役割、ご活動について理解でき、良い勉強になりました。
35	公民館の存在意義が明確に理解できたこと。

【あまり良くなかった理由】

1	過去の参加者からも伺っていたが、市(行政)がいかに市民の意見を軽視し、自分達の決めた既定路線を強引に進むのがよくわかった。
2	「会議」とは思えなかった。

【どちらでもない理由】

1	税金の使い方として適切とは思えない点がいくつかありました。
2	会議の日程と自分の都合の良い日が合わず、なかなか出席できなかったので、「どちらでもない」と回答いたします。
3	色々な人との交流ができた。
4	議題がない点
5	今後の会議次第で難しくなるようでは心配もある。

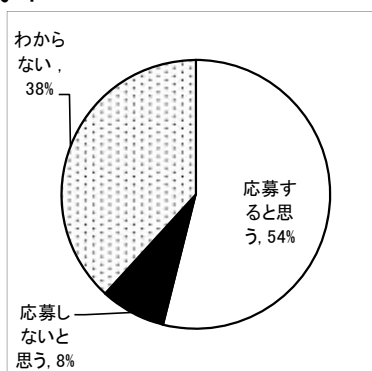
○今後、同じ審議会等または他の会議に市民委員として応募しますか？

	H23		H22	H21	H20	H19
	回答数	%	%	%	%	%
応募と思う	48	54%	46%	51%	51%	45%
応募しないと思う	7	8%	4%	8%	9%	14%
わからない	34	38%	50%	41%	40%	41%
計	89					

「応募と思う」の割合が高く、ポイントも上がっている。

応募を希望する会議名

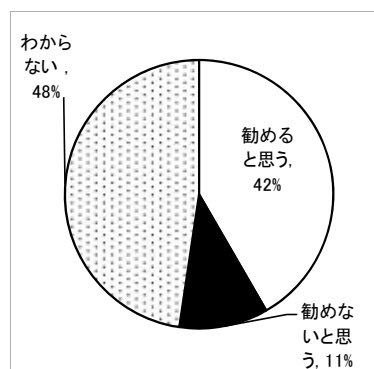
・具体的なプロジェクト等あれば
・市民参加と市民協働に関する審議会(同会議を希望)
・生活安全対策協議会(同会議を希望)
・推進委員会
・「音楽の街—泊江」構想推進委員会(同会議を希望)
・生活安全対策協議会
・市民福祉推進委員会(同会議を希望)
・介護保険推進市民協議会(同会議を希望)
・地域自立支援協議会
・地域包括支援センター運営協議会(同会議を希望)
・障害者施策や子育て
・WEBサイト編集委員
・環境保全審議会(同会議を希望)
・都市計画、環境計画、街づくりなど
・環境保全実施計画推進委員会(同会議を希望)
・テーマによる
・地域公共交通会議(同会議を希望)
・コミュニティバス市民検証委員会(同会議を希望)
・緑の基本計画改定委員会
・防災防犯関係
・教育委員会の自己点検及び評価に関する審査委員会(同会議を希望)
・社会教育委員の会議(同会議を希望)
・地域公共交通会議 2名



○今後、家族・友人に公募市民委員としての市民参加を勧めますか？

	H23		H22	H21	H20	H19
	回答数	%	%	%	%	%
勧めめと思う	35	42%	51%	56%	62%	45%
勧めめないと思う	9	11%	4%	7%	0%	9%
わからない	40	48%	45%	36%	38%	47%
計	84					

「勧めめと思う」のポイントが下がっている。



○ご意見・感想等、自由にご記入ください。

1	このような一件一件が異なる諮問を審議する審議会メンバーには市民委員にもある程度の専門的知識と経験が必要とならざるを得ない。ただその場合重任の要点が増え、新しい要点とのバランスが問題となる。学識経験者委員の充実が望まれる。
2	専門知識経験を持つ委員の方々の意見が大変勉強になった。
3	この審査会の性格上、不服申し立てがない限り開かれませんが、その場合は1年間何もしないことになるので、報告を半年に1度行うとか、情報公開についての意見を聞くとか何かないと、市民委員は参加しているという感じにならないのではないかな。
4	各委員会は答申して終了となる。答申に対する行政のアクションについての点検は抜けがちな。「市民参加と市民協働に関する審議会」で全委員会の答申への市の対応状況を一元的に長期的にチェックすることも必要と思われる。
5	医療、福祉、教育・・・市民の願いは叶えていくべきだが、限られた人員と財源で全部を実行できない行政の現実を見据えての協働を求めていくしかないと思う。
6	市民としての委員であるが、市民の意見の総意とはならない。より多くの異なる立場や見解の市民委員の参加が望まれる。
7	市民参加・協働審議会に参加しました。参加・協働を支える行政のみなさんの苦労はお察ししますが、前提となる「開かれた市政」は市民の選択であることを重く受け止めて、また市民も自らの選択に責任を持って、いっそうの発展に努力がつかれるようにしたいと考えます。
8	はじめて参加して思ったのは、結局事務局の方が良く全体を把握しているが(当然と言えば当然だが)、委員の人達は勉強不足と言える。中には(もしかしたら半分ぐらいか)ほとんど判っていないで会議に参加しているのではないかなとも思えた。それでも行政のチェック機能は多少あるかもしれない。
9	本当にいろいろ勉強させていただいてありがとうございました。トップに立つ人には本気で市民が主人公という意識を持ってくれますように、心から期待します。
10	市民委員へのアンケートを参考にされるのもよいと存じますが、その前に会議参加メンバーによる運営評価をされ、問題点があれば改善していくというスタイル(姿勢)が必要と存じます。
11	構想委員会と実行委員会の関係がよく分からない。またイベントをスタッフとして実行する集まりかと思っていたら、出演するために集まっている印象が残った。使った予算に対する責任がないのはどうなのかと・・・。
12	会議の日と仕事が重なり、出席回数が少なく、申し訳なくまた残念に思いました。委員として参加させて頂くことにより、現在そして次年度の粕江の音楽に対しての構想に参加できて、ありがたく思いました。
13	・公募市民委員以外の委員(一部の委員を除いて)からの発言が、理解がうすいためかほとんどない。 ・議事録のまとめが遅い。 ・情報の早い公開が望まれる。
14	今回は回が進むにつれて委員長(障がい部会)の熱意に引っぱられるように行政、市民委員とも参加度が強くなってきて、課題を解決するための計画策定(以前は計画のための計画という(ヒアリングなど出たが)感じだったが)だという意識が生まれてきて参加してよかったと思えた。
15	・まとめ冊子へのエネルギー(机上の仕事)にウエイトがかかっている。 ・お役所仕事(いろいろ総花的に文言で網羅する)ととられないか。 ・何をいつ、誰がどのように行うか・・・示す方向が出るとよいと思う。
16	発言する方が偏ってしまって・・・。有識者なる方など、もう少し盛り上げていただきたいものだ・・・と。
17	限られた時間での話し合いなので、新しい課題、改善点を具体的にしていけることが望ましい。用意された「たたき台」を基に、意見交換するのではあまり意味がない。
18	貴重な会議に参加させていただき、これからの人生への励みにさせて頂け、感謝致します。ありがとうございました。
19	・義務で協議会を行っている感じを受ける。もっと前向きな姿勢が欲しい。 ・事務局側に専門職の職員を配置する事が望まれる。
20	健康づくり推進協議会として、「健康まつり」の推進だけに運営されるのはもったいないと感じました。

21	今回の子育て編集ブログは、健康なママさん達が多く、その熱心さそして責任ある立場に所属することが大事なんだな、と感想です。※しかし、障がい持ってるお母さん、こういう委員会に参加できないお母さんはどのような考えを持っているのかを、知りたいと思った。※若いママ達はゆとりがない感じを受けました。
22	活動内容は嫌ではないのに、参加者及び実稼働者が少ないため、取材や書き込み(記事作成)など思っていた以上に時間をとられるし、子どもが小さく、寝ている時にしかPCに向かえないため、記事がたまると寝不足が続いてしまうのが辛かった。取材費がないので、自己負担になったり、子どもを預けないで取材することになりハードなことが多い。
23	夏に出産したため、なかなか活動に参加することができませんでしたが、引き続き参加できるよう調整していき、少しでも市の活動にたずさわっていきたいと思っています。
24	参加できて良かったし、やりがいはあったが、事前に入れ物は用意されておりその中での活動なので、市民としてムダや効果的でない活動にも従事せねばならず、『市民参加』は体裁だけのように感じた。もっと市民に任せて経験のある人を募ってやってもいいのでは？また市でもサイトを活用する努力すべき。(子育て支援カードとの連携など)
25	引っ越してきたばかりで知り合いもなく、狛江の事も何も知りませんでしたが、狛江の魅力を沢山知ることが出来て良い経験になりました。
26	会議の日時がもっと早くに分かっていれば、仕事の都合をつけていたのですが。又は常に第〇〇曜日の何時等と固定されていれば、有難かったです。1ヶ月以上前には知りたいところです。担当の方々はとても気持ちよくサポートして下さいました。
27	もし事前に「どういう活動をしていく集まりです」という説明会があったら良かったかな・・と思いました。はじめ思っていたのとはちょっと違ったかな・・・？というのが正直なところです。募集にあたって説明会があったら良かったですね。
28	待機児童解消、財政健全化など勘案すると、保育園の民間委託の方策は今後も検討される課題と感じた。
29	市民参加ということを標榜している狛江市であるから、市民が積極的に参加することは必要であるが、率直に言って委員になっていながらほとんど発言しない委員がある。数少ない公募委員であるのだから積極的に発言すべきだと思う。公募委員の選出方法を再考する必要があるのではないか。
30	懇親できる機会を年1回は設けたほうがよい。
31	行政改革推進のためにも様々な会に参加して改革のための建設的な意見を述べたい。この用紙は折り方を変えないと返信用封筒に入らない。万時配慮、注意力に欠ける。
32	狛江市としてどのように考え行動するか、将来、現在のビジョンを伺いたいと思っています。そこからプロジェクトが立ち上がるのを見ていきたいと思っています。
33	環境問題は範囲が広いので、多くの市民委員の参画が望まれる。
34	議長の能力で会議の充実、それに伴う結論が的確になると思うので、重要案件については、外部からでも精通した議長を選出してもらいたい。
35	狛江市として、こうしたい、こうするんだという熱意と実行力を期待して見ていきたいと思っています。生の声をもっと聞きたいです。(行政側の)
36	まちづくり委員会の議題がほとんどマンション建設の調整会に片寄っており、狛江のまちづくりに対し、他に建設的な内容の議題を検討しても良いのではないかと思います。
37	都市マスや都市計画、その他まちづくりの施策に対して、もっと大きな責任と権限があつてよいと考えます。より多く専門委員を含め、多くのことを提案、審議させる委員会にして良いと考えます。調整会の委員体制のより強化が必要と感じます。
38	公共交通会議で小田急や京王の方が言っていたように、市の熱意！ただ個人的に2社がこちらがやりたいと言えば動くことが分かったので、捨てたものではないことが分かった。
39	結論ありきの会議のきらいを感じてしまいました。目的があるにもかかわらず、予算が無いで先延ばし、予算ができたなら実行する、という結果になりました。これについてはいかがなものかと…。担当の方々本当に丁寧に説明、対応いただきました。ありがとうございました。
40	真の意味での市民協働、市民参加を目指すのであれば一日も早く現在のような審議会形式は廃すべき。最終的な結論を外部の学識に委ねる現在のやり方を改め、市民が取りまとめを行う方式に。

41	・担当している都市整備課の担当者が都市計画をどう考えているか？ 又どうしたい！のか？→市民委員として立場を超えて、話合っていきたかった。 ・旧来の委員会のパターンはただ形式のみに走る傾向があり、最も非効率である。
42	委員として不適な人①「官」と「民」のあり方の認識が無い人 ②現場の実態を自分の目で掌握しない人 ③現実を踏まえ市政全般を総合的且つ大局的に考えない人
43	初回会合に出ただけです。…アンケートの意味があるのでしょうか？
44	第1回の会合のみで、回答はできない。自己紹介等の顔合わせとこれからの見通しの理解くらいの人にこのようなアンケートの依頼はいかなものでしょうか。
45	ごみ半減審議会も年度と合わせた任期に変更すべきでは。会議開催時間を夕方に変更すべきでは。(一般会社員は昼間だと出席できないため、市民委員に参加できない。)
46	第1回目に出席し自己紹介等で終始した会に対しこのアンケートは早かったのではと思っています。
47	答申に対する市の行政計画が示されないまま、次の諮問が出されるなど、しっかりとキャッチボールができていないようである。
48	H24 3/10の講演会に参加した時、公民館と社会教育行政の立場からお話いただいたとき、とても分かりやすく興味ある内容で出席して本当に良かったと思いました。去年会議に初めて参加した時、内容が広範囲に及びとまどいましたが、この講演を先にお聞きできれば随分違ったのでは、と感じられました。
49	市民検証はあの形式ではもう限界。これ以上クリエイトできない。数回の市民検証委員会なら、市のたたき台を出して検討したり、民生委員さんに協力してもらおう。委員にバスにのってもらおうなど新しい動きが必要。新しいものをつくるのに回数が少ない。市・事務局の動き、方向性が見えない。不信感につながる。

公募市民委員アンケート

平成 23 年度所属審議会等名称

狛江市〇〇〇〇〇委員会

このアンケートは、平成 23 年度に狛江市の審議会等（委員会・協議会等）に公募による市民委員として参加されていた方にご協力をお願いしています。アンケートの集計結果は、会議運営における市民参加の機会をより良くしていくために、「狛江市市民参加と市民協働に関する審議会」において、平成 23 年度の市民参加の評価の資料といたします。

あてはまるものに○をつけ、必要な箇所に理由等をご記入ください。よろしくお願いします。

◆市民委員に応募された時点のことをお伺います。（複数回答可）

○次のどの方法で市民委員の募集を知りましたか？

- | | | |
|-------------|--------------|---------|
| 1. 広報こまえ | 4. 知人や所属団体から | 7. その他〔 |
| 2. 市のホームページ | 5. 市役所からの連絡 | |
| 3. 市役所窓口 | 6. チラシ・ポスター | 〕 |

○応募のきっかけは何ですか？

- | | |
|-------------------------|---|
| 1. 会議内容に興味があったから | |
| 2. 今までの自分の経験が役に立つと思ったから | |
| 3. 狛江市のために役に立ちたいと思ったから | |
| 4. 家族・友人・知人に勧められたから | |
| 5. その他〔 | 〕 |

◆会議の事務についてお伺います。（いずれか一つに回答）

○会議の開催回数についてどのように感じましたか？何回開催されましたか？⇒〔 〕回

- | | |
|--------------------------|-------|
| 1. 多い〔どのくらいが適当だと思いますか？⇒ | 回くらい〕 |
| 2. 適当 | |
| 3. 少ない〔どのくらいが適当だと思いますか？⇒ | 回くらい〕 |

○1回あたりの会議時間はどのように感じましたか？平均何時間位でしたか？⇒〔 〕時間

- | | |
|-------------------------|--------|
| 1. 長い〔どのくらいが適当だと思いますか？⇒ | 時間くらい〕 |
| 2. 適当 | |
| 3. 短い〔どのくらいが適当だと思いますか？⇒ | 時間くらい〕 |

○会議の委員報酬についてどのように感じましたか？

- | | |
|---------------------------------|-------|
| 1. もっと高くしても良い〔どのくらいが適当だと思いますか？⇒ | 円くらい〕 |
| 2. 妥当な金額だと思う | |
| 3. もっと安くしても良い〔どのくらいが適当だと思いますか？⇒ | 円くらい〕 |
| 4. 報酬はなくても良い | |

◆会議の中身・運営についてお伺います。（いずれか一つを回答）

○会議の審議内容についてどのように感じましたか？

- | | |
|-----------------|-------|
| 1. 充実していた | 〔理由：〕 |
| 2. あまり充実していなかった | |
| 3. どちらでもない | |

○会議の進め方（進行）についてはいかがでしたか？

- | | |
|--------------|-------|
| 1. 良かった | 〔理由：〕 |
| 2. あまり良くなかった | |
| 3. どちらでもない | |

裏面へ続きます。引き続きご回答をお願いします。

○会議のために市の事務局が作成した資料や事務局からの説明はいかがでしたか？

- 1. 良かった
- 2. あまり良くなかった
- 3. どちらでもない

理由：

○資料は事前送付されましたか？⇒ 1. ほとんどされた 2. 当日配布 3. その他〔 〕

○事務局から会議の内容等について事前（委員委嘱前等）にレクチャーはありましたか？

- 1. あった 2. なかった 3. その他〔 〕

○会議におけるご自身の発言についてどのように感じましたか？

- 1. 十分発言できた 2. あまり発言できなかった 3. どちらでもない

※「2. あまり発言できなかった」、「3. どちらでもない」とお答えいただいた方に伺います。

○十分に発言できなかった理由は何ですか？

- 1. 会議の内容が難しい 2. 応募当初考えていた会議の内容と違っていた
- 3. 発言のタイミングがつかめない
- 4. その他〔 〕

○会議の中でご自身の意見が取り入れられたと思いますか？

- 1. 取り入れられたと思う
- 2. あまり取り入れられなかったと思う
- 3. どちらでもない

理由：

○審議会等がまとめた答申（提言や報告書等）の内容についてどのように思いますか？

- 1. 満足できた
- 2. あまり満足できなかった
- 3. どちらでもない

理由：

○公募市民委員として会議に参加してどうでしたか？

- 1. 良かった
- 2. あまり良くなかった
- 3. どちらでもない

理由：

○今後、同じ審議会等または他の審議会等に市民委員として応募しますか？

- 1. する〔希望する会議名⇒ 〕 2. しない 3. わからない

○今後、家族や友人に公募市民委員としての市民参加を勧めますか？

- 1. 勧める 2. 勧めない 3. わからない

○ご意見や感想等、自由にご記入ください。

最後までご協力ありがとうございました。同封の返信用封筒でご返送ください。

審議会等担当：所管部署

アンケート担当：企画財政部政策室協働調整担当

TEL：03-3430-1111（内線

）

TEL：03-3430-1111（内線 2454）

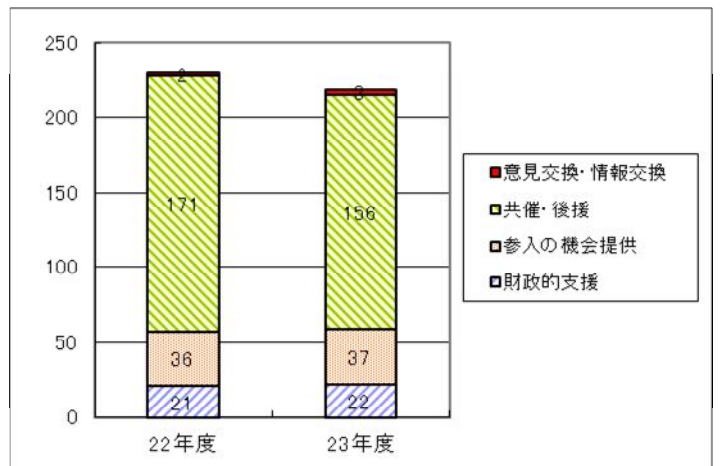
平成 23 年度市民協働事業概要調査

市民協働事業の分野について

財政的支援	「補助金」等、市が市民公益活動団体に対して資金援助を行う事業。
参入の機会提供	市と団体が「委託」「協定」等を交わし、協力して実施する事業（協定等による報償としての交付金事業を含む）。
共催・後援	市や教育委員会が共催・後援を行う事業。
意見交換・情報交換	「懇談会」「ワークショップ」等、協働事業について団体から提案・意見を聞く等の場の開催。

1. 市民協働事業件数

	22 年度	23 年度
財政的支援	21 件	22 件
参入の機会提供	36 件	37 件
共催・後援	171 件	156 件
意見交換・情報交換	2 件	3 件
計	230 件	218 件



	21 年度	20 年度	19 年度	18 年度	17 年度
財政的支援	20 件	22 件	20 件	21 件	31 件
参入の機会提供	39 件	38 件	36 件	36 件	36 件
共催・後援	158 件	174 件	137 件	138 件	93 件
意見交換・情報交換	2 件	2 件	3 件	4 件	6 件
計	219 件	236 件	196 件	199 件	166 件

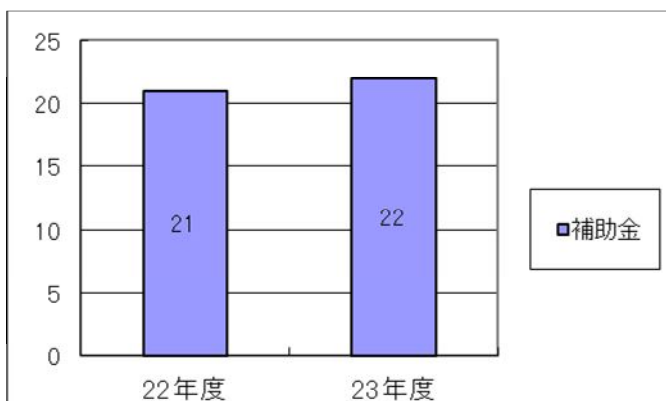
調査結果

○全体として、平成 22 年度と比較し 12 件減少。うち、共催・後援で 15 件減少。

2. 財政的支援

補助金事業件数

	22 年度	23 年度
補助金	21 件	22 件



調査結果

○交付件数総数では1件増加。

- ・地域活性課 新規「狛江市観光協会組織基盤強化補助金」
- ・社会教育課 新規「総合型地域スポーツクラブ育成支援補助金」

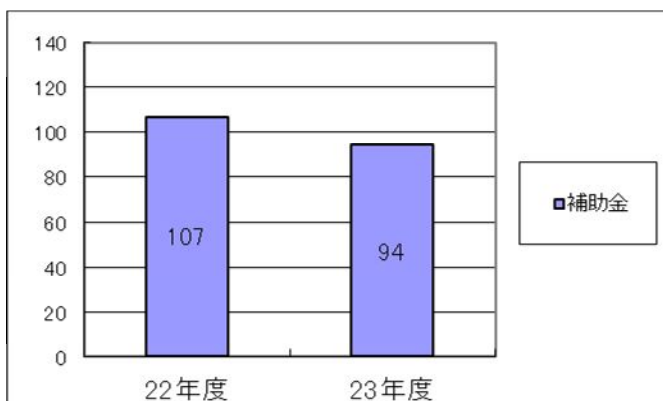
-
- ・安心安全課 廃止「地区消防隊運営費補助金」
-

- ・福祉サービス支援室 変更「狛江市障がい者日中活動系サービス推進事業補助金」

	21 年度	20 年度	19 年度	18 年度	17 年度
補助金	20 件	22 件	20 件	15 件	20 件
交付金	—	—	—	5 件	10 件
その他	—	—	—	1 件	1 件
計	20 件	22 件	20 件	21 件	31 件

交付団体数

	22 年度	23 年度
補助金	107 件	94 件



調査結果

○交付団体総数では 13 団体減少。

- ・地域活性課 新規「狛江市観光協会組織基盤強化補助金」により 1 団体増加。
- ・社会教育課 新規「総合型地域スポーツクラブ育成支援補助金」で 1 団体増加。
- ・福祉サービス支援室 変更「障がい者日中活動系サービス推進事業補助金」で 1 団体増加。

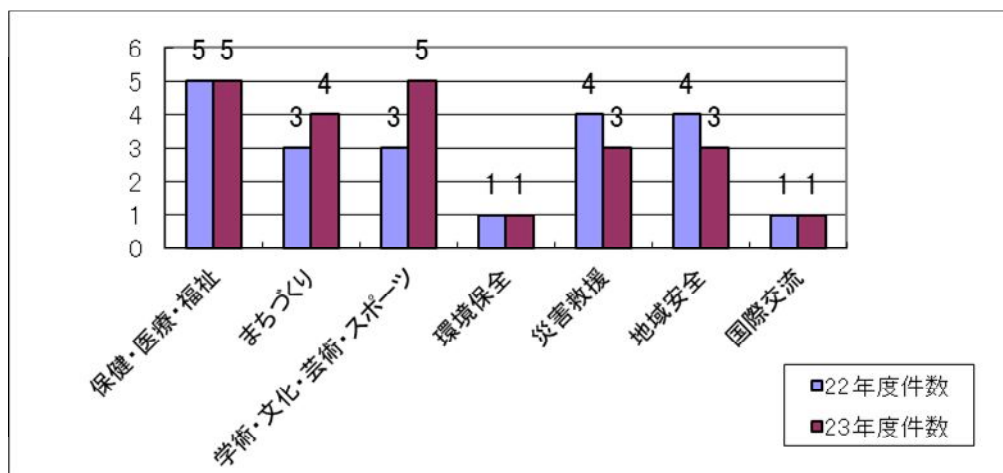
-
- ・安心安全課 終了「地区消防隊運営費補助金」で 7 団体減少。
 - ・地域活性課「新しい風補助金」で 5 団体減少。
 - ・地域活性課「コミュニティ活動活性化交付金」で 3 団体減少。
 - ・介護支援課「地域福祉推進事業補助金」で 1 団体減少。

	21 年度	20 年度	19 年度	18 年度	17 年度
補助金	104 団体	124 団体	126 団体	91 団体	85 団体
交付金	—	—	—	34 団体	36 団体
その他	—	—	—	0 団体	1 団体
計	104 団体	124 団体	126 団体	125 団体	122 団体

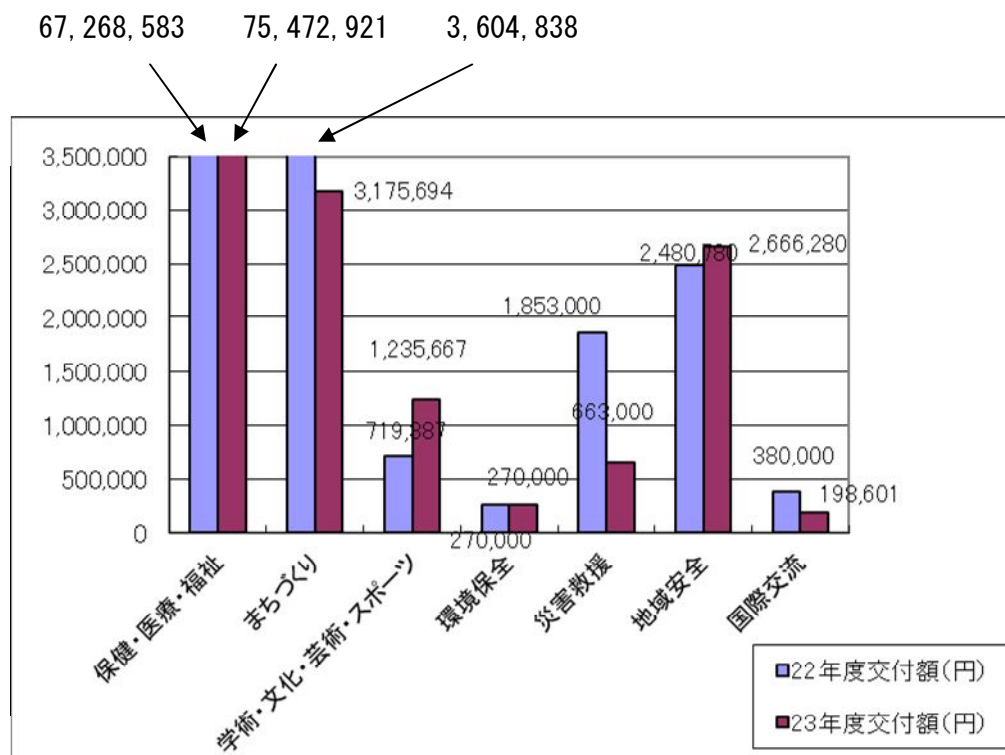
事業分野別件数・交付額

	22 年度		23 年度		差 額
	件数	交付額	件数	交付額	
保健・医療・福祉	5 件	67,268,583 円	5 件	75,472,921 円	8,204,338 円
まちづくり	3 件	3,604,838 円	4 件	3,175,694 円	-429,144 円
学術・文化・ 芸術・スポーツ	3 件	719,387 円	5 件	1,235,667 円	516,280 円
環境保全	1 件	270,000 円	1 件	270,000 円	0 円
災害救援	4 件	1,853,000 円	3 件	663,000 円	-1,190,000 円
地域安全	4 件	2,480,780 円	3 件	2,666,280 円	185,500 円
国際交流	1 件	380,000 円	1 件	198,601 円	-181,399 円
合 計	21 件	76,576,588 円	22 件	83,682,163 円	7,105,575 円

事業分野別件数グラフ



事業分野別交付額グラフ



調査結果

○交付額は、22年度と比較し、7,105,575円増加。

「保健・医療・福祉」分野で8,204,338円増加。

「学術・文化・芸術・スポーツ」分野で516,280円増加。

「災害救援」分野で1,190,000円減少。

「まちづくり」分野で429,144円減少。 等

平成23年度「補助金」交付団体と事業総額に対する交付総額の割合

	件数	団体数	事業総額	交付額	補助金の割合
保健・医療・福祉	5件	33団体	98,989,067円	75,472,921円	76.2%
まちづくり	4件	21団体	10,889,490円	3,175,694円	29.2%
学術・文化・ 芸術・スポーツ	5件	10団体	2,697,973円	1,235,667円	45.8%
環境保全	1件	1団体	1,125,847円	270,000円	24.0%
災害救援	3件	20団体	1,763,167円	663,000円	37.6%
地域安全	3件	8団体	19,619,143円	2,666,280円	13.6%
国際交流	1件	1団体	538,470円	198,601円	36.9%
合 計	22件	94団体	135,623,157円	83,682,163円	61.7%

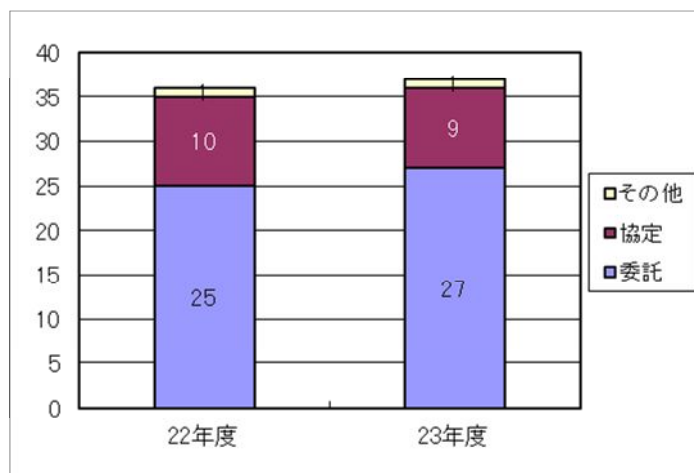
調査結果

○事業総額に対する交付額の割合が高い順に、「保健・医療・福祉」「学術・文化・芸術・スポーツ」「災害救援」分野となっている。

3. 参入の機会提供

事業件数

	22 年度	23 年度
委託	25 件	27 件
協定	10 件	9 件
その他	1 件	1 件
計	36 件	37 件



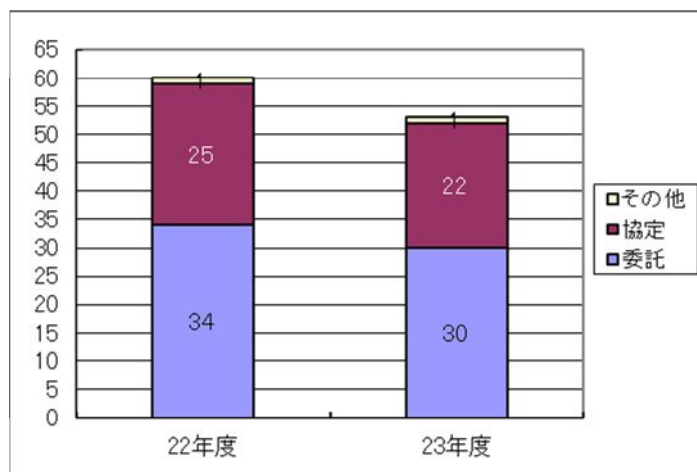
調査結果

- 22 年度から 1 件増加。
- 「委託」事業が 2 件増加。
- 「協定」事業は 1 件減少。
 - ・市民協働事業提案制度を利用した事業が 1 件減少。
- 「その他」事業は、昨年度と同様で社会教育課「狛江市立古民家園指定管理業務」。

	21 年度	20 年度	19 年度	18 年度	17 年度
委託	29 件	29 件	28 件	25 件	25 件
協定	9 件	8 件	7 件	7 件	10 件
その他	1 件	1 件	1 件	1 件	1 件
計	39 件	38 件	36 件	33 件	36 件

参入団体数

	22 年度	23 年度
委託	34 団体	30 団体
協定	25 団体	22 団体
その他	1 団体	1 団体
計	60 団体	53 団体



調査結果

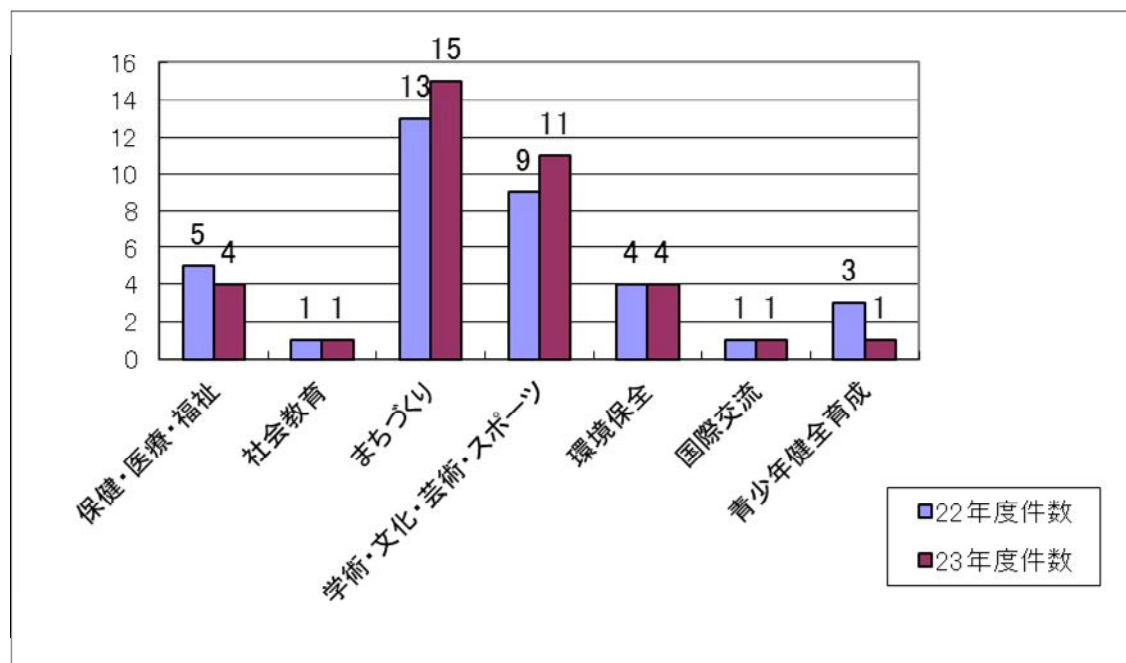
- 参入団体総数で7件減少。
- 委託事業で4団体減少。
- 協定事業で3団体減少。

	21 年度	20 年度	19 年度	18 年度	17 年度
委託	36 団体	31 団体	30 団体	32 団体	33 団体
協定	23 団体	25 団体	23 団体	23 団体	21 団体
その他	1 団体	1 団体	1 団体	1 団体	1 団体
計	60 団体	57 団体	54 団体	56 団体	55 団体

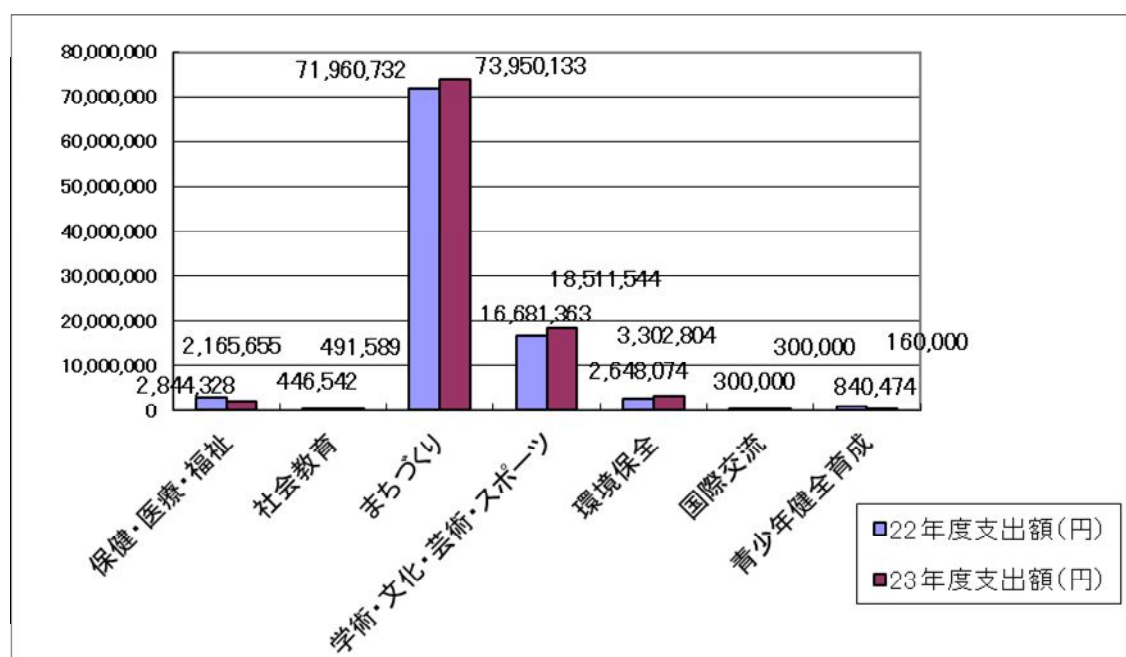
事業分野別件数・支出額

	22 年度		23 年度		差額
	件数	支出額	件数	支出額	
保健・医療・福祉	5 件	2,844,328 円	4 件	25,405,655 円	22,561,327 円
社会教育	1 件	446,542 円	1 件	491,589 円	45,047 円
まちづくり	13 件	71,960,732 円	15 件	73,950,133 円	1,989,401 円
学術・文化・ 芸術・スポーツ	9 件	16,681,363 円	11 件	18,511,544 円	1,830,181 円
環境保全	4 件	2,648,074 円	4 件	3,302,804 円	654,730 円
国際交流	1 件	300,000 円	1 件	300,000 円	0 円
青少年健全育成	3 件	840,474 円	1 件	160,000 円	-680,474 円
合 計	36 件	95,721,513 円	37 件	122,121,725 円	26,400,212 円

事業分野別件数グラフ



事業分野別支出額グラフ



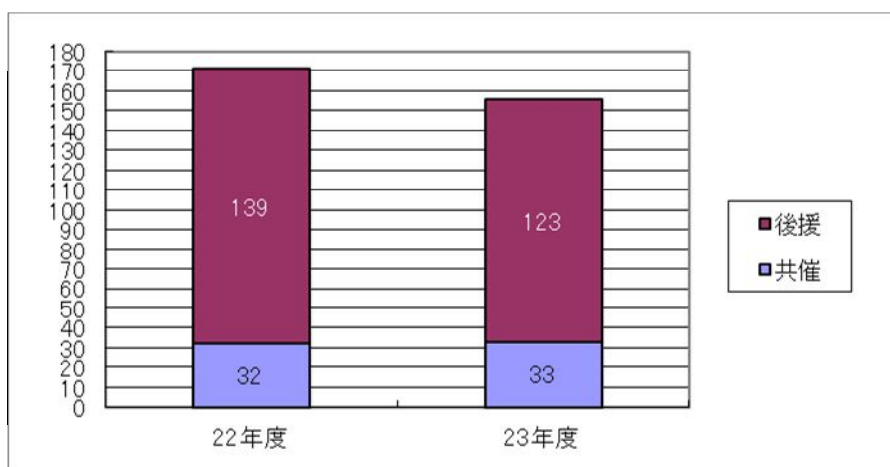
調査結果

- 分野別事業件数及び支出額について、「まちづくり」、「学術・文化・芸術・スポーツ」分野の件数が前年から増加。割合も多い。
- 支出額について、上記2分野で22年度と比較し3,819,582円増加。「環境保全」で654,730円増、「社会教育」で45,047円微増、その他の分野の合計で20,998,692円減少。
(※H24 保健医療福祉分野で、前年度計上モレ(1件、金額23,240,000円)含む)

4. 共催・後援

共催・後援件数

	22 年度	23 年度
共催	32 件	33 件
後援	139 件	123 件
計	171 件	156 件



調査結果

○22 年度と比較し 15 件減少。

○共催が 1 件増加。後援が 16 件減少。

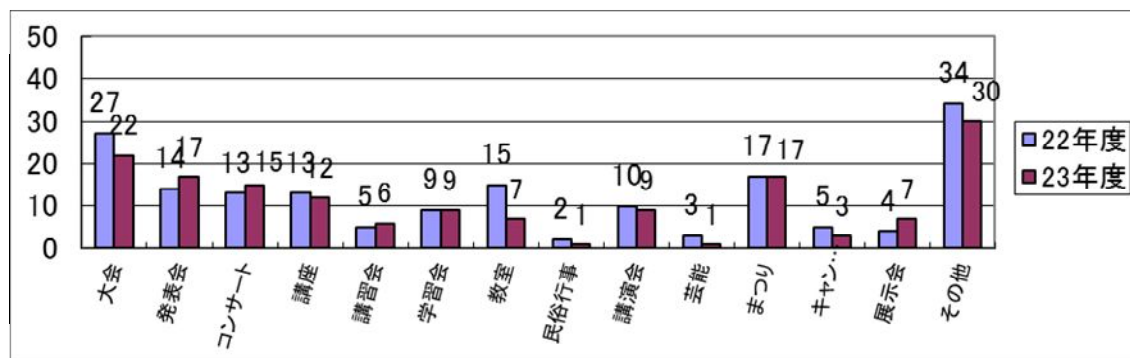
事業形態別件数前年度比較

	22 年度	23 年度
大会	27 件	22 件
発表会	14 件	17 件
コンサート	13 件	15 件
講座	13 件	12 件
講習会	5 件	6 件
学習会	9 件	9 件
教室	15 件	7 件
民俗行事	2 件	1 件
講演会	10 件	9 件
芸能	3 件	1 件
まつり	17 件	17 件
キャンペーン	5 件	3 件
展示会	4 件	7 件
その他	34 件	30 件
合計	171 件	156 件

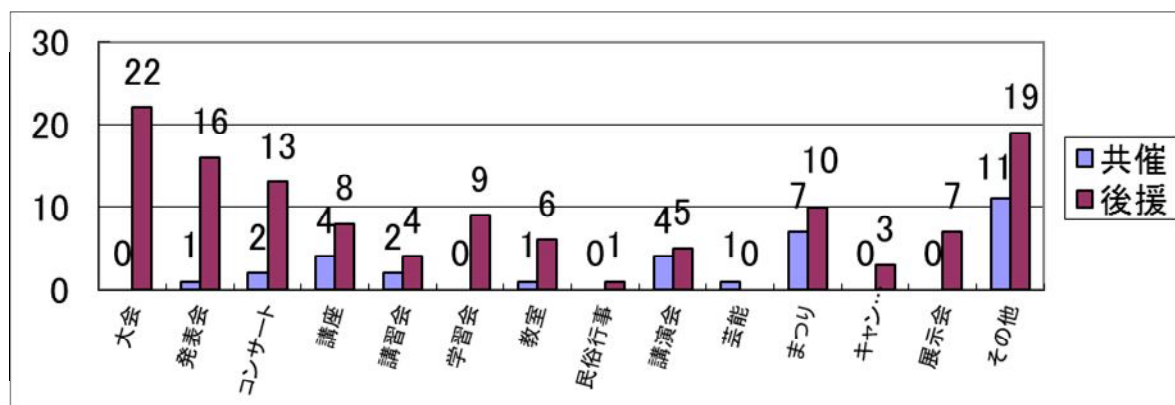
23 年度共催・後援別件数

	共催	後援
大会	0 件	22 件
発表会	1 件	16 件
コンサート	2 件	13 件
講座	4 件	8 件
講習会	2 件	4 件
学習会	0 件	9 件
教室	1 件	6 件
民俗行事	0 件	1 件
講演会	4 件	5 件
芸能	1 件	0 件
まつり	7 件	10 件
キャンペーン	0 件	3 件
展示会	0 件	7 件
その他	11 件	19 件
合計	33 件	123 件

事業形態別件数グラフ前年度比較



23 年度 共催・後援別件数グラフ



調査結果

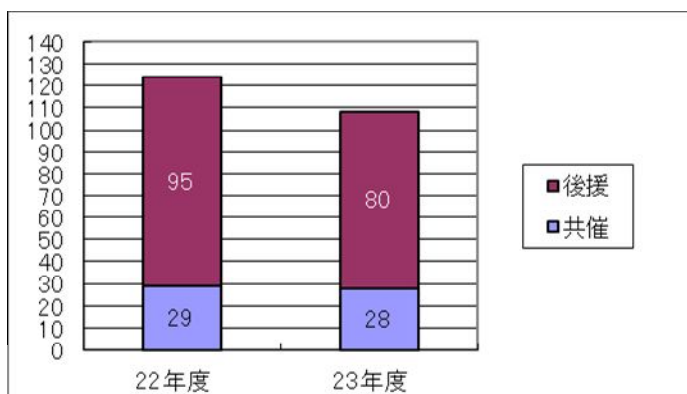
- 事業形態別件数で 4 部門で増加、8 部門で減少、2 部門が前年度と同件数。
- 事業形態別の共催・後援それぞれの件数では、ほとんどの形態において後援が多くなっている。
「大会」、「その他」、「発表会」の順で後援の件数が多い。

共催・後援件数

	21 年度	20 年度	19 年度	18 年度	17 年度
共催	21 件	23 件	15 件	18 件	6 件
後援	137 件	151 件	122 件	120 件	87 件
計	158 件	174 件	137 件	138 件	93 件

共催・後援団体数

	22 年度	23 年度
共催	29 団体	28 団体
後援	95 団体	80 団体
計	124 団体	108 団体



調査結果

○同一団体が複数の共催や後援を受けている場合があるため、団体数は件数よりも少なくなっている。

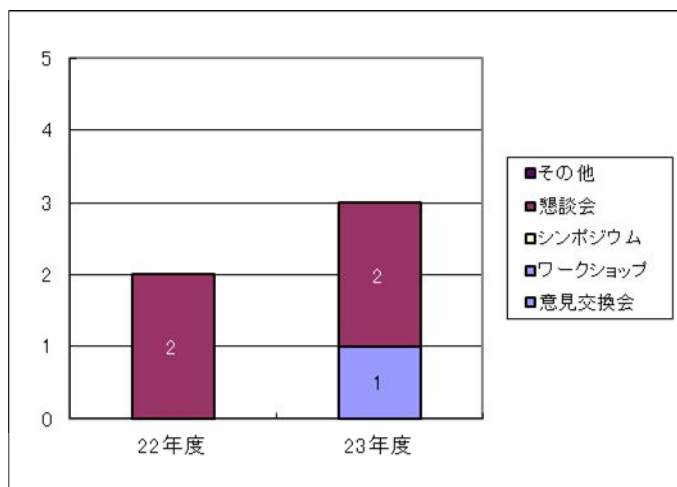
○共催・後援団体数は 22 年度と比べ 16 団体減少。

	21 年度	20 年度	19 年度	18 年度	17 年度
共催	20 団体	19 団体	15 団体	18 団体	7 団体
後援	92 団体	94 団体	91 団体	73 団体	63 団体
計	112 団体	113 団体	106 団体	91 団体	70 団体

5. 意見交換・情報交換

意見交換・情報交換件数

	22 年度	23 年度
意見交換会	0 件	0 件
ワークショップ	0 件	1 件
シンポジウム	0 件	0 件
懇談会	2 件	2 件
その他	0 件	0 件
計	2 件	3 件



調査結果

○清水川整備実施設計に伴うワークショップ実施により 1 件増加。

	21 年度	20 年度	19 年度	18 年度	17 年度
意見交換会	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
ワークショップ	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
シンポジウム	0 件	0 件	0 件	1 件	2 件
懇談会	2 件	2 件	2 件	2 件	3 件
その他	0 件	0 件	1 件	1 件	1 件
計	2 件	2 件	3 件	4 件	6 件

担当課	種別	分野	事業名	支援の目的・根拠条文	交付対象	事業総額	交付総額	交付総額の負担割合	実績及び成果
政策室	補助金	国際交流	国際交流協会事業	市民主体の国際交流事業の充実及び発展に資することを目的とする。 狛江市国際交流事業に関する補助金交付要綱	狛江市国際交流協会	538,470	198,601		狛江市民による国際交流を推進して、国際相互理解と国際親善に寄与することを目的としている。23年度は「初金のつどい」「日本語スピーチ大会」等の他、音楽の街・狛江・5周年を記念して実施された「国際交流夢コンサート」への協力として、各国の物産展等を行った。
安心安全課	補助金	地域安全	調布地区防犯協会等に対する補助金	狛江市調布地区防犯協会等が行う各種防犯運動及び看板設置等の事業、青少年野球大会・剣道大会等の事業、防犯に関する映画会・座談会等の事業、防犯運動用雑誌の発行、その他青少年の非行防止等事業に対して補助を行う。 狛江市調布地区防犯協会等に対する補助の基準	調布地区防犯協会 調布地区防犯協会狛江支部連合会	7,052,085	1,080,000		・調布地区防犯協会 街頭、侵入犯罪抑止対策の推進、ひったくり、車上狙い防止対策、薬物乱用防止対策の推進、安全安心まちづくり防犯のつどい(調布市グリーンホール)、青少年非行防止街頭パトロール、年末警戒詰所激励訪問、振り込め詐欺防止キャンペーン ・調布地区防犯協会狛江支部連合会 「安心安全なまち狛江」を目指し、本部・警察署との連携による駅頭活動、市と生活安全対策協議会主催の防犯キャンペーン活動、安心安全パトロールの実施、歳末特別警戒、各種イベントの警戒、防犯診断等の事業展開を行っている
安心安全課	補助金	地域安全	調布交通安全協会等に対する補助金	交通安全協会等が行う交通安全に関する各種教室、講習会事業及び交通安全思想の普及啓発活動に対して補助を行う。 狛江市調布交通安全協会等に対する補助の基準	調布交通安全協会 調布警察署内園児交通安全防犯連絡会	10,645,351	900,000		平成23年度の狛江市において発生件数は195件で、昨年度と比較し減少した。今後も更に減少させるため各種キャンペーン広報活動を活発に行い事故防止に努めている。 園児交通安全防犯事業では交通安全、防犯活動の推進を図る。また、交通安全講習会や防犯講習会への参加園児に対する安全指導を行う。
安心安全課	補助金	災害救援	防火防災協会補助金	火災、水害その他の災害未然防止及びこれらに必要な防火防災思想の普及並びに防災行動力の向上を図り、災害の無い明るい街づくりと発展に寄与する活動を行う狛江防火防災協会に対して補助を行う。 狛江防火防災協会及び狛江市防災会に対する補助の基準	狛江防火防災協会	1,220,000	120,000		火災予防運動のポスター・チラシ・パンフレット等を購入し、町会・自治会・防災会等に配付し防火防災思想の普及を図った。春・秋の火災予防運動期間中実施する危険物輸送車両・駅舎・車両にかかわる査察及び防火のつどいを支援した。防火防災広報事業の推進を図った。
安心安全課	補助金	災害救援	防災会支部運営費補助金	住民の隣保共同の精神に基づく自主的な防災活動を行うことにより、地震・その他の災害による被害の防止及び軽減を図ることを目的とした活動を行う狛江市防災会に対して補助を行う。 狛江防火防災協会及び狛江市防災会に対する補助の基準	和泉第3支部、狛江団地支部、北和泉支部、覚東支部、小足立支部、和泉第1支部、多摩川住宅イ号棟支部、上和泉支部、駄倉支部、セントラルハイツ支部、銀行町支部、多摩川住宅ニ号棟支部、狛江ハイタウン支部、猪方支部、岩戸支部、駒井支部、和泉多摩川支部、中和泉5丁目支部	513,167	513,000		狛江市合同水防演習に参加、地域自主訓練実施、春・秋の火災予防運動で訓練等実施、防災市民リーダー研修会・防災講演会の実施、防災ラジオの配付、防災会視察研修、支部長・婦人部長会議の実施。
安心安全課	補助金	災害救援	避難所運営協議会補助金	避難所運営協議会が第4条各号に掲げる事業を行う際、その事業に要する経費の一部を補助することにより、自主防災活動の推進を図り、市民の防災行動力の向上に寄与することを目的として交付する。 狛江市避難所運営協議会補助金交付要綱	六小学区避難所運営協議会	30,000	30,000		運営協議会等の会議の開催、避難所マニュアルの作成、避難所運営訓練、視察研修等を実施。
地域活性課	補助金	まちづくり	狛江市市民公益活動事業補助金(新しい風補助金)	先駆的な活動又は特色ある事業を実施する狛江市の市民公益活動団体(以下「団体」という。)の事業に対し、その経費の一部について補助金を交付することにより団体の成長及び発展を図る。 ■狛江市市民公益活動事業補助金(新しい風補助金)交付要綱	こまエチャイルドライン、石井家住宅を記録にとどめる会、狛江・まちづくり市民会議、狛江市地域ティグループ事業連絡協議会、泉の森友の会、狛江にプレーパークをつくる会	2,249,373	1,200,000		16年度よりスタートして今年度で8回目にあたる。1事業の交付上限は20万円。7団体が公開プレゼンテーションに臨んだが、1団体は交付申請前に辞退し、6団体に交付された。補助金により、市内で行われている先駆的、あるいは特色ある活動に対して援助ができ、これらの事業を行う団体の成長及び発展の一助となった。
地域活性課	補助金	まちづくり	コミュニティ活動活性化助成金	町会、自治会、集合住宅の管理組合及び町会等設立準備会に対し、狛江のまちづくり及び地域社会づくりに資する活動を対象にコミュニティ活動活性化助成金を交付し、もって町会等の組織化、育成及びコミュニティ活動の活性化を図る。 ■狛江市コミュニティ活動活性化助成金交付要綱	狛江団地自治会、狛江セントラルハイツ管理組合、神代団地自治会、覚東町会、中和泉5丁目町会、元和泉1丁目町会、狛江ハイタウン団地管理組合法人、小足立町会、駒井町会、猪方町会、岩戸町会、銀行町親和会、多摩川住宅イ号棟自治会	6,491,485	1,780,694		当補助金は、町会等の組織化、育成及びコミュニティ活動の活性化を図ることを目的としている。 今年度の交付団体は13団体で、前年度よりも交付総額が増額した。また、前年度と比較すると防災に関する事業を行う町会等が増えている。 補助金の交付により、地域の活性化に寄与することができた。

担当課	種別	分野	事業名	支援の目的・根拠条文	交付対象	事業総額	交付総額	交付総額の負担割合	実績及び成果
地域活性課	補助金	まちづくり	観光協会補助(組織基盤強化補助金)	狛江市の観光行政の推進を図るため、狛江市観光協会の組織基盤強化を目的とする。 ■狛江市観光協会組織基盤強化補助金交付要綱	狛江市観光協会	1,748,642	155,000		狛江市観光協会の強化策を検討し、新規会員の加入、観光に関する講演会の実施を行った。
福祉サービス支援室	補助金	保健医療福祉	ふれあいサロン(夢)運営事業	ふれあいサロン(夢)の運営費を補助し、心身障がい者の就労支援を図る。 狛江市心身障害者団体等事業補助金交付要綱	狛江市障害者団体連絡協議会	6,185,125	3,226,000	都・市 1/2 ずつ	喫茶室の経営を通して、心身障がい者の就労、社会参加、市民交流の機会を持つことが出来た。市内の「こまえ工房」、「ひかり作業所」、「就労支援事業所メイ」などからも広く利用者を受け入れ、心身障がい者の雇用促進・社会復帰の援助を図った。
福祉サービス支援室	補助金	保健医療福祉	心身障害者(児)通所訓練等事業	心身障害児通所訓練施設運営費等補助(地域デイグループ) 狛江市心身障害者(児)通所訓練等事業運営費補助金交付規則	えるぶ[こども教室えるぶ、スペースえるぶ]、ゆめぼっと、ハッピーライフフォーエバー、福祉ネット「ナナの家」	60,997,784	43,133,868	都 2/3・市 1/3	心身障害児通所訓練施設運営を行うことで、地域社会における在宅心身障がい者(児)の社会適応訓練の場を継続して確保した。
福祉サービス支援室	補助金	保健医療福祉	(新規)狛江市障がい者日中活動系サービス推進事業	平成22年度までに小規模作業所から移行した事業所に対して、事業所の運営等に要する経費の一部を補助することにより、障がい者の日中活動を確保することで障がい者の自立更生を促進するとともに、保護者の負担の軽減を図ることを目的とする。 狛江市障がい者日中活動系サービス推進事業補助金交付要綱	NPO 狛江さつき会 足立邦栄会 光友会	22,848,000	22,848,000	都・10/10	事業所の安定的な運営と障がい者の自立更生を促進するとともに、保護者の負担の軽減を図ることができた。
介護支援課	補助金	保健医療福祉	老人クラブ補助金	老人クラブ会員の教養の向上、健康の増進、レクリエーション等の活動、地域社会との交流を目的とし、老人クラブの活動を通じて地域福祉の増進を図る。狛江市老人クラブ補助金交付要綱	狛江市老人クラブ連合会、第一長寿会、第二長寿会、第三長寿会、多摩川六十路会、南部長寿会、いづみ長寿会、あづま長寿会、第五長寿会、第六長寿会、第七長寿会、和泉本町健康クラブ、駒井町健康クラブ、若草会、狛江団地健康クラブ、はなみずき会、百の会、かわせみ会	6,755,631	5,323,388	国・都・市1/3 ずつ	補助額は前年に対し減少した。地域清掃等社会奉仕活動、一人暮らし高齢者訪問等の友愛活動、寝たきり予防の健康づくり事業の開催など、老人クラブ3大事業(社会奉仕・友愛活動・健康増進)が達成された。
介護支援課	補助金	保健医療福祉	地域福祉推進事業補助金	創意工夫により地域の社会資源を有効に活用した、市内の非営利の市民団体が実施する実施する福祉サービス事業の普及・拡大を図るとともに、当該団体の発展・向上に寄与するため、その事業展開に要する経費の一部を補助する事により、高齢者・障がい者等の在宅福祉サービスなどの普及及び拡大を図る。地域福祉推進事業補助要綱 地域福祉推進事業補助要綱に係る取扱基準	NPO あゆーとケア&トランスアシスト、NPO 狛江共生の家、NPO 狛江さつき会「家族会」、こまえ社会福祉士会、狛江市遺族会、狛江団地健康クラブ、はなみずきの会	2,202,527	941,665	4団体 都・市1/2 ずつ 3団体 市全額	23年度は前年度と比較すると団体数は2団体の減少となった。しかし、新規参入の団体があり、交付額は増となった。(1団体減、1団体増。単位老人クラブが4から2団体となった。)各団体、相談会の設置・講演会の開催・講習会の開催等展開された。障がい者や高齢者等に社会参加を支援するための活動費の一助になった。
児童青少年課	補助金	学術文化芸術スポーツ	青少年健全育成事業補助金	各育成委員会に対し、青少年健全育成事業における経費の一部又は全部を補助することにより、市民主体の青少年健全育成事業の充実及び発展に資することを目的とする。 狛江市青少年健全育成事業補助金交付要綱を根拠条文とする。	狛江市青少年第一～第四育成委員会	1,195,423	359,667		補助金により、各育成委員会主体とした活動の活性化、青少年健全育成事業の充実及び発展に資することが出来ている。
道路公園課 (旧・環境管理課)	補助金	地域安全	街路灯電気料金補助金	私有道路内に設置されている街路灯のなかで、市管理外の街路灯については、市長の認定に基づき電気料金の補助金を交付することができるものとする。 狛江市街路灯設置要領 第4条1項	狛江団地自治会 多摩川住宅イ号棟自治会 多摩川住宅ニ棟団地管理組合法人 神代団地自治会	1,921,707	686,280		各団地敷地内の街路灯266基に対し、20W街路灯定額料金相当分を補助する。
道路公園課 (旧・環境管理課)	補助金	環境保全	緑化推進事業協議会補助	市内緑化を図るため、花卉、植木類の展示及び即売を実施し、緑化運動を推進を図る。 狛江市緑化推進事業協議会に対する補助の基準	緑化推進事業協議会	1,125,847	270,000		昭和48年度より緑化推進事業がスタートし、年2回の植木即売会を開催しており、市内の緑化に努めている。市内保育園等に花卉の植栽を行っている。
都市整備課	補助金	まちづくり	地区まちづくり準備会助成金	一定の要件を満たした、地区のまちづくりに関する活動を行っている団体に支援をすることにより、地区のまちづくりを推進し、協働のまちづくりの実現を図る。 狛江市まちづくり条例 狛江市まちづくり条例施行規則 地区まちづくり協議会、地区まちづくり準備会及びテーマ型まちづくり協議会への支援に関する要綱	多摩川住宅【街づくり(地区計画)準備会】	399,990	40,000		21年度より助成制度を利用して3年目である。当該団体では、定期的な勉強会や役員会を行い、多摩川住宅の地区計画策定に向けた課題の把握と目標・方針について検討協議を行い、地元案(たたき台)の提案に至った。 なお、平成23年11月23日付けで準備会は解散し、地区計画策定に向け一層の具体化・実現化を目指した協議会への移行が完了している。(協議会への助成は平成24年度から予定)

担当課	種別	分野	事業名	支援の目的・根拠条文	交付対象	事業総額	交付総額	交付総額の負担割合	実績及び成果
社会教育課	補助金	学術文化芸術スポーツ	郷土芸能保存会補助	粕江市文化財保護条例に基づき、市指定文化財(市技芸)の保持・継承に当たっている保持者(保存会)に対し、伝統芸能の継承を図るため、その管理等に要する経費の一部を補助する。 粕江市文化財保護条例	多摩川ばやし保存会 駒井はやし保存会	114,650 304,470	100,000 200,000		両団体とも、補助金の交付により、山車の修理や提灯の交換などの備品修理、鉦・演奏時の毛氈等、備品の整備ができた。これにより、各種行事へ参加・公開が進み、後継者への技術伝承が図られるとともに、他地域の保存団体との交流や、市民まつりなどで市民への公開を行うなど成果をあげている。
社会教育課	補助金	学術文化芸術スポーツ	青少年育成事業補助金	青少年の健全な育成を図るため、青少年を対象として実施する事業の経費を補助 粕江市青少年育成事業補助金交付要綱	粕江市少年野球連盟 粕江市ボーイスカウト連絡協議会	710,534	100,000		青少年の健全な育成のため、補助金の支給は一定の意味を持っている。
社会教育課	補助金	学術文化芸術スポーツ	粕江市立学校PTA連合会こどもかけこみ110番事業補助金	子どもの生命と安全を確保するための活動の充実及び発展に資することを目的 粕江市立学校PTA連合会こどもかけこみ110番事業に関する補助金交付要綱	粕江市立学校PTA連合会	292,016	276,000		PTA連合会かけこみ110番実行委員会の要請活動により、該当事案もなく抑止効果を発揮している。
社会教育課	補助金	学術文化芸術スポーツ	(新規) 粕江市総合型地域スポーツクラブ育成支援補助金	クラブの運営と活動の活性化を支援するため、また市民のスポーツの普及・振興と地域コミュニティの形成や青少年の健全育成に寄与することを目的とする。 粕江市総合型地域スポーツクラブ育成支援補助金交付要綱	粕江市総合型スポーツ・文化クラブ	500,000	500,000		通年事業 ・バドミントン教室(参加者1,003名) ・健康体操教室(参加者695名) ・バレーボール教室(参加者787名) ・ショートテニス教室(参加者194名) 単発事業 ・ノルディックウォーキング教室(参加者27名) ・バイシクルクラブツーリング(参加者6名) ・バスケット教室(参加者4名) ・スポーツけん玉教室(参加者24名) ・テニス教室(参加者13名) 文化事業 ・書道教室(参加者78名)

担当課	種別	分野	事業名	事業目的	協働相手	事業総額	市支出額	実績及び成果
地域活性課	委託	学術文化芸術スポーツ	「音楽の街ー狛江」推進事業委託	「音楽の街ー狛江」をキーワードに、市民と共に文化・芸術活動の醸成を図る。	狛江市文化振興事業団	5,783,740	4,633,540	・市民まつりにおいて、通常の駅前ライブを拡大して行った。 ・狛江市国際交流協会と連携し、「国際交流夢コンサート」と題し、充実した内容で実施できた。 ・学校公演の開催機会の均等化を図る体制を構築できた。 ・新規事業として、エリアコンサートを開催したことにより、多くの市民が文化芸術に触れる機会を提供できた。
地域活性課	委託	学術文化芸術スポーツ	「絵手紙発祥の地ー狛江」推進事業委託	狛江市が「絵手紙発祥の地」であることにちなみ、絵手紙の魅力を伝え、より広める。	「絵手紙発祥の地ー狛江」実行委員会	1,816,467	1,145,000	・絵手紙教室事業を34事業実施し、参加者は計941名であった。 ・絵手紙による産業振興を目的に、市内名所19ヶ所の絵手紙を使用した「絵手紙包装紙」を作成し、市内商店に対する販売を開始した。平成24年3月31日現在で12店舗で使用されている。 ・実行委員会事業が新聞・TV等メディアに取り上げられた回数は年7回、その他絵手紙に関する記事は12回掲載された。
地域活性課	委託	まちづくり	NPO情報誌作成委託	市内で様々な分野において活躍している市民活動団体の活動をより一層推進するため、活動に必要な行政情報及び団体活動を行うにあたって共有する情報等を掲載するNPO情報誌「わっこ」の発行を団体へ委託する。	特定非営利活動法人kpress	8,179,500	8,179,500	情報誌の発行によって、市民活動団体が活動を行うにあたっての情報発信媒体となることができ、団体のコミュニティ活動を活性化することができた。また、情報誌の作成を市内NPOへ委託することにより、地域に密着した新鮮な情報の提供ができた。
地域活性課	委託	まちづくり	根川地区センター一般管理業務委託	地区センターを地域住民が自主管理することにより、地域コミュニティの醸成を図る。	根川地区センター運営協議会	200,000	200,000	地域住民で構成される協議会が地区センターの予約受付業務等の自主管理をすることにより、地域コミュニティの醸成が図られた。
地域活性課	委託	まちづくり	駄倉地区センター一般管理業務委託	地区センターを地域住民が自主管理することにより、地域コミュニティの醸成を図る。	駄倉地区センター協議会	200,000	200,000	地域住民で構成される協議会が地区センターの予約受付業務等の自主管理をすることにより、地域コミュニティの醸成が図られた。
地域活性課	委託	まちづくり	谷戸橋地区センター一般管理業務委託	地区センターを地域住民が自主管理することにより、地域コミュニティの醸成を図る。	谷戸橋地区センター運営協議会	200,000	200,000	地域住民で構成される協議会が地区センターの予約受付業務等の自主管理をすることにより、地域コミュニティの醸成が図られた。
地域活性課	委託	まちづくり	和泉多摩川地区センター一般管理業務委託	地区センターを地域住民が自主管理することにより、地域コミュニティの醸成を図る。	和泉多摩川地区センター運営協議会	200,000	200,000	地域住民で構成される協議会が地区センターの予約受付業務等の自主管理をすることにより、地域コミュニティの醸成が図られた。
地域活性課	協定	まちづくり	岩戸地域センター自主運営に関する協定	地域住民の自発的なコミュニティ活動を助長するため、協定を締結し地域センターの管理・運営業務を行う。	岩戸地域センター運営協議会	14,436,003	14,016,711	地域住民の自発的な活動拠点として、当センターが利用され、また各種運営協議会事業に積極的な参加を得て、団体活動の助長や友好が図られた。 事業としては、「山野草の寄せ植え」、「ぎょうざ作りとおいしいデザート」、「フラワーアレンジメント教室」、「音楽鑑賞会」等を行った。年1回の利用者発表会を10月23日に開催し、出演・展示・出店あわせて23団体の参加があった。 その他、広報紙の発行、利用者大掃除、防災講習会、利用者懇談会、委員研修等を行った。
地域活性課	協定	まちづくり	上和泉地域センター自主運営に関する協定	地域住民の自発的なコミュニティ活動を助長するため、協定を締結し地域センターの管理・運営業務を行う。	上和泉地域センター運営協議会	16,922,461	16,287,246	地域住民の自発的な活動拠点として、当センターが利用され、また各種運営協議会事業に積極的な参加を得て、団体活動の助長や友好が図られた。 事業としては、「廃食油で作る石けん講座」、「なつかしのリリアンでコサージュ」、「輪投げ大会」、「誰でも楽しめるヨガ体操」、「男の料理教室〜チャイニーズ」、「とんぼ公園で春を楽しみましょう」を行った。 年1回の上和泉センターまつりを10月15日・10月16日に開催し、32団体の参加があった。 その他、広報紙の発行、各種利用団体企画事業、センターや料理室の大掃除、防災訓練、利用者懇談会、委員研修等を行った。

【H23・参入の機会提供】

担当課	種別	分野	事業名	事業目的	協働相手	事業総額	市支出額	実績及び成果
地域活性課	協定	まちづくり	南部地域センター自主運営に関する協定	地域住民の自発的なコミュニティ活動を助長するため、協定を締結し地域センターの管理・運営業務を行う。	南部地域センター運営協議会	14,443,398	14,257,506	地域住民の自発的な活動拠点として、当センターが利用され、また各種運営協議会事業に積極的な参加を得て、団体活動の助長や友好が図られた。 事業としては、「南部武遊伝」、「郷土料理教室」、「子どもクリスマス会」、「おはなし会」、「男の料理教室」、「折り紙教室」、「寄せ植え教室」等を行った。 年1回の利用者発表会を10月29日・10月30日に開催し、約500名の来場者があった。 その他、広報紙の発行、大掃除、利用者懇談会、委員研修等を行った。
地域活性課	協定	まちづくり	野川地域センター自主運営に関する協定	地域住民の自発的なコミュニティ活動を助長するため、協定を締結し地域センターの管理・運営業務を行う。	野川地域センター運営協議会	14,641,588	14,273,831	地域住民の自発的な活動拠点として、当センターが利用され、また各種運営協議会事業に積極的な参加を得て、団体活動の助長や友好が図られた。 事業としては、「ともしび音楽隊コンサート」、「映画会」、「男の料理教室」等を行った。 年1回のセンターまつりを10月2日に開催し、30団体の参加があった。 その他、広報紙の発行、利用者懇談会等を行った。
地域活性課	委託	まちづくり	市民まつり事業委託	狛江市民まつりを通じて郷土愛を培い、連帯のあるまちづくりに寄与する。	市民まつり実行委員会	9,030,929	4,500,000	来場者数69,000人。今年は、仮面ライダーオーズによるキャラクターショーを行った。晴天に恵まれ、大盛況のうちに終了し、大きなトラブル・苦情もなかった。まつりの開催により市の活性化・市民間の連帯及び郷土愛の醸成につながった。また、市民まつり各会場で、東日本大震災の復興支援の一環として以下を実施した。 ・募金箱を設置し、訪れた方々に広く義捐金を募った。 ・「鏡開き」マス1個1,000円で販売、内500円は東日本大震災の義援金とした。 ・出店区画2区画を使用し、石巻市・女川町の物産販売を行い、完売した。
地域活性課	協定	まちづくり	アドプト制度	市と市民及び企業等が相互に連携し協力することにより実施する指定区域等の清掃及び美化活動の実施に関する必要な事項を定め、もって市民協働と地域住民の連帯意識を高めることを目的とする。 狛江市アドプト制度実施要綱による。	※実績及び成果欄に記載	190,504	190,504	各団体が市内の公共施設、公園、道路等について、剪定、除草、清掃等の美化活動を行った。ほぼ毎日活動しているという積極的な団体もあった。 市は保険の加入や清掃用具等の消耗品を提供した。 平成23年度は平成22年度と同様の14団体に清掃活動に従事してもらった。 これにより、市内の美化を推進することができ、また地域住民の連帯意識を高める一助となった。 ※協働相手：第3長寿会、弁天通り清掃会、狛江団地自治会、ひまわり、狛江市シルバー人材センター、狛江ハイタウン団地管理組合法人、ごみゼロの会、元和泉水神前土手清掃アドプトの会、吸いがら清掃の会、さくらグループ、河津さくら会、バスケットボールクラブスマイルズ、パークハイム狛江「緑の番人」ボランティア、狛江第五小学校グリーンプロジェクト
地域活性課	委託	まちづくり	ふるさと自然体験事業委託	ふるさと友好都市新潟県長岡市川口地域(旧川口町)の豊富で雄大な自然を体験することにより、社会性や自立性、感性を向上させる。	社会福祉法人雲柱社	750,000	750,000	ふるさと友好都市新潟県長岡市川口地域(旧川口町)において地元の子どもたちとキャンプやオリエンテーション等を行い、社会性や自立性、感性が向上した。狛江市在住小学4・5・6年生は24名参加。
地域活性課	委託	まちづくり	よりあいっこ事業委託	狛江市民とふるさと友好都市である新潟県長岡市川口地域(旧川口町)の住民との相互の交流及び理解を深めることを目的とする。	よりあいっこ実行委員会	502,976	200,000	ふるさと友好都市新潟県長岡市川口地域(旧川口町)において、地元の方とともに郷土料理づくり・蕎麦打ち・陶芸・自然散策等の体験型交流を行い、住民との相互の交流及び理解を深めることができた。28名参加。
福祉サービス支援室	委託	保健医療福祉	狛江市地域活動支援センター・狛江市障害者相談支援事業	障がい者の地域社会における生活の場を確保し、日常生活における支援・相談等を行うとともに、その自立と社会参加の推進を図る。	NPO狛江さつき会	23,271,147	23,240,000	相談支援1513件、生活支援(フリースペース利用など)2872名、当事者自主活動支援及び地域交流事業348名、ピアカウンセリング・グループワーク74名、その他連絡調整会議などネットワーク形式のための事業を行った。

【H23・参入の機会提供】

担当課	種別	分野	事業名	事業目的	協働相手	事業総額	市支出額	実績及び成果
福祉サービス支援室	委託	保健医療福祉	福祉だより封入委託	就労活動の向上を目的とする。	足立邦栄会	26,178	26,178	今年度は2回発行し、それぞれ封入作業を依頼した。
介護支援課	委託	保健医療福祉	会食会事業	高齢者に対して昼食及び食後のアトラクション等を実施する事によって、外出の機会と人との出会いの機会を提供し、もって孤独感の解消と生きがい作りに寄与する。	エプロン会 グループ・アイ ときの会 グループ・のがわ	1,664,832	1,709,000	各団体月1回実施、延べ1,706人が参加した。元気高齢者の介護予防及び参加者間での交流ならびに引きこもり高齢者等の外出機会の促進に寄与できるなど、事業目的を達成できた。
健康支援課	委託	保健医療福祉	健康増進室利用料及びあいとびあセンター施設等使用料徴収業務委託	健康増進事業及びあいとびあセンター施設の利用券を、自動販売機を使い販売し利用料を徴収する。	狛江市障害者団体連絡協議会	430,477	430,477	市の事務負担を軽減している。 平成23年度販売実績7,758枚
健康支援課	協定	まちづくり	「猫の飼育ガイドライン」の活用と普及～地域で取り組む地域ねこ活動	狛江市と狛江地域ねこの会との協働事業を実施するため協定書を締結し、市民と猫との共生の実現をめざす。	狛江地域ねこの会	452,650	452,650	飼い主のいない猫を適正に管理し、野良猫の数及び猫に関する近隣トラブルを減らすことができた。地域住民とのコミュニケーションを図ることで、住環境を向上させることができた。
児童青少年課	委託	青少年健全育成	青少年育成事業委員会合同事業業務委託	青少年の健全育成のために市内全域の青少年を対象とした青少年健全育成事業(森林公園バスハイク)を団体へ委託する。	青少年育成事業委員会	193,861	160,000	狛江市青少年育成委員会が中心となり、59名が参加。屋外でのバーベキュー、オリエンテーリング、自然のものをを使ったクラフトなどを行った。 住宅地での日常から離れ、自然の中で体を動かすことができ、オリエンテーリングでは参加者同士で協力し、学校、学年を問わず、交流を深めることができた。
環境政策課 (旧・環境管理課)	委託	環境保全	水辺の楽校事業運営委託	多摩川の水辺の自然と生きものを守り、子供達の自然体験や世代を超えた交流、憩いの場として活用することを目的とする。協議会は、水辺の楽校の活動を支援するものとする。	狛江水辺の楽校運営協議会	313,555	300,000	清掃活動や総合学習の支援活動など「水辺の楽校」へ5301名の参加があった。主催事業を49回行い1595名の参加、総合学習支援事業を53回行い3716名の参加があった。
環境政策課 (旧・環境管理課)	委託	環境保全	環境を考える会狛江市実行委員会	環境問題について「環境週間」を主軸とした取り組みをより充実させるとともに、年間を通して継続的な環境啓発支援活動を実施する。	環境を考える会狛江市実行委員会	361,000	361,000	毎年環境月間における環境啓発パネル展、廃油を使ったせっけんづくり、寄せ植え、花の配布、環境講演会等の事業を展開している。また継続調査として、二酸化窒素、酸性雨の測定、河川調査を実施しており、平成23年度は延約80名が参加した。
道路公園課 (旧・環境管理課)	協定	まちづくり	アドプト制度	市と市民及び企業等が相互に連携し協力することにより実施する指定区域等の清掃及び美化活動の実施に関する必要な事項を定め、もって市民協働と地域住民の連帯意識を高めることを目的とする。 狛江市アドプト制度実施要綱による。	※実績及び成果欄に記載	232,900	42,185	市内の公園、道路等について、剪定、除草、清掃等の美化活動を定期的に行っている13団体(平成23年度)に、保険の加入や清掃用具等の消耗品を提供し、希望団体にはアドプト制度を実施している旨の看板を設置した。 これにより、市内の美化を推進することができ、また地域住民の連帯意識を高める一助となった。 ※協働相手: 第三長寿会、弁天通り清掃会、狛江団地自治会、ひまわり、狛江市シルバー人材センター、狛江ハイタウン団地管理組合法人、こみゼロの会、元和泉水神前土手清掃アドプトの会、吸いがら清掃の会、さくらグループ、河津さくら会、バスケットボールクラブスマイルズ、パークハイム狛江「緑の番人」ボランティア、狛江第五小学校グリーンプロジェクト
道路公園課 (旧・環境管理課)	協定	環境保全	狛江市公園等の住民参加による管理に関する協定	公園等の日常管理について、地域の住民で組織する団体と協定し、住民意識の高揚と地域連帯の醸成を図ることを目的とする。	のびのび会 とんぼの会 狛江弁財天池緑地保全地区市民の会	1,578,900	1,536,900	報償費は清掃等ボランティア活動、自然観察会、学習会などにかかる費用の一部として使用され、コミュニティ活動の理解及び住民意識の高揚と地域連帯の醸成となっている。
学校教育課	協定	環境保全	狛江第五小学校校庭芝生の維持管理(アドプト制度)	平成20年度に狛江第五小学校校庭の一部芝生化に伴い、PTA・保護者・地域住民を中心に芝生維持管理団体を結成し、芝生の維持管理に努めている。	狛江第五小学校グリーンプロジェクト	1,104,904	1,104,904	夏は週1回、冬は月1回程度の芝刈りや肥料やり等の維持管理活動に加え、月1回「しばふ通信」の発行や、年1回の五小夏まつりにも出展している。芝生による環境学習等の児童への直接的な成果以外にも、地域コミュニティー形成等、様々な成果があった。

【H23・参入の機会提供】

担当課	種別	分野	事業名	事業目的	協働相手	事業総額	市支出額	実績及び成果
社会教育課	その他	学術文化芸術スポーツ	狛江市立古民家園指定管理業務	古民家(市指定文化財2棟を含む)を狛江の大切な文化遺産として保存するとともに、子どもから高齢者まで世代を超えた市民の交流の場と、体験学習や歴史学習など、市民が積極的に参加できる、ふるさとづくりの拠点として、地域文化の継承と発展に寄与する。	狛江市立古民家園運営市民協議会	8,898,307	8,605,000	平成21年度から23年度までの3年間、市民団体である狛江市立古民家園運営市民協議会を指定管理者に指定している。23年度の入園者数は24,041人を数え、14年4月の開園後、毎年3万人前後の入園者数を数えている。各事業は、会員やボランティアの努力により、多彩な事業が展開されており、異世代間や人と人との交流など、市民参加・協働に成果をあげている。
社会教育課	委託	社会教育	心身に障害のある児童・生徒の地域活動促進事業運営委託	土曜日等を実施されるスポーツ活動・レクリエーション活動等を通じて、市内の心身に障害のある児童・生徒等の地域活動への参加・充実・促進を図る。	遊びの会、ふれんずシップ	526,089	491,589	23年度は、ふれんずシップが年間5回、遊びの会が年間4回の活動。市内に数少ない障がい者を対象にした団体であり、特に遊びの会は、一般の児童との交流もあり、その存在の意義は大きい。
社会教育課	委託	学術文化芸術スポーツ	少年野球大会委託	スポーツの普及と参加者相互の親睦を図るため。 青少年健全育成の一環。	狛江市少年野球連盟	432,024	430,000	参加人数290名
社会教育課	委託	学術文化芸術スポーツ	少年少女サッカー大会委託	スポーツの普及と参加者相互の親睦を図るため。 青少年健全育成の一環。	狛江市少年少女サッカー連盟	337,796	337,796	参加チーム数55チーム
社会教育課	委託	学術文化芸術スポーツ	少年少女綱引き大会委託	スポーツの普及と参加者相互の親睦を図るため。 青少年健全育成の一環。	狛江市少年少女綱引き大会実行委員会	299,230	299,230	参加人数139名
社会教育課	委託	学術文化芸術スポーツ	平成23年度狛江市民体育大会委託	市民の健康づくり及び市民相互の交流の場を広げる為。	狛江市体育協会	1,241,000	1,241,000	軟式野球、スキー、卓球、バドミントン、ゴルフ、バレーボール、ボウリング、硬式テニス、空手道、バスケットボール、柔道、ダンススポーツ、グラウンドゴルフ、剣道、ソフトボール(全15種目) 参加人数2864名
社会教育課	委託	学術文化芸術スポーツ	第22回市民スポ・レクフェスティバル	市民の健康づくり及び市民相互の交流の場を広げる為。	市民スポレク実行委員会	1,400,000	1,400,000	ビーチボール、ウォーキング、多摩川ロードレース、水泳、ノルディックウォーキング、3中地区スポーツ大会、1・4中地区スポーツ大会、2中地区スポーツ大会 人数1959名
社会教育課	委託	学術文化芸術スポーツ	少年少女剣道大会	スポーツの普及と参加者相互の親睦を図るため。 青少年健全育成の一環。	狛江市剣道連盟	175,000	169,978	参加人数38名
公民館	委託	学術文化芸術スポーツ	第23回いべんと西河原	西河原公民館利用団体を主体に1年間の活動の成果を展示や舞台で発表する機会とし、利用団体同士及び広く市民との交流を図り、公民館活動の発表の場とする。	第23回いべんと西河原実行委員会	200,068	200,000	参加者延べ:10,900人(ただし、参加団体の報告書にある人数を単純に加算したもの)。実行委員会:73団体:72人。いべんと西河原実行委員会の企画委員を中心とした活動が根付いてきて、市民による企画・実施が具現化してきている。実行委員会を中心に活動団体の発表の場としての「いべんと」も盛況に開催できた。
公民館	委託	国際交流	国際交流「日本語教室」	外国から日本に来た方々が日本語及び生活文化を学ぶ場として開設。また、市民と外国人による市民レベルの交流を図る。	日本語教室運営委員会	396,887	300,000	生徒延べ:935人、スタッフ延べ:691人、計1,626人。全36回。今年度も毎週土曜日に行われる通常の教室をはじめ、行事等、市民スタッフの尽力で安定した運営ができた。一方、3月の震災による計画停電の影響で、開校が1週遅れた。
公民館	委託	学術文化芸術スポーツ	第27回中央公民館のつどい	中央公民館利用者団体を主体とした市民の皆様によって色々な活動の発表の場として、「手づくりの公民館のつどい」を行い、学習の輪、ふれあいの輪を広げて行く。	第27回中央公民館のつどい実行委員会	50,000	50,000	参加者延べ:6,005人、参加団体102団体。中央公民館のつどい実行委員会の企画委員を中心に、市民による企画・実施が具現化してきている。実行委員会を中心に活動団体の発表の場としての「つどい」も盛況に開催できた。

【H23・参入の機会提供】

担当課	種別	事業名	事業形態	事業目的	実施団体	実施日	実施場所	支援内容
政策室	共催	無料法律相談会	その他	多摩地域の市民の皆さんの法律知識の向上と問題解決の手助けを目的とする。	東京三弁護士会多摩地区法律相談運営委員会	24.3.3	中央公民館	会場設営、広報掲載、庁舎内にポスター掲示・チラシ配布、HP掲載
政策室	後援	多摩パブリック法律事務所創立4周年記念無料法律相談会	その他	多摩地域の公設弁護士事務所として開設された事務所で、多摩地域の市民の法律的問題解決の手助けを目的とする相談会を実施する。	弁護士法人多摩パブリック法律事務所	24.5.26	多摩パブリック法律事務所	後援名義のみ
政策室	共催	市民法律講座	講座	市民の皆さんの法律知識の向上と問題解決の手助けを目的とする。	狛江泉親会	24.4.1～25.3.31	中央公民館	会場設営、広報掲載、市内・庁舎内・各地域センター等にポスター掲示・チラシ配布、HP掲載
安心安全課	共催	未来につなげる想いと命～パパ・ママ応急手当体験	講習会	命の尊さと他者を救うという思いやりの心を伝える目的で行う。狛江市に居住する、幼い子どもを抱える親御さんたちに、少しでもわが子やわが子の友達などに、知識として知っていただき、救える命を増すため、その救える方法を伝える。	狛江青年会議所	23.4.29	狛江市立和泉小学校内多目的プレイルーム	・掲示板などでPR ・指導者(消防団委員)の派遣
安心安全課	後援	災害のない街づくり駅前音楽会	コンサート	演奏を通じて災害の予防や市民のできること(災害時や災害の後に)認識してもらう。	東京狛江ロータリークラブ	23.5.14	小田急線狛江駅北口噴水前広場	・広報掲示板などでPR
安心安全課	後援	狛江ハイタウン自主防災訓練	その他	住民への防災知識の向上とその意識改革	こまえハイタウン団地管理組合法人	23.6.12	みつおさ児童公園	・広報掲示板などでPR
安心安全課	共催	東日本大震災復興支援ボランティア・バスパック	その他	市民のボランティアの力で、東日本大震災復興支援活動を行う。	狛江市社会福祉協議会	23.6.19	宮城県石巻市	・広報掲示板などでPR ・道具等の提供
課税課	後援	「税金。そして寄付文化とボランティアを根付かせて支える。日本の未来」をテーマにエッセイ(随筆)公募コンクール」	その他	次代を担う小・中学生、および一般社会人が、納税や税金の役割などに関連する言葉について考えることを通じて社会の仕組みを考える。	社団法人 武蔵府中法人会	23.7.1～9.30、11.15	表彰式:府中の森芸術劇場ふるさとホール	・広報への掲載 ・パンフレット・ポスター等の掲示
課税課	後援	親子租税学習バスツアー	その他	租税教育推進協議会に所属する納税協力団体として児童及び保護者へ税の目的や仕組みを楽しく学習していただけるよう開催する。	公益社団法人 武蔵府中青色申告会	23.7.27	武蔵府中税務署～江戸東京博物館	・広報への掲載 ・パンフレット・ポスター等の掲示
課税課	後援	社会貢献事業「第2回 税金川柳コンクール」	その他	次代を担う小・中学生、および一般社会人が、納税や税金の役割などに関連する言葉について考えることを通じて社会の仕組みを考える。	社団法人 武蔵府中法人会	23.6.1～9.30、11.15	表彰式:府中の森芸術劇場ふるさとホール	・広報への掲載 ・パンフレット・ポスター等の掲示

【H23・共催・後援】

担当課	種別	事業名	事業形態	事業目的	実施団体	実施日	実施場所	支援内容
課税課	後援	税を考える週間 特別事業	その他	震災・原発事故から、放射能により環境汚染・食品汚染など私たちの暮らしは確実に変わってしまった。そこで今の日本を覆う放射能汚染について考えるきっかけをつくる。	社団法人武蔵府中法人会	23.11.15	府中の森芸術劇場ふるさとホール	・広報への掲載 ・パンフレット・ポスター等の掲示
地域活性課	共催	いずみ会納涼盆踊り大会	まつり	地域の方達の親睦・交流の場やコミュニティの助長	いずみ会	23.8.6～8.8	市民ひろば	・行政施設利用
地域活性課	後援	東日本大震災義援金募集チャリティバザー	その他	東日本大震災の義援金を募集する。	和泉本町一丁目町会	23.6.4	狛江第一小学校校庭	名義使用
地域活性課	後援	NPO研修会	講座	各NPOが自己評価し、語り合い、体験から課題解決と共に、将来像を検討し、自立に向けての人材育成と運営強化を推進し、相互理解・連携を深めるため。	狛江市NPO連絡協議会	23.10.8	あいとぴあセンター	名義使用
地域活性課	後援	第25回多摩源流まつり	まつり	多摩川の源流である小菅村を多くの人々にPRし、多数の参加者を得て多摩川の上下流交流を図る。	山梨県小菅村多摩源流まつり実行委員会	24.5.4	山梨県小菅村	名義使用
地域活性課	共催	使用者向けセミナー「雇用を守りたい事業主のための労働法と公的援助のQ&A」	講座	労働知識の普及啓発のため。	東京都労働相談情報センター八王子事務所	23.7.11 23.7.29	多摩市関戸公民館	名義使用 チラシ等でPR
地域活性課	共催	調布狛江就職面接会2012	その他	厳しい雇用情勢が続く中、企業と直接面接できる機会をつくることで就職を促進する。	ハローワーク府中	24.3.2	調布市文化会館たづくり	名義使用 広報・チラシ等でPR
地域活性課	共催	多摩川流域郷土芸能フェスティバル	芸能	かけがえのない自然の財産である多摩川を活用して、地域に根差している郷土芸能の競演という切り口から流域の方々との交流などをとおして、多摩川に多くの方々に関心と親しみを持ってもらうため。	多摩川流域郷土芸能フェスティバル実行委員会	23.12.4	エコルマホール	名義使用 広報・チラシ等でPR
地域活性課	共催	農業ウォッチングラリー	その他	生産者と消費者との交流を通じ、都市農業への理解を図る。	JAマインズ狛江地区青壮年部	23.7.2	市内	広報等でPR 職員がスタッフとして参加
地域活性課	後援	使用者向けセミナー「メンタルヘルスケアから考える働きやすい職場づくり」	講座	労働知識の普及啓発のため。	東京都労働相談情報センター八王子事務所	23.10.6	調布市文化会館たづくり	名義使用 広報・チラシ等でPR
地域活性課	後援	労働者向けセミナー「最新の判例と通達から読み解く長時間労働と賃金未払いの50の事例」	講座	労働知識の普及啓発のため。	東京都労働相談情報センター八王子事務所	24.1.19 24.1.25	府中グリーンプラザ	名義使用 広報・チラシ等でPR
地域活性課	後援	健康職場づくりフォーラム	講演会	労働者等の健康保持増進と地域の発展に寄与すること。	三鷹労働基準監督署	24.3.8	武蔵野公会堂	名義使用
地域活性課	後援	第10回多摩ブルー・グリーン賞	発表会	多摩地域の中小企業の活性化と地域経済の振興に寄与するため。	多摩信用金庫	24.5.1～24.12.18(表彰式)	表彰式はパレスホテル立川	名義使用

【H23・共催・後援】

担当課	種別	事業名	事業形態	事業目的	実施団体	実施日	実施場所	支援内容
地域活性課	後援	多摩の物産&輸入品商談会'12	展示会	多摩の物産と、世界からの輸入品を一堂に会し、百貨店、スーパーマーケット、卸売業者、専門店等とのビジネスマッチングを促進し、商談、テストマーケティング、商品開発の場を提供する。また、広く多摩地域住民にも公開し、地域の価値の再確認を図るため。	多摩信用金庫 青梅信用金庫	24.4.2～24.7.3	パレスホテル立川	名義使用
地域活性課	後援	サンタ宅配事業	その他	商店会の会員や地域の中学生在がサンタクロースに扮し、希望する市内の子どもたちにプレゼントを届けることにより、商店会のイベント事業の周知と市民生活の向上を図るため。	御台橋商栄会	23.12.1～ 23.12.24	狛江市内全域	名義使用 市内掲示板にポスター掲示
地域活性課	後援	第22回府中市工業技術展	展示会	ものづくり産業の活性化を支援するため、中小企業等の優れた技術や製品を広くPRし、異業種、教育・研究機関等との交流を促進することで、技術の向上や販路開拓による取引機会の拡大、企業間連携の実現、情報収集・交換等を図ると共に、市民や子どもたちのものづくりへの関心を高めるため。	むさし府中商工会議所、第22回府中市工業技術展実行委員会	23.10.21～ 23.10.22	府中市市民会館	名義使用
地域活性課	共催	狛江能楽教室発表会	発表会	能楽を体験し身近に感じてもらう機会を市民に提供する。	狛江能楽普及会	24.1.15	西河原公民館	・当日スタッフとしての参加 ・広報・HP・掲示板等でPR ・会場の確保
地域活性課	共催	和楽器と絵手紙のコンサート	コンサート	日本の伝統音楽である邦楽と狛江市が発祥の地である絵手紙のコラボレーションを市民にPRし地域の活性化をはかる。	NPO法人邦楽指導者ネットワーク21 狛江支部 箏曲正音会	24.2.29	西河原公民館	・当日スタッフとしての参加 ・広報・HP・掲示板等でPR ・会場の確保 ・絵手紙の展示
地域活性課	共催	未来コンサートⅡ	コンサート	日本の伝統音楽である邦楽について、市内の青少年による成果発表と市内音楽団体等による公演を行うことで伝統文化の普及を図る。	NPO法人邦楽指導者ネットワーク21 狛江支部 箏曲正音会	24.3.4	エコルマホール	・当日スタッフとしての参加 ・広報・HP・掲示板等でPR
地域活性課	後援	平成24年能楽体験講座	講座	能楽を体験し身近に感じてもらう機会を市民に提供する。	狛江能楽普及会	24.2.22 24.4.25 24.6.13 24.9.5	エコルマホール	名義使用 庁内、公共施設にチラシ設置
福祉サービス支援室	後援	研修会「発達障がい児(者)の行動問題の理解と支援」	学習会	初めて障がい児(者)と関わる方に対して、発達支援の専門家の研修を受講することで、障がいの理解と支援方法を学ぶ。	特定非営利活動法人バリアフリーセンター福祉ネット「ナナの家」	24.3.10	あいとぴあセンター	狛江市の名義を後援として講演会チラシやパンフレットに使用することを承認した。
福祉サービス支援室	後援	多摩川乗馬会(第55回～第58回)	その他	交流乗馬会	特定非営利活動法人バリアフリーセンター福祉ネット「ナナの家」	24.4.29、5.27、9.23、 10.28	和泉多摩川河川敷	狛江市の名義を後援として講演会チラシやパンフレットに使用することを承認した。
福祉サービス支援室	後援	勉強会「障害者施策の動向」	学習会	障害者施策の動向とともに、障害者自立支援法の経過等をわかりやすく市民に周知するため。	狛江市NPO連絡協議会	24.1.19	狛江市中央公民館	狛江市の名義を後援として講演会チラシやパンフレットに使用することを承認した。

【H23・共催・後援】

担当課	種別	事業名	事業形態	事業目的	実施団体	実施日	実施場所	支援内容
福祉サービス支援室	後援	成年後見制度活用講座	講座	成年後見制度の市民への普及・啓発	こまえ社会福祉士会	23.9.3	あいとぴあセンター	狛江市の名義を後援として講演会チラシやパンフレットに使用することを承認した。
福祉サービス支援室	後援	【連続勉強会】障がいのある子ども達の放課後活動	学習会	障がい児が地域で暮らす中から見えて来るニーズを共有して、暮らしやすいまちづくりを提案する契機の間としていきたい。	狛江市地域デイグループ事業連絡協議会	23.6.20、7.23、24.3.20	あいとぴあセンター	狛江市の名義を後援として講演会チラシやパンフレットに使用することを承認した。
福祉サービス支援室	後援	研修会「発達障がい児(者)の行動問題の理解と支援」	学習会	初めて障がい児(者)と関わる方に対して、発達支援の専門家の研修を受講することで、障がいの理解と支援方法を学ぶ。	特定非営利活動法人バリアフリーセンター福祉ネット「ナナの家」	23.8.6	あいとぴあセンター	狛江市の名義を後援として講演会チラシやパンフレットに使用することを承認した。
福祉サービス支援室	後援	第31回ボランティアのつどい	まつり	(1)ボランティア、市民活動に対する認知及び理解を深める。(2)市内のボランティアグループ、市民活動団体の紹介&PR(3)ボランティア・市民活動を始めたいと思っている人のためのキッカケづくり(4)行事を通して各団体の交流・情報交換を図る。(5)障がい者団体との連携・交流・情報交換を図る。	社会福祉法人狛江市社会福祉協議会	23.10.23	あいとぴあセンター	狛江市の名義を後援として講演会チラシやパンフレットに使用することを承認した。
福祉サービス支援室	共催	障がい者週間行事 狛江市とイトコサガシを結ぶ発達障害講演会「発達障害は良いとこさがし♪～楽しい自分のモノサシづくり～」	講演会	発達障害を抱えている方、身近に発達障害者がいる方、発達障害に興味のある方が、発達障害やコミュニケーションの楽しさを理解し、自分のモノサシをすることで、自分らしさを取り戻す機会を提供する。	東京都成人発達障害当事者会「Communication Community・イトコサガシ」	23.12.10	中央公民館	狛江市の名義を共催として講演会チラシやパンフレットに使用することを承認した。
福祉サービス支援室	共催	成年後見相談会	その他	成年後見制度の相談を受けることにより、市民の方の権利や財産を守るために助言等を行うことで、より安心した生活への一助を目的とする。	成年後見センター・リーガルサポート東京支部	23.9.24	あいとぴあセンター	狛江市の名義を共催として講演会チラシやパンフレットに使用することを承認した。*無料相談
福祉サービス支援室	共催	「第2回東日本大震災復興支援ボランティア・バスパック」事業	その他	東日本大震災復興支援活動を行う。また、参加者の活動経験を広く市民に伝え、震災を風化させず長期的な支援活動につなげる。	社会福祉法人狛江市社会福祉協議会	23.8.20	宮城県石巻市	・バス借上げ金の負担 ・狛江市の名義を共催としてチラシやパンフレットに使用することを承認した。
福祉サービス支援室	共催	DAISY講習会	講習会	現在視覚障害者へ提供している広報などの音訳版を、現在のテープからDAISY(デジタル録音図書の国際基準)に移行するため、音訳活動ボランティアの技術習得を支援する。	社会福祉法人狛江市社会福祉協議会	23.8.8、8.22、9.6、9.14	あいとぴあセンター	・狛江市の名義を共催として講演会チラシやパンフレットに使用することを承認した。

担当課	種別	事業名	事業形態	事業目的	実施団体	実施日	実施場所	支援内容
介護支援課	共催	平成23年度敬老入浴事業	その他	敬老の日を祝するとともに、高齢者の保健衛生の向上とコミュニケーションの場を提供する。	調布狛江浴場組合	23.9.17～9.19	調布狛江浴場組合加盟公衆浴場（富の湯・お湯どころ野川・狛江湯・和泉湯・寿湯・神代湯・梅の湯・鶴の湯）	広報等での周知 配布物等の印刷 敬老入浴券の配布
介護支援課	共催	ミニデーホーム	その他	引きこもりがちな高齢者と会員との交流をはかり、孤独感の解消や生きがいづくりを促進し、引きこもりを防ぎ、健康で心豊かな生活が出来るよう支援する。	若葉会	23.4.1～24.3.31 第2・4木曜日	あいとぴあセンター・市民センター	会場予約、広報等での周知
介護支援課	後援	芸能まつり	まつり	狛老連加盟の老人クラブ会員の親睦を図り、健康で明るく楽しい生きがいのある生活を送るとともに、世代間交流を行う。	老人クラブ連合会	23.10.6	狛江市民ホール（エコルマホール）	名義使用のみ
介護支援課	共催	健康づくり事業 心と身体の健康に関する講演会 他	講演会	会員相互の親睦を図り健康で明るく楽しい生きがいのある生活とするとともに、本事業を広く一般に公開することにより、長寿社会推進に寄与することを目的としている。	老人クラブ連合会	23.6～24.3	中央公民館 他	会場予約、広報等での周知
介護支援課	共催	会食会	その他	虚弱高齢者等に対して外出支援および社会交流を通じ介護予防効果を図り、社会福祉の増進に寄与する。	あけびの会	23.4.1～24.3.31	あいとぴあセンター	会場予約、広報等での周知
健康支援課	後援	平成23年度東京都エイズ予防月間におけるエイズ予防普及啓発事業	キャンペーン	一般都民に対するエイズ予防の普及・啓発。	東京都多摩府中保健所	23.11.1～12.15	多摩府中保健所、東京農工大学、他	・広報こまへの掲載
健康支援課	共催	マタニティクッキング	教室	妊婦の食生活の向上。地域の妊婦同士と一緒に料理実習をすることにより親交を深めることができる。	狛江栄養士会	23.4.20、5.25、6.22、8.24、9.21、10.26、11.16 H24.1.25、2.22、3.14	あいとぴあセンター	・チラシの作成・印刷 ・「母と子の保健バック」に封入 ・母親学級にてチラシの配布 ・問い合わせに關しての回答 ・施設料の免除
健康支援課	共催	市民健康講座	講座	狛江市民の健康並びに各種疾病の予防に寄与することを目的とする。	狛江市薬剤師会	24.2.25	エコルマホール	・広報こまへの掲載 ・あいとぴあセンターにてポスターの掲示
子育て支援課	後援	一日プレーパーク	その他	子どもたちの自由な遊び場を作る。	狛江にプレーパークをつくる会	23.4.24～24.2.19	多摩川河川敷等	ポスターの掲示と配付用パンフレットの窓口配置
子育て支援課	共催	子育てにホッとtime	講座	未就学児の親子が集い、悩みを相談する場の提供をすることで、地域での「家族支援」の一貫とする。	NPO法人ファミリー・コンサルタント協会	23.4.12～24.3.31	子育て支援課窓口及び掲示板等	ポスターの掲示と配付用パンフレットの窓口配置
子育て支援課	後援	ドメスティック・バイオレンス終結にむけてのキャンペーン	キャンペーン	夫・パートナーからの暴力は犯罪と認識して、狛江市の相談窓口や民生児童委員に相談することを周知する。	国際ソロプチミスト東京-狛江	24.11.7～11.20	子育て支援課窓口及び掲示板等	ポスターの掲示と配付用パンフレットの窓口配置

【H23・共催・後援】

担当課	種別	事業名	事業形態	事業目的	実施団体	実施日	実施場所	支援内容
子育て支援課	共催	むいからで遊ぼう	まつり	むいから民家園の建物と庭を開放し、遊びの場を提供する。市内の古民家等を復元利用するこの園で行うことで、地域文化の継承を進める。また、季節の遊びや身近な遊びを取り入れ、自然の中で子育ての楽しさを味わってもらう。	一般社団法人サポート泊江	23.5.21 23.7.9 23.10.29	むいから民家園	ポスターの掲示と配付用パンフレットの窓口配置
児童青少年課	共催	夏祭り	まつり	父母会親子交流夏祭りのため	宮前保育園父母の会	23.7.23	宮前保育園園庭	・盆踊り指導 ・施設及び物品貸出し
児童青少年課	共催	夏祭り	まつり	三島保育園児とその家族・職員・保育士との交流行事	三島保育園父母の会	23.7.23	三島保育園園庭	・盆踊り指導 ・施設及び物品貸出し
児童青少年課	共催	いずみ納涼祭	まつり	日頃慣れ親しんでいる保育園を会場とし、夏祭りを通して園児家族職員との交流親睦を深めるため	和泉保育園父母の会	23.9.11	和泉保育園園庭	・盆踊り指導 ・施設及び物品貸出し
児童青少年課	共催	お楽しみ会	まつり	保育園に通う子どもたちと親が親睦を含め、卒園児や近隣の方と共に楽しむ場を作る	駒井保育園父母会	23.10.1	駒井保育園園庭	・施設及び物品貸出し
児童青少年課	共催	秋祭り	まつり	日頃慣れ親しんでいる保育園を会場とし、お祭りを機会に実施・職員・近隣地域との交流を深めるため	駄倉保育園父母の会	23.10.30	駄倉保育園園庭	・施設及び物品貸出し
児童青少年課	共催	夜回り先生～水谷修氏講演会～	講演会	夜回り先生こと水谷修氏を講師にむかえ、薬物乱用の話とともに、泊江市の不登校児童・生徒が増加している現状について、改善のヒントを模索する。	泊江市青少年第一育成委員会	23.9.9	エコルマホール	・共催名義の許可 (多くの泊江市民への周知、参加促進のために必要とした) ・広報・HP・掲示板等でPR
都市整備課	後援	第34回住宅デー	キャンペーン	地元建設事業者が住宅相談や耐震相談、家具転倒防止器具の設置ボランティア、子ども工作教室等、様々な奉仕活動を行い、市民の住環境に対する意識啓発を図る。	東京土建一般労働組合泊江支部	23.6.5	市内15会場	後援名義使用
都市整備課	後援	東京土建『第17回秋の住宅まつり』	まつり	住まいの手入れや修理などの住宅相談、包丁研ぎ、まな板削り、子ども工作教室、タイル細工、竹細工教室、各職(電気、水道、畳、塗装、内装)コーナーなど、日ごろお世話になっている市民の皆様へ奉仕活動をするため。	東京土建一般労働組合泊江支部	23.10.9	泊江駅北口「緑の三角広場」	後援名義使用
学校教育課	後援(教育)	2011多摩川塾	講座	多摩川で自然に自然環境教育が指導できる小学校教師の育成。	NPO法人 多摩川塾	23.4.29～24.3.20	多摩川	・ポスターの掲示 ・ポスター、チラシの小中学校へ配布

担当課	種別	事業名	事業形態	事業目的	実施団体	実施日	実施場所	支援内容
学校教育課	後援(教育)	ボランティアのたねプログラム	その他	学齢期の児童に対するボランティア体験学習の取り組みとして、障がい者や高齢者、ノンジャパニーズの方など、様々な人々との出会いと交流の体験や、環境など社会における様々な課題を知り多様な価値観や共に生きる「共生」について考える機会とすることで、子ども自身の豊かな心の育ちを支援することを目的とする。	狛江市社会福祉協議会	23.6.1～24.3.31	野川地域センター、あいとぴあセンター、西河原公民館	小学校へのチラシの配布
学校教育課	後援(教育)	夏！体験ボランティア2011	その他	ボランティア体験活動を通して、さまざまな社会問題の関心を深め、地域社会を構成する一市民として積極的に社会作りに参加することの意義を学ぶことを目的とする。	狛江市社会福祉協議会	23.7.20～23.9.14	あいとぴあセンター 他	小学校へのチラシの配布
学校教育課	後援(教育)	障がいのある子ども達の放課後活動	学習会	地域の中で障がいがあっても安全・安心で豊かに生活するため、狛江における特に学齢期のニーズと現状の報告・研修会をする。現在の支援5施設年間延べ5,250名以上の子ども達が通う活動の場と人との継続と充実が不可欠であることを多くの市民に知らせることと、各団体が有するニーズの理解を進める研修とする。	狛江市地域ダイグループ事業連絡協議会	22.7.23～24.3.20	中央公民館	ポスターの掲示
学校教育課	後援(教育)	東京都立調布特別支援学校平成23年度夏まつり	まつり	障がい児(者)と地域の人々との交流・親睦を深める機会を提供する。	東京都立調布特別支援学校平成23年度夏まつり実行委員会	23..12.17	調布特別支援学校	小中学校へのチラシの配布
学校教育課	後援(教育)	夏休み科学教室	教室	子どもたちに工作や実験を通して、それらの基本原理や現象の裏に潜む心理について理解を深めてもらうことや工夫して物を作ったり、観察する喜びを体験してもらうことを目的とする。	明治大学理工学部夏休み科学教室実行委員会	22.8.18	明治大学生田校舎	小中学校へのチラシの配布
学校教育課	後援(教育)	冊子「こどもおだきゅう沿線」の発行及び第25回こどもおだきゅう沿線文学賞(作文コンクール)	その他	児童文化の振興および児童の情操の進化に役立てるとともに、作文コンクールをとおして子どもたちの書く意欲を高め、ものの見方・考え方を養い併せて文章表現力の向上もねらいとしている。	日本児童ペンクラブ	23.4.8～23.12.15	各小学校	小学校へのポスター、チラシ等の配布
学校教育課	後援(教育)	特別支援教育支援員・特別支援学級介助員のための 特別支援教育/実践力育成セミナー	講習会	各自治体における特別支援教育推進を支援するため、支援員・介助員等を対象として特別支援教育の実践力向上を目指した研修会を企画する。	多摩地区特別支援教育研究会	23.8.8～23.8.11	国分寺市立第二中学校	小中学校へ案内等を配布

担当課	種別	事業名	事業形態	事業目的	実施団体	実施日	実施場所	支援内容
学校教育課	後援(教育)	研修会「発達障害児(者)の行動問題の理解と支援」	講習会	障がい児(者)・行動上の問題の理解と支援の方法を学ぶ。	特定非営利活動法人 バリアフリーセン ター福祉ネット「ナナ の家」	23.8.6、24.3.10	あいとぴあ センター	小中学校へのチラシ等の配布
学校教育課	後援(教育)	障がいのある子ども や大人のためのス ポーツ教室	教室	①知的障がいのある子どもたちが、適切な指導のもとにスポーツに親しみ、体を動かす楽しさを知り、地域で仲間と共に、豊かなレクリエーションスポーツを経験できるようにする。②障がい者・障がい児向けの指導技術のある団体に専門的なアドバイスをいただきながら、地域の障がい児・者スポーツ振興(メニューや方法等)に役立てる。	狛江市手をつなぐ親 の会	23.6.26、23.11.3、 24.2.12	西和泉体育館	小中学校へのポスター、チラシ 等の配布
学校教育課	後援(教育)	ノッツ 森のようちえ んのあそびくらぶ	その他	幼児期における自然体験活動の普及	NPO法人 国際自然 大大学校	23.6.1～23.10.26	きたみふれ あい広場	小中学校へのチラシ等の配布
学校教育課	後援(教育)	第20回狛江すくすく コンサート	コンサート	小学生中学生及び高校生による発表及び交流の機会として充実を図るという実施コンセプトに沿って開催する。	狛江市青少年問題協 議会	23.12.17	エコルマ ホール	小中学校へのチラシ等の配布
学校教育課	後援(教育)	第60回全国作文教室 教育研究大会	学習会	作文教育の実践交流と研究	日本作文の会	23.7.29、23.7.30、 23.7.31	調布グリーン	ポスター・チラシに名義を入れる
学校教育課	後援(教育)	多摩川乗馬会(第51 ～54回)	その他	交流乗馬会	特定非営利活動法人 バリアフリーセン ター福祉ネット「ナナ	23.4.5～23.10.30	多摩川自由ひろば	・ポスターの掲示 ・ポスター、チラシの小中学校 へ配布
学校教育課	後援(教育)	大江戸舞祭2011	まつり	東京圏の小中学生を中心とした「連(チーム)」の発表の場であるとともに「わがまち故郷づくり」を目指したもので、踊り子と観客が真顔と笑顔と涙で、エネルギーを発散させ、お互いに感謝し合い、人々の心がつながることを目的として開催。	大江戸舞祭2011実行 委員会	23.9.3～23.9.4	東京都庁、都庁通り	・チラシの小中学校へ配布
学校教育課	後援(教育)	～夜回り先生～水谷 修氏講演会	講演会	家庭や学校等における子供たちの不登校や引きこもり問題について、改善策のヒントを模索し、これらの問題に直面する人々への支援に資することを目的に講演会を実施する。	狛江市青少年第一育 成委員会	23.9.9	エコルマ ホール	小中学校へのポスター、チラシ 等の配布
学校教育課	後援(教育)	狛江市とイトコサガ シを結ぶ発達障害講 演会	講演会	成人発達障がい当事者とその周囲の人々が、お互いを理解し、尊重し合い、発達障がいの理解を深める。	東京都成人発達障害 当事者会	23.12.10	狛江市中央 公民館	福祉サービス支援室障がい者 支援担当・総合調整係より講 師謝礼あり。
社会教育課	後援(教育)	狛江バンドフェスティ バルVOL.13	コンサート	連盟加盟団体によるバンド演奏	狛江市音楽連盟	23.7.24	西河原公民 館	・ポスター掲示 ・わっこ掲載
社会教育課	後援(教育)	夏休みわくわく！クラ フト体験教室VOL. 4	教室	クラフト作家の世界を体験。親子で参加できるな夏休みクラフト一日体験教室	泉の森友の会	23.8.19～23.8.28	泉の森会館	・ポスター掲示

担当課	種別	事業名	事業形態	事業目的	実施団体	実施日	実施場所	支援内容
社会教育課	後援(教育)	カラオケこもれび「第1回発表会」	発表会	粕江市民のカラオケ同好者が集い、日常の発表を行い、文化の向上を図る。	カラオケこもれび	23.4.21	西河原公民館	・ポスター掲示
社会教育課	後援(教育)	「第13回 カラオケ21 発表会」	発表会	地域住民の交流、親睦を目標とし、また、日常の練習の成果を発表する。	カラオケ21	23.11.27	西河原公民館	・ポスター掲示
社会教育課	後援(教育)	カラオケ発表会「第8回 いろいろ倶楽部 歌謡まつり」	発表会	歌を通し、地域の親睦・交流を深め健康で生きがいのある人生に役立てる事を目的とする。	いろいろ倶楽部	23.10.23	エコルマホール	・ポスター掲示
社会教育課	後援(教育)	ミュージカル「雪のひとひら」の上演	発表会	本公演の実施により団体としての目的や社会的役割を果たすことができる。上演の実績を積むことが団体の力の蓄積となり、更に次回公演へのステップとなる。観客の心に何かを届け、それが少しでも心を振るわせるきっかけとなしてほしい。プロを目指す若い人たちの発表の場の提供。子ども達が「自分で考える、感じる、それを伝える」機会の提供。	ミュージカルCoco～	24.1.22	エコルマホール	・チラシ学校配布 ・ポスター掲示
社会教育課	後援	ミュージカル「雪のひとひら」の上演	発表会	本公演の実施により団体としての目的や社会的役割を果たすことができる。上演の実績を積むことが団体の力の蓄積となり、更に次回公演へのステップとなる。観客の心に何かを届け、それが少しでも心を振るわせるきっかけとなしてほしい。プロを目指す若い人たちの発表の場の提供。子ども達が「自分で考える、感じる、それを伝える」機会の提供。	ミュージカルCoco～	24.1.22	エコルマホール	・チラシ学校配布 ・ポスター掲示
社会教育課	後援(教育)	第36回邦楽の集い	発表会	日本の伝統芸能を通じ健全なる文化教養を高め、ゆたかな情操の涵養を育み、粕江市の文化向上に寄与すると共に会員相互の親睦を目的といたします。	粕江市邦楽連盟	23.9.19	エコルマホール	・ポスター掲示
社会教育課	共催	万葉集と8世紀のグローバル化社会(講演会)	講演会	東京都史跡であり粕江市の貴重な文化遺産である玉川碑に集い万葉集を学習する会	万葉名歌玉川碑に集う会	23.11.6	中央公民館	・ポスター掲示
社会教育課	後援(教育)	平成24年どんど焼祭り	民俗行事	伝承民俗行事を守り、地域青少年の友情を交換する。	粕江市ボーイスカウト連絡協議会	24.1.15	多摩川緑地公園グランド脇他	・わっこ掲載 ・ポスター掲示
社会教育課	後援	粕江市民吹奏楽団第12回定期演奏会	コンサート	年間活動発表の場として	粕江市民吹奏楽団	24.1.15	エコルマホール	・ポスター掲示 ・チラシ学校配布
社会教育課	後援(教育)	粕江市民吹奏楽団第12回定期演奏会	コンサート	年間活動発表の場として	粕江市民吹奏楽団	24.1.15	エコルマホール	・ポスター掲示 ・チラシ学校配布
社会教育課	後援(教育)	第28回定期演奏会	コンサート	市民による市民のためのコンサート	粕江フィルハーモニー管弦楽団	23.11.19	エコルマホール	・ポスター掲示 ・チラシ学校配布
社会教育課	後援	第28回定期演奏会	コンサート	市民による市民のためのコンサート	粕江フィルハーモニー管弦楽団	23.11.19	エコルマホール	・ポスター掲示 ・チラシ学校配布

【H23・共催・後援】

担当課	種別	事業名	事業形態	事業目的	実施団体	実施日	実施場所	支援内容
社会教育課	共催	第65回都民体育大会開会式	その他	開会式参加	NPO法人 狛江市体育協会	23.5.8	東京体育館	庁用バスの手配 参加費の負担
社会教育課	共催	第44回市町村総合体育大会開会式	その他	開会式参加	NPO法人 狛江市体育協会	23.7.23	羽村市生涯学習センターゆとろぎ	庁用バスの手配 参加費の負担
社会教育課	後援(教育)	石井家住宅を記録にとどめる会	展示会	国営昭和記念公園に寄贈・移築された元狛江市指定文化財石井家住宅に残されていた古文書約3千点のうち、修復が完了した古文書や古絵図の展示と講演会を催す。	石井家住宅を記録にとどめる会	23.9.20～23.9.26	泉の森会館	・ポスター掲示
社会教育課	後援(教育)	～プレーパーク周知活動～一日冒険遊び場 in komae	その他	子ども達の健全育成の場であるプレーパーク(冒険遊び場)を市民に広く知っていただき、常設施設をつくる。	狛江にプレーパークをつくる会	23.4.24～24.3.31	西河原公園、のびのび公園他	・チラシ学校配布 ・わっこ掲載
社会教育課	後援(教育)	第3回 受け手養成講座	講座	受け手養成講座をすることにより現在不足している地いんどラインの受け手を増員したいため。	こまえチャイルドライン	23.9.4～23.11.27	公民館等	
社会教育課	後援	第3回 受け手養成講座	講座	受け手養成講座をすることにより現在不足している地いんどラインの受け手を増員したいため。	こまえチャイルドライン	23.9.4～23.11.27	公民館等	
社会教育課	後援(教育)	「吃音を学ぼう～学童編」～どもっている子の理解と支援	学習会	吃音で困っている子どものために、本人をとりまく大人が吃音についての理解を深めよりよい支援を目指す。	吃音サポート「ジークフリーツ」	23.11.3	第一小学校音楽室	・わっこ掲載
社会教育課	後援(教育)	「むいからで遊ぼう」第1回	まつり	子育て支援の一環として楽しい遊びの場を提供しあわせて様々な相談に対応する。	サポート狛江	23.5.21	むいから民家園	・チラシ学校配布
社会教育課	後援(教育)	「むいからで遊ぼう」第2回～第4回	まつり	子育て支援の一環として楽しい遊びの場を提供しあわせて様々な相談に対応する。	サポート狛江	23.7.9～23.10.29	むいから民家園	・チラシ学校配布
社会教育課	後援(教育)	サポート狛江 講演会&交流会「よりよい親子関係をきづくために―思春期に突る子育て」	講演会	前回のシンポジウムから7年が経過し、この7年間の狛江市の特別支援教育の到達点と今後の課題について、行政と市民で共通認識を持ち、更なる前進につなげたい。	サポート狛江	24.2.11	中央公民館	・チラシ学校配布
社会教育課	後援(教育)	「東日本大震災と私たち」	展示会	3/11の被災地の状態、当日の夜の世田谷道りの徒歩帰宅者の写真等。また、防災マップ等を展示し、市民の防災意識を高める。	泉の森 友の会	23.6.7～23.6.12	泉の森会館	・ポスター掲示
社会教育課	後援(教育)	「終戦前後の狛江の工業」	展示会	終戦前後の狛江の産業、特に工業が狛江にどのような係わりを持ち、また影響をあたえたかを知らしめ、後世に伝えたい。	泉の森 友の会	23.7.15～23.7.20	泉の森会館	・ポスター掲示
社会教育課	後援(教育)	狛江のピアニストたちによる東日本震災被災者支援チャリティーコンサート	コンサート	東日本大震災被災者を支援するためのチャリティーコンサート。	泉の森 友の会	23.10.29	泉の森会館	・ポスター掲示

担当課	種別	事業名	事業形態	事業目的	実施団体	実施日	実施場所	支援内容
社会教育課	後援(教育)	第2回エコルマ公演 「笑顔つないで」	発表会	きんたの会の発表の場であるとともに、日本の郷土芸能を伝えたい。	きんたの会	23.8.27	エコルマホール	・ポスター掲示
社会教育課	後援	第2回エコルマ公演 「笑顔つないで」	発表会	きんたの会の発表の場であるとともに、日本の郷土芸能を伝えたい。	きんたの会	23.8.27	エコルマホール	・ポスター掲示
社会教育課	後援(教育)	第39回 初夏の音楽会	発表会	多くの市民にバンドの色々なジャンルの演奏を楽しんでいただき、お互いの交流を深めることを目的とする。	狛江市音楽連盟	23.6.5	エコルマホール	・ポスター掲示 ・チラシ配布
社会教育課	後援	第39回 初夏の音楽会	発表会	多くの市民にバンドの色々なジャンルの演奏を楽しんでいただき、お互いの交流を深めることを目的とする。	狛江市音楽連盟	23.6.5	エコルマホール	・ポスター掲示 ・チラシ配布
社会教育課	後援(教育)	第11回 定期演奏会	発表会	日頃の練習の成果の発表し合奏の楽しさを理解して頂く事、女性のみで編成され25周年間色々な条件のなかで心を合わせて続けてきた結果を音として受け止めて欲しい。音楽分野でアマチュアとして狛江市に貢献したい。	マンドリーノTAMA	23.10.22	エコルマホール	・ポスター掲示
社会教育課	後援	第11回 定期演奏会	発表会	日頃の練習の成果の発表し合奏の楽しさを理解して頂く事、女性のみで編成され25周年間色々な条件のなかで心を合わせて続けてきた結果を音として受け止めて欲しい。音楽分野でアマチュアとして狛江市に貢献したい。	マンドリーノTAMA	23.10.22	エコルマホール	・ポスター掲示
社会教育課	後援(教育)	イズミスイングオーケストラ 45周年コンサート	コンサート	スイングジャズの演奏	イズミスイングオーケストラ	23.9.11	エコルマホール	・ポスター掲示
社会教育課	後援(教育)	エオリアン・コンサート Concert 2011	コンサート	日頃の練習の成果を市民の方に聴いていただきたい	女声合唱団「エオリアン・コール」	23.12.3	エコルマホール	・ポスター掲示
社会教育課	後援(教育)	未来コンサートⅡ	コンサート	日本の伝統音楽である邦楽について、市内の青少年による成果発表と市内音楽団体による公演を行うことで伝統文化の普及を図る。	NPO法人 邦楽指導者ネットワーク21狛江支部 箏曲正音会	24.3.4	エコルマホール	・ポスター掲示
社会教育課	後援	第4回多摩川ウォーキングフェスタ	その他	誰もが気軽に楽しむことができるレクリエーションスポーツ、「ウォーキング」によるスポーツイベントを実施し、都民のスポーツ実施率の向上を図る。	社団法人 東京都レクリエーション協会	23.10.1	多摩川河川敷	・広報「こまえ」

担当課	種別	事業名	事業形態	事業目的	実施団体	実施日	実施場所	支援内容
社会教育課	後援(教育)	ニュースポーツEXPO 2012 in 多摩	その他	日ごろ、スポーツに親しむことの少ない都民に対し、誰もが気軽に楽しみながら取り組むことができるレクリエーション性の高い「ニュースポーツ」を体験できる場を提供し、スポーツへの興味・関心を喚起し、スポーツ実践層のすそ野の拡大を図る。また、「スポーツ祭東京2013」のメイン会場のある多摩地域で、一般都民が参加できる「デモンストレーションとしてのスポーツ行事」を中心に体験プログラムを構成することによって、「スポーツ祭東京2013」開催機運の醸成を図り、多摩地域の連携強化及び活性化を図る。	社団法人 東京都レクリエーション協会	24.3.18	味の素スタジアム	
社会教育課	後援	第13回多摩川ウォーク	その他	ウォーキングへの関心を高めるとともに、健康増進体力向上を図る機会を提供する。	第13回 多摩川ウォーク	23.5.13	多摩川河川敷	
社会教育課	後援(教育)	スポーツGOMI拾い大会	大会	平成25年に狛江市で第68回国民体育大会・バレーボール競技が開催される。国民体育大会を契機とした市民スポーツの推進と市内環境の美化を図ると共に、国民体育大会の啓発・周知をするため。	第68回国民体育大会 狛江市実行委員会	24.3.17	市民ひろば 市内	・広報「こまえ」
社会教育課	後援	スポーツGOMI拾い大会	大会	平成25年に狛江市で第68回国民体育大会・バレーボール競技が開催される。国民体育大会を契機とした市民スポーツの推進と市内環境の美化を図ると共に、国民体育大会の啓発・周知をするため。	第68回国民体育大会 狛江市実行委員会	24.3.17	市民ひろば 市内	・広報「こまえ」
社会教育課	後援(教育)	第29回定期演奏会	コンサート	市民による市民のためのコンサート	狛江フィルハーモニー管弦楽団	24.5.5	エコルマホール	・ポスター掲示 ・チラシ学校配布
社会教育課	後援	第29回定期演奏会	コンサート	市民による市民のためのコンサート	狛江フィルハーモニー管弦楽団	24.5.5	エコルマホール	・ポスター掲示 ・チラシ学校配布
社会教育課	後援(教育)	第34回 市民創作展	展示会	市民が製作した異なるジャンルの作品を一堂に展示発表することにより、相互の交流と親睦を計り狛江市民の文化向上に寄与すること。	狛江市芸術協会	24.4.21	中央公民館	・ポスター掲示
社会教育課	後援	第34回 市民創作展	展示会	市民が製作した異なるジャンルの作品を一堂に展示発表することにより、相互の交流と親睦を計り狛江市民の文化向上に寄与すること。	狛江市芸術協会	24.4.21	中央公民館	・ポスター掲示

担当課	種別	事業名	事業形態	事業目的	実施団体	実施日	実施場所	支援内容
社会教育課	後援(教育)	綾屋紗月さん・熊谷晋一郎さん講演会「お互いの“違い”を認めてコミュニケーションを高めるために」	講演会	「互いの違いを認めた上でなお、つながるために必要な条件とは何か」という今日的課題を、障がい当事者の体験談を通じて考える。	一般社団法人 サポート狛江	24.4.21	泉の森会館	案内チラシ
社会教育課	後援	綾屋紗月さん・熊谷晋一郎さん講演会「お互いの“違い”を認めてコミュニケーションを高めるために」	講習会	「互いの違いを認めた上でなお、つながるために必要な条件とは何か」という今日的課題を、障がい当事者の体験談を通じて考える。	一般社団法人 サポート狛江	24.4.21	泉の森会館	案内チラシ
社会教育課	後援(教育)	第2回「狛江ハーモニカ音楽祭」	発表会	ハーモニカ音楽の普及と地域の人々と楽しむ音楽の祭典	多摩ハーモニカ倶楽部	23.10.16	エコルマホール	・ポスター掲示
社会教育課	後援	第2回「狛江ハーモニカ音楽祭」	発表会	ハーモニカ音楽の普及と地域の人々と楽しむ音楽の祭典	多摩ハーモニカ倶楽部	23.10.16	エコルマホール	・ポスター掲示
社会教育課	後援(教育)	第33回狛江市卓球団体戦	大会	狛江市民の卓球愛好者及び団体による市民卓球団体戦の開催。	狛江市卓球連盟	23.7.17	狛江市民総合体育館	わっこ掲載
社会教育課	後援(教育)	小田急バレーボールクリニック	教室	参加者のバレーボール技術向上	狛江市バレーボール協会	23.8.28	狛江市民総合体育館	わっこ掲載
社会教育課	後援(教育)	狛江市立学校PTA連合会バレーボール大会	大会	各校の親睦	狛江市立学校PTA連合会	23.10.23	狛江市民総合体育館	
社会教育課	後援(教育)	第7回狛江市少年少女サッカー連盟杯春季大会	大会	スポーツの普及と参加者相互の親睦を図るため。	狛江市サッカー少年少女連盟	23.6.12～23.7.31	狛江市民グラウンド	わっこ掲載
社会教育課	後援(教育)	春季バレーボール大会	大会	バレーボール愛好者の親睦、人格の向上及び心身の鍛錬を図るため。	狛江市バレーボール協会	23.6.19 23.7.3	狛江市民総合体育館	わっこ掲載
社会教育課	後援(教育)	狛江市ビーチボール大会顧問杯	大会	いつでもどこでもだれもが手軽にできるスポーツとして全国的に親しまれているビーチボール競技の普及・振興を図り、参加者相互の交流を図るため。	狛江市ビーチボール協会	23.7.10	狛江市民総合体育館	わっこ掲載
社会教育課	後援(教育)	全国私立高等学校男女バレーボール選手権大会	大会	全国私立高等学校バレーボール選手の育成・強化と私立学校の発展・切磋琢磨・相互の友好親善、併せて高体連バレーボール専門部が為し得ない部分を補い、日本バレーボール界の発展に貢献すること。	全国私立高等学校バレーボール連盟	23.8.14 23.8.15	狛江市民総合体育館	
社会教育課	後援(教育)	第7回狛江市少年少女サッカー連盟杯秋季大会	大会	スポーツの普及と参加者相互の親睦を図るため。	狛江市サッカー少年少女連盟	23.10.30～23.12.18	狛江市民グラウンド	わっこ掲載
社会教育課	後援(教育)	狛江市民春季硬式テニス大会	大会	硬式テニスの普及と技術の向上、及び参加者相互の親睦と市民の心身の鍛錬を計る事を目的とする。	狛江市硬式テニス協会	24.5.13	元和泉テニスコート 東野川テニスコート	・わっこ掲載

【H23・共催・後援】

担当課	種別	事業名	事業形態	事業目的	実施団体	実施日	実施場所	支援内容
社会教育課	後援(教育)	狛江市民年令別ミックスダブルスとシングルス硬式テニス大会	大会	硬式テニスの普及と技術の向上、及び参加者相互の親睦と市民の心身の錬磨を計る事を目的とする。	狛江市硬式テニス協会	23.11.20	元和泉テニスコート 東野川テニスコート	・わっこ掲載
社会教育課	後援(教育)	狛江市軟式野球連盟春季大会	大会	アマチュアスポーツの一環として野球チーム相互の健康と理解、親睦と融和を図り、スポーツの普及と技量の向上を図るため。	狛江市軟式野球連盟	24.4.1～24.7..29	多摩川緑地公園グラウンド	・わっこ掲載
社会教育課	後援(教育)	平成24年度狛江市民グラウンドゴルフ春季大会	大会	狛江市民と会員の親睦と交流を深めると共にグラウンドゴルフの技術向上のため。	狛江市グラウンドゴルフ協会	24.4.22	狛江市民グラウンド	・わっこ掲載
社会教育課	後援(教育)	調布・狛江早朝野球連盟「リーグ戦・トーナメント戦」	大会	野球を通じ親睦と交流を図り、健康増進を目的とする。	調布・狛江早朝野球連盟	24.4.20～24.11.16 (市事業日は除く)	狛江市民グラウンド	
社会教育課	後援(教育)	第27回母親大会	学習会	学習と話し合い	狛江母親大会連絡会	24.5.13	市民センター	・わっこ掲載
社会教育課	後援	第27回母親大会	学習会	学習と話し合い	狛江母親大会連絡会	24.5.13	市民センター	・わっこ掲載
社会教育課	後援(教育)	「第10回子どもフェスティバル」	まつり	スカウトスキルを通じ、スカウト運動の普及を図る。	狛江市ボーイスカウト連絡協議会	24.5.5 24.5.6	多摩川自由広場 多摩川左岸河川敷	・わっこ掲載
社会教育課	後援(教育)	狛江市三曲協会演奏会(第13回)	発表会	市民の人々と三曲(箏・三絃・尺八)を通じて交流を深め、狛江市の邦楽文化の維持・発展に寄与すること。	狛江市三曲協会	24.6.16	エコルマホール	チラシ案内
社会教育課	後援(教育)	狛江市ジュニアバレーボール教室	教室	バレーボールの普及と東京国体を目指すジュニアプレーヤーを養成するとともに、子どもたちの交流や心身の鍛錬により、青少年の健全育成に寄与する。	NPO法人 狛江市体育協会	23.11.5 23.11.12	西和泉体育館	
社会教育課	後援(教育)	第17回 KOMAE CUP 2012(春)シニアサッカー大会	大会	40才以上のシニアサッカーマンによる大会を通じて、市民の親睦を図り、市外のサッカーマンとの交流を行い、豊かで平和な地域コミュニティの創設を目指す。	KSCマトウーロB	24.5.4	市民グラウンド	わっこ掲載
社会教育課	後援(教育)	第16回 KOMAE CUP 2011(秋)シニアサッカー大会	大会	40才以上のシニアサッカーマンによる大会を通じて、市民の親睦を図り、市外のサッカーマンとの交流を行い、豊かで平和な地域コミュニティの創設を目指す。	KSCマトウーロB	23.12.25	市民グラウンド	わっこ掲載
社会教育課	後援(教育)	「子供バスケットボール教室 FIVE STAR CAMP」	教室	青少年の健全育成と狛江のバスケットボール技術向上のため。	HOOPHYSTERIA	23.9.4	狛江市民総合体育館	
社会教育課	後援(教育)	狛江市ダンス&スポーツフェスティバル	まつり	ダンス、スポーツの発表の場をつくり、子ども・狛江市民の心身育成とスポーツ振興を図るため。	狛江体操クラブ	23.12.18	狛江市民総合体育館	
社会教育課	後援(教育)	第18回狛江市オープン卓球大会	大会	オープン卓球大会を開催し、市外の選手と技術交流することにより、市民の卓球技術の向上を図る。	狛江市卓球連盟	24.2.19	狛江市民総合体育館	・わっこ掲載

担当課	種別	事業名	事業形態	事業目的	実施団体	実施日	実施場所	支援内容
社会教育課	後援(教育)	平成23年度第20回 狛江市バドミントン新春初打大会	大会	狛江市のバドミントン競技の向上、競技人口を広めること又は市外近隣との交流を深め、市民のレベルアップを図る。	狛江市バドミントン協会	24.1.22	狛江市民総合体育館	・わっこ掲載
社会教育課	後援(教育)	第15回 狛江市レディースバドミントン大会	大会	他のクラブと狛江レディースクラブとの親睦を深め、バドミントンによる活性化を図る。	KOMAE' 86	24.3.1	狛江市民総合体育館	・わっこ掲載
社会教育課	後援(教育)	北ブロック審判委員会 秋季研修会	講習会	東京国体に向け、審判員の育成・ルールの確認と実技研修のため。	狛江市ソフトボール協会	23.9.23	西和泉グラウンド 西和泉体育館	
社会教育課	後援(教育)	平成24年春季ソフトボール大会	大会	市民の健康づくりとソフトボール競技を通じての親睦と技術向上	狛江市ソフトボール協会	24.4.8～24.5.6	西和泉グラウンド	わっこ掲載
社会教育課	後援(教育)	第21回オープン家庭婦人ダブルス大会	大会	狛江市近郊の卓球愛好者の交流	T&Mクラブ	23.11.9	狛江市民総合体育館	
社会教育課	後援(教育)	平成24年度第43回 狛江市少年野球春季大会	大会	少年少女たちの日頃の練習成果の発表とともに、市内在住・在学の少年少女たちの親睦を図り、併せて少年少女たちの心身共に健全な育成の一助とする。	狛江市少年野球連盟	24.4.1～24.6.3	狛江市民グラウンド	わっこ掲載

担当課	種別	開催名称	開催目的	参加団体	実施日	実施場所	交換した意見・情報の内容
都市整備課	ワークショップ	清水川整備実施設計に伴うワークショップ	清水川はかつて農業用水として利用されてきたが、多くの市民からの跡地利用に関する要望を受け、市民の意見を基本計画に反映させるため、実施設計委託にワークショップを組み入れ、合計4回のワークショップを開催した。	銀行町親和会、緑ワーキンググループ、水ワーキンググループ、まちづくり市民会議、狛江市民 参加者47名	①H23.7.30 ②H23.9.3 ③H23.10.8 ④H23.11.26	小田急高架下会議室	第1回 事業概要説明と意見募集 第2回 整備3案の検討(基本計画) 第3回 整備案の絞り込み 第4回 最終基本計画案の提示 第1回から第4回まで市民から多くの意見が出された。東日本大震災の影響もあり、特に防災施設の整備については、賛成意見が多かった。また、隣接樹林地の保全やせせらぎの復活等の案も出された。完成後の維持管理については、銀行町親和会にお願いすることになったが、他の団体は消極的であった。
公民館	懇談会	西河原公民館利用者懇談会	西河原公民館の運営について、情報を提供し、直接意見交換を行い、交流する機会を持つことで、市民参加を図る。	利用団体:72団体・63人	23.5.31	西河原公民館・学習室 I	西河原公民館運営について 公民館利用の説明 西河原公民館利用団体の交流(団体紹介、利用上感じていること) 西河原公民館利用上の意見交換
公民館	懇談会	中央公民館利用者懇談会	中央公民館の運営について、情報を提供し、直接意見を交換し、交流する機会を持つことで、市民参加を図る。	利用団体:70団体・68人	23.5.23	中央公民館・講座室	中央公民館運営について 公民館利用の説明 中央公民館利用団体の交流(団体紹介、利用上感じていること) 中央公民館利用上の意見交換

市民協働事業評価アンケート 評価のまとめ

12 事業（12 課）についてアンケート回答

補助金事業（補） 3 件 協定事業（協） 2 件
委託事業（委） 4 件 共催事業（共） 3 件

評価基準

1:まったくできなかった 2:良くできなかった 3:良くできた 4:大変良くできた

※アンケート用紙の各質問で、色の濃い部分が行政の評価、○の部分が団体の評価。評価のところで色が濃く、○が重なっているところは、行政団体の評価が同一。

事業実施前についての質問

- 1 「協働事業についての明確・具体的な目標を、両方で共有されていたと思いますか。
（A. を確認して記入してください。）」

行政と団体で評価が同じ : 評価4⇒3件（補、委2）

評価3⇒3件（協、補、共）

行政と団体で評価が異なる：行政の評価4 - 団体の評価3⇒4件（補、委、協、共）

行政の評価3 - 団体の評価2⇒1件（委）

行政の評価3 - 団体の評価4⇒1件（共）

A 欄 - 事業の明確・具体的な目標：6 事業で同一、6 事業でほぼ同一

- 2 「単独実施ではなく協働で行うことについての意義やメリットについて、お互いに共通認識していたと思いますか。（B. を確認して記入してください。）」

行政と団体で評価が同じ : 評価4⇒4件（補3、委）

評価3⇒2件（協、共）

行政と団体で評価が異なる：行政の評価4 - 団体の評価3⇒3件（委、協、共）

行政の評価3 - 団体の評価4⇒2件（委、共）

B 欄 - 事業の意義・メリット：6 事業で同一、5 事業でほぼ同一

- 3 「事前に役割分担は明確かつ適正に定められていましたか。」

行政と団体で評価が同じ : 評価4⇒3件（補、委2）

評価3⇒2件（協、共）

行政と団体で評価が異なる：行政の評価4 - 団体の評価3⇒3件（補、委、協）

行政の評価4 - 団体の評価2⇒1件（協）

行政の評価3 - 団体の評価2⇒2件（補、委）

行政の評価2 - 団体の評価3⇒1件（共）

事業実施中についての質問

- 4 「それぞれの役割をそれぞれが適切に遂行できたと思いますか。」

行政と団体で評価が同じ : 評価4⇒1件(委)

評価3⇒5件(補2、委、共2)

行政と団体で評価が異なる : 行政の評価4 - 団体の評価3⇒3件(補、共、協)

行政の評価3 - 団体の評価4⇒3件(委2、共)

- 5 「事業実施中に意見交換や情報交換を十分に行うことができましたか。」

行政と団体で評価が同じ : 評価4⇒1件(委)

評価3⇒4件(補2、共、委)

評価2⇒1件(委)

行政と団体で評価が異なる : 行政の評価4 - 団体の評価3⇒5件(補、協2、委、共)

行政の評価3 - 団体の評価4⇒1件(共)

- 6 「事業実施中に発生した問題や修正すべき点に対し、連携して柔軟に対応できましたか。
(C.を確認して記入してください。)」

行政と団体で評価が同じ : 評価4⇒1件(委)

評価3⇒4件(委2、協、共)

行政と団体で評価が異なる : 行政の評価4 - 団体の評価3⇒1件(協)

行政の評価3 - 団体の評価4⇒1件(委)

行政の評価3 - 団体の評価2⇒1件(協)

行政の評価1 - 団体の評価4⇒1件(共)

行政と団体ともに評価なし⇒1件(補)

団体の評価なし⇒2件(補、共)

事業実施後についての質問

- 7 「目標に対する達成感について、実感を共有できたと思いますか。」

行政と団体で評価が同じ : 評価4⇒3件(委2、補)

評価3⇒5件(補2、委、協、共)

行政と団体で評価が異なる : 行政の評価4 - 団体の評価3⇒2件(協、共)

行政の評価3 - 団体の評価4⇒3件(共)

行政の評価2 - 団体の評価3⇒1件(補)

- 8 「協働事業として実施して、単独実施あるいは他の手法と比べて効果が上がったと思いますか。」

行政と団体で評価が同じ : 評価4⇒2件(委、共)

評価3⇒3件(委2、共)

行政と団体で評価が異なる：行政の評価4 - 団体の評価3⇒2件（委、共）
 行政の評価3 - 団体の評価4⇒4件（委、補2、共）
 行政の評価3 - 団体の評価2⇒1件（協）

9 「事業終了後に事業を振り返り、次回に活かすための話し合いの場を設け、十分に話し合うことができましたか。」

行政と団体で評価が同じ：評価4⇒1件（委）
 評価3⇒4件（委2、協、共）
 行政と団体で評価が異なる：行政の評価3 - 団体の評価4⇒1件（補）
 行政の評価3 - 団体の評価2⇒3件（補、委、協）
 行政の評価2 - 団体の評価3⇒2件（補、共）
行政の評価1 - 団体の評価2⇒1件（共）

事業全体を振り返っての質問

10 「今回の協働事業が市民に対して効果があったと思いますか。」
 行政と団体で評価が同じ：評価4⇒4件（補2、委、共）
 評価3⇒1件（共）
 行政と団体で評価が異なる：行政の評価4 - 団体の評価3⇒5件（補、協、委2、共）
 行政の評価3 - 団体の評価4⇒1件（協）

団体の評価なし⇒1件（委）

質問	行政の評価平均	評価課数	団体の評価平均	評価団体数
1	3.25	12	3.41	12
2	3.5	12	3.54	11
3	3.5	12	3.0	12
4	3.33	12	3.33	12
5	3.41	12	3.08	12
6	3.09	11	3.22	9
7	3.33	12	3.33	12
8	3.33	12	3.41	12
9	<u>2.75</u>	12	<u>2.75</u>	12
10	3.83	12	3.45	11

市民協働事業評価アンケート

市の 担当部署	総務部安心安全課	団体名	狛江第6小学校避難所運営協議会												
事業名	避難所運営協議会補助金														
実施期間	平成	23	年	8	月	28	日	～	平成	24	年	3	月	31	日
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔行政〕	災害発生時の避難所設営・運営を円滑かつ効率的に進める体制づくり。 普段から顔の見える関係を構築する。														
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔団体〕	第6小学校に於ける避難所組織立上げと運営。														
B.事業の意義・ メリット〔行政〕	地域住民による避難所の設置・運営を行うことにより、迅速な避難所開設、効率的な運営が期待できる。 普段から隣近所で顔のみえる関係をつくる。 訓練等を行うことで実際に生活する避難所を知る。														
B.事業の意義・ メリット〔団体〕	地域住民の安心安全の確保。														
C.事業実施中 に発生した 問題・修正点等 〔行政〕	主に避難所となる学校や協議会の構成員となる地域住民など立場や事情が異なる各主体の連携をうまくとるためにきめ細やかな調整が必要である。														
C.事業実施中 に発生した 問題・修正点等 〔団体〕	役員の構成と今後の引継ぎ人員など。														
評価基準	1:まったくできなかった 2:良くできなかった 3:良くできた 4:大変良くできた														
事業実施前についての質問															
評価															
1	協働事業についての明確・具体的な目標を、両者で共有されていたと思いますか。(A.を確認して記入してください。)										1	2	③	4	
質問の主旨															
協働事業を行うにあたり、事前に市民のニーズや社会情勢を踏まえた明確かつ具体的な目標が設定され、その目標が両者の間で認識の相違なく共有されていたか。															
2	単独実施ではなく協働で行うことについての意義やメリットについて、お互いに共通認識していたと思いますか。(B.を確認して記入してください。)										1	2	3	④	
質問の主旨															
行政あるいは市民公益活動団体が単独で実施するのではなく、両者が協働で実施する。その意義(なぜ協働で行うのか)や協働で行うことで「より高い事業効果につながる」等のメリットが、お互いに認識の相違なく共有されたか。															
3	事前に役割分担は明確かつ適正に定められていましたか。										1	2	③	4	
質問の主旨															
事前に「行政が行う部分」と「市民公益活動団体が行う部分」といった役割、責任や事業費の分担が、十分な話し合いのもとに明確かつ適正に(契約書や協定書等で)定められ、共有されていたか。															
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。															
行政	市の避難所運営基本マニュアルを基に、組織図、名簿、規則を作成し、円滑な話し合いが行われ、事業の遂行に向けて態勢づくりができた。														
団体	なし														

市民協働事業評価アンケート

事業実施中についての質問		評価			
4	それぞれの役割をそれぞれが適切に遂行できたと思いますか。	1	2	③	4
質問の主旨 事前に分担されたそれぞれの役割を、両者が責任を持って適切に遂行できたか。実際は一方だけがほとんどの部分を担っていたということがなかったか。					
5	事業実施中に意見交換や情報交換を十分に行うことができましたか。	1	2	③	4
質問の主旨 事業実施中に、事業の進捗状況や改善点等について意見交換や情報交換を十分に行うことができたか。					
6	事業実施中に発生した問題や修正すべき点に対し、連携して柔軟に対応できましたか。(C.を確認して記入してください。)	1	2	3	4
質問の主旨 事業実施中に、予定外の事態が発生したり事業計画を変更・修正しなければならなくなった場合に、両者が連携して調整し、柔軟に対応することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	地域住民の方々が中心となって進め、市はそのサポートにまわることで住民主体の協議会を確立することができ、役割が明確にできた。				
団体	なし				
事業実施後についての質問		評価			
7	目標に対する達成感について、実感を共有できたと思いますか。	1	2	③	4
質問の主旨 協働事業を行うにあたり設定されていた目標に対する事業終了後の達成感について、両者が実感を共有できたか。					
8	協働事業として実施して、単独実施あるいは他の手法と比べて効果が上がったと思いますか。	1	2	③	4
質問の主旨 いくつかある事業形態の中から「行政と市民公益活動団体の協働」により事業を実施してみて、他の形態で実施するよりも効果が上がったと実感できたか。					
9	事業終了後に事業を振り返り、次回に活かすための話し合いの場を設け、十分に話し合うことができましたか。	1	2	3	④
質問の主旨 事業終了後に、お互いが今後の活動に活かすため事業の振り返りを行ったか。また、話し合いの場を設けてそれぞれの振り返りを共有し、検証・評価することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	事業が始まったばかりで、今後にさらなる期待がある。 市と地域住民がお互いの立場で意見を出し合い、有益なものとなった。				
団体	なし				

市民協働事業評価アンケート

事業全体を振り返っての質問		評価			
10	今回の協働事業が市民に対して効果があったと思いますか。	1	2	3	④
質問の主旨					
今回行った協働事業が受益者である市民にとって効果があったか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	粕江第6小学校避難所運営協議会は、市内において個別の避難所では、初めての事業であったが、今後、市内に広がっていく協議会の役割において、他の模範となる極めて有益なものであった。 また、粕江第6小学校避難所運営協議会を構成するメンバーの防災に対する自覚や自立されており、個人の資質がかなり高い地域であった。				
団体	なし				

自由意見記入欄 (市民協働に関するご意見を、ご自由にお書きください)	
行政	なし
団体	当事業は長期間の事業であり多くの人々の意識改革が必要である。同時に多くの協力を求めながら進める必要があり、事業の内容により相当の事業資金も考えなければならない。

意見交換記入欄 (問題点・課題等を箇条書きで、ご自由にお書きください。)	
・事業の実施前、実施中、実施後いずれのタイミングにおいても協議会、市ともに、評価は概ね3又は4の評価となっており、両者とも一定の協働の取組ができたと感じている。	
・事業実施前においては、協働で行うことの意義について、協議会は、元々自助共助意識が高かったこともあり、十分な認識がされていた。ただし、目標や役割分担の明確化については、市の評価4に対し、協議会の評価は3となっており、実際問題として市からの本事業実施にあたっての説明等がやや不足していたといえる。	
・事業実施中においては、事業実施前に引き続き、役割分担の部分で協議会の評価が3となっており、実施前の課題をそのまま引きずってしまった感がある。情報交換・意見交換・問題への対応については、協議会メンバーの皆さんの意識が高く、また、自立されていたことや、協議会の本旨として地域の皆さんが主体という観点から、市として介入する機会の必要性はあまりなかった。予定外の事態や事業計画の変更等をするほどの大きな問題は実施期間中特段発生しなかった。	
・事業実施後においては、大きなトラブル等なく無事に協働して協議会が設立できた点で評価を共有できている。また、約7か月かけて進めてきたこともあり、お互いの付き合いも深まったことで、話し合い・協議もよりスムーズにできるようになったと感じる。事業の振り返りについては、設立したことで事業が完了するものではなく、その継続・充実が重要であるため、設立までの振り返りよりも今後のことについての話し合いが中心となった。	
・全体として、避難所運営協議会は、地域住民や団体・機関を中心としながら、市内全地域で設立していきたいと考えており、その意味では、今回の事業は非常に有意義であったとともに、後続のお手本となる形で進めることができたと思う。今後は、本協議会の継続・充実を図りつつ、他の地域での設立に向けて本協議会の皆さんの助言等を得ながら、また、今回の事業で得たノウハウを活かして進めていきたい。	

市民協働事業評価アンケート

市の 担当部署	福祉保健部介護支援課高齢者支援係	団体名	ときの会
事業名	狛江市高齢者会食会		
実施期間	平成 23 年 4 月 1 日 ~ 平成 24 年 3 月 31 日		
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔行政〕	昼食及び食後のアトラクション等を実施することによって外出の機会を提供し、孤独感の解消と生きがい作りに寄与する。		
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔団体〕	高齢者の心身の健康をはかる。手助けをする。会食作りボランティア。		
B.事業の意義・ メリット〔行政〕	毎月行われる会食会に参加することで、閉じこもり防止や友人作り、食への興味、生きがい作りになる。また、ボランティア団体による開催なので手作り感のあるあたたかい雰囲気で行われている。		
B.事業の意義・ メリット〔団体〕	ひきこもり防止、交流の場が作られることで楽しく生活、介護予防。		
C.事業実施中 に発生した 問題・修正点等 〔行政〕	・ボランティアの募集について ボランティア団体の高齢化が進んでいる。新しいメンバーが必要。 ・連絡なしの欠席者について 食材の無駄につながる。		
C.事業実施中 に発生した 問題・修正点等 〔団体〕	高齢者のため、会食会のある日を忘れてドタキャンが見受けられたので前もって電話し、確認等を行った。		

評価基準	1:まったくできなかった 2:良くできなかった 3:良くできた 4:大変良くできた
------	---

事業実施前についての質問		評価			
1	協働事業についての明確・具体的な目標を、両者で共有されていたと思いますか。(A.を確認して記入してください。)	1	②	3	4
質問の主旨 協働事業を行うにあたり、事前に市民のニーズや社会情勢を踏まえた明確かつ具体的な目標が設定され、その目標が両者の間で認識の相違なく共有されていたか。					
2	単独実施ではなく協働で行うことについての意義やメリットについて、お互いに共通認識していたと思いますか。(B.を確認して記入してください。)	1	②	3	4
質問の主旨 行政あるいは市民公益活動団体が単独で実施するのではなく、両者が協働で実施する。その意義(なぜ協働で行うのか)や協働で行うことで「より高い事業効果につながる」等のメリットが、お互いに認識の相違なく共有されたか。					
3	事前に役割分担は明確かつ適正に定められていましたか。	1	②	3	4
質問の主旨 事前に「行政が行う部分」と「市民公益活動団体が行う部分」といった役割、責任や事業費の分担が、十分な話し合いのもとに明確かつ適正に(契約書や協定書等で)定められ、共有されていたか。					

その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。	
行政	毎年、委託契約書を交わすことでお互いの役割を確認している。また、前年度の終わりに「会食会委託団体連絡会」を開催し、当該年度の課題等情報共有を図っている。
団体	話し合いの時間が取れずに流れのままに時間が過ぎたように感じられる。

市民協働事業評価アンケート

事業実施中についての質問		評価			
4	それぞれの役割をそれぞれが適切に遂行できたと思いますか。	1	2	③	4
質問の主旨 事前に分担されたそれぞれの役割を、両者が責任を持って適切に遂行できたか。実際は一方だけがほとんどの部分を担っていたということがなかったか。					
5	事業実施中に意見交換や情報交換を十分に行うことができましたか。	1	②	3	4
質問の主旨 事業実施中に、事業の進捗状況や改善点等について意見交換や情報交換を十分に行うことができたか。					
6	事業実施中に発生した問題や修正すべき点に対し、連携して柔軟に対応できましたか。(C.を確認して記入してください。)	1	2	③	4
質問の主旨 事業実施中に、予定外の事態が発生したり事業計画を変更・修正しなければならなかった場合に、両者が連携して調整し、柔軟に対応することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	市の職員が集金に回る際に限られた時間ではあるが、事業を実施している中で顔を合わせてコミュニケーションをとっている。				
団体	ボランティアで出席手伝いの人たちが協働事業だと認識している人がいない様子。自分自身も認識不足であり皆との話し合いも必要だ。				
事業実施後についての質問		評価			
7	目標に対する達成感について、実感を共有できたと思いますか。	1	2	③	4
質問の主旨 協働事業を行うにあたり設定されていた目標に対する事業終了後の達成感について、両者が実感を共有できたか。					
8	協働事業として実施して、単独実施あるいは他の手法と比べて効果が上がったと思いますか。	1	2	③	4
質問の主旨 いくつかある事業形態の中から「行政と市民公益活動団体の協働」により事業を実施してみて、他の形態で実施するよりも効果が上がったと実感できたか。					
9	事業終了後に事業を振り返り、次回に活かすための話し合いの場を設け、十分に話し合うことができましたか。	1	②	3	4
質問の主旨 事業終了後に、お互いが今後の活動に活かすため事業の振り返りを行ったか。また、話し合いの場を設けてそれぞれの振り返りを共有し、検証・評価することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	市と4団体の役員で開かれる「会食会委託団体連絡会」によって、各団体の事業報告により一年間を振り返り、次年度の委託契約や課題の共有などを行う。前年度に連絡会で出された意見について取り組むよう努力している。				
団体	話し合いが出来なかったことが一番の反省点。				

市民協働事業評価アンケート

事業全体を振り返っての質問		評価			
10	今回の協働事業が市民に対して効果があったと思いますか。	1	2	3	4
質問の主旨					
今回行った協働事業が受益者である市民にとって効果があったか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	(アンケートによると) 毎回楽しみに参加されている方が多く見受けられる。閉じこもり防止や生きがい作りの少しでも力になっているようだ。また、新しい友人ができたなどの孤独感の解消や食への興味を誘う役割も果たしている。				
団体	会食会出席の皆さんは市からの補助費を受けてより充実した食事の提供を受けられて良かったのではないかと 思っている。				

自由意見記入欄 (市民協働に関するご意見を、ご自由にお書きください)	
行政	今後は「会食会委託団体連絡会」に限らず、市からも団体と積極的にコミュニケーションをとり、お互いにアイデアや意見を出しながら課題と一緒に取り組んでいくことでもっとより良い「協働事業」ができると考えている。 市民協働で何をやっているかを市民はあまり知らないと思われる。市の広報等で皆に知ってもらえる事も大切。例えば、会食会も毎度同じ顔ぶれの人たちが多い。広く浅く出席できるような場にしたい。そのためにはみんなに知ってほしい(宣伝、広報)
団体	

意見交換記入欄 (問題点・課題等を箇条書きで、ご自由にお書きください。)	
【行政側の意見】 ・市と団体の間で目標等概ね共有できているが、それはあくまで団体役員だけであり、団体内で共有を図りたいとの考えがある。 ・市の担当者の入れ替わりが激しくて、信頼関係が築きにくい。 ・ボランティア募集については「ときの会」では危機感はない様子。 ・団体内で参加者がいつも同じ顔ぶれなのでもっと広く浅い形にしてはどうか。会食会参加者を2年で区切り、更新なしにする。継続したい人もまた新規で申し込む形にしてはどうか、という意見がある。 ・団体と市の意見交換の場をもっと作りたいと思っている。しかし、ときの会がボランティア団体であることを考えると現実的には何階も話し合いの場を作ることは難しい。年1回の「会食会委託団体連絡会」の開催以外では、担当者が集金に行く際にコミュニケーションをとるよう心掛けることで補うしかないのではないかとこの共通認識にいたる。 ・連絡なしで欠席する方が増えると団体の財政が圧迫されるので困る。担当も出欠管理に気を配り、休みが続く人には連絡をしている。 ・アトラクションの団体さんを見つけるのが大変。市が持っている情報が欲しい。(現時点で高齢者支援係には情報なし) ・市担当者と団体との協力がもっと求められていると感じた。 【団体側の意見】 ・食事作りのボランティアをやっているという人が大部分で市民協働だという意識を持っていないので、皆さんの話し合いを持ちたい。 ・市との話し合いを持ちたいと思うが、現実的には厳しい。 ・食後のアトラクションも少し手伝ってほしい。	

市民協働事業評価アンケート

市の 担当部署	健康推進課	団体名	狛江地域ねこの会				
事業名	「猫の飼育ガイドライン」の活用と普及						
実施期間	平成 23 年 4 月 1 日	～	平成 24 年 3 月 31 日				
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔行政〕	ガイドラインの活用と普及、住民と地域ねこの共生						
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔団体〕	「ガイドライン」を町会・自治会の回覧を通して住民への啓発に役立てる。苦情現場での解決に活用していく。						
B.事業の意義・ メリット〔行政〕	不幸な猫を減らす。ねこトラブルを減らす。						
B.事業の意義・ メリット〔団体〕	「ガイドライン」の内容を理解することで、飼い主がいない猫に関心があるなしに関わらず、住民間の話し合いで解決方法を見つけ出せる。						
C.事業実施中 に発生した 問題・修正点等 〔行政〕	上手く町会・自治会を巻き込むことが出来なかった。						
C.事業実施中 に発生した 問題・修正点等 〔団体〕	猫の問題を地域のこととして考えていく為に、町会・自治会との連携を考えてきたが、なかなかつながりを持つことができなかった。						
評価基準	1:まったくできなかった 2:良くできなかった 3:良くできた 4:大変良くできた						
事業実施前についての質問				評価			
1	協働事業についての明確・具体的な目標を、両者で共有されていたと思いますか。(A.を確認して記入してください。)			1	2	③	4
質問の主旨							
協働事業を行うにあたり、事前に市民のニーズや社会情勢を踏まえた明確かつ具体的な目標が設定され、その目標が両者の間で認識の相違なく共有されていたか。							
2	単独実施ではなく協働で行うことについての意義やメリットについて、お互いに共通認識していたと思いますか。(B.を確認して記入してください。)			1	2	③	4
質問の主旨							
行政あるいは市民公益活動団体が単独で実施するのではなく、両者が協働で実施する。その意義(なぜ協働で行うのか)や協働で行うことで「より高い事業効果につながる」等のメリットが、お互いに認識の相違なく共有されたか。							
3	事前に役割分担は明確かつ適正に定められていましたか。			1	2	③	4
質問の主旨							
事前に「行政が行う部分」と「市民公益活動団体が行う部分」といった役割、責任や事業費の分担が、十分な話し合いのもとに明確かつ適正に(契約書や協定書等で)定められ、共有されていたか。							
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。							
行政	なし						
団体	なし						

市民協働事業評価アンケート

事業実施中についての質問		評価			
4	それぞれの役割をそれぞれが適切に遂行できたと思いますか。	1	2	③	4
質問の主旨 事前に分担されたそれぞれの役割を、両者が責任を持って適切に遂行できたか。実際は一方だけがほとんどの部分を担っていたということがなかったか。					
5	事業実施中に意見交換や情報交換を十分に行うことができましたか。	1	2	③	4
質問の主旨 事業実施中に、事業の進捗状況や改善点等について意見交換や情報交換を十分に行うことができたか。					
6	事業実施中に発生した問題や修正すべき点に対し、連携して柔軟に対応できましたか。(C.を確認して記入してください。)	1	2	③	4
質問の主旨 事業実施中に、予定外の事態が発生したり事業計画を変更・修正しなければならなくなった場合に、両者が連携して調整し、柔軟に対応することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	助成金の新たな申請方法についての話し合いを何度も行った。				
団体	行政の広報活動への取り組みは良かったと思う。例えばガイドラインの町会・自治会への回覧。ニャンニャンセミナーのお知らせの回覧等。				
事業実施後についての質問		評価			
7	目標に対する達成感について、実感を共有できたと思いますか。	1	2	③	4
質問の主旨 協働事業を行うにあたり設定されていた目標に対する事業終了後の達成感について、両者が実感を共有できたか。					
8	協働事業として実施して、単独実施あるいは他の手法と比べて効果が上がったと思いますか。	1	2	③	4
質問の主旨 いくつかある事業形態の中から「行政と市民公益活動団体の協働」により事業を実施してみて、他の形態で実施するよりも効果が上がったと実感できたか。					
9	事業終了後に事業を振り返り、次回に活かすための話し合いの場を設け、十分に話し合うことができましたか。	1	2	③	4
質問の主旨 事業終了後に、お互いが今後の活動に活かすため事業の振り返りを行ったか。また、話し合いの場を設けてそれぞれの振り返りを共有し、検証・評価することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	行政だけでは対応できないことも泊江地域ねこの会の経験、ノウハウを借りて成果を上げることができた。				
団体	次年度に向け協働のあり方を再度検討し、新しい助成金申請方法や町会・自治会との関わり方等について話し合いを行った。				

市民協働事業評価アンケート

事業全体を振り返っての質問		評価			
10	今回の協働事業が市民に対して効果があったと思いますか。	1	2	3	④
	質問の主旨				
	今回行った協働事業が受益者である市民にとって効果があったか。				
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	なし				
団体	年々、不妊去勢手術数が減少してきているので、数年かけての活動が実ってきたように思う。				

自由意見記入欄 (市民協働に関するご意見を、ご自由にお書きください)	
行政	ここ数年は苦情の件数、不妊・去勢手術の件数とも減少している。これまでの成果ではないか。今後はいかにしてこの活動を地域のみなさんが主体となってやっていけるかである。
団体	四年間に亘る協働事業を通し、各年度ごとのテーマに沿って様々な活動をしてきた中で、飼い主のいない猫の減少は、10年かけてやっとその成果が見えてきたように思う。 「ガイドライン」の作成はこれからの活用の仕方で大いに啓発に役立つものと思う。 24年度は健康推進課と協働して、今まで同様の活動をしているところだが、住民一人一人が自主的に参加していけるような体制づくりを目指して行きたい。四年間ありがとうございました。

意見交換記入欄 (問題点・課題等を箇条書きで、ご自由にお書きください。)	
地域ねこの会が活動を始めて10年が経ち、協働事業も4年間行ってきたが、飼い主のいない猫の数は減少しており、目に見えて成果が出ている。 地域住民、町会・自治会が主体となってこの活動を行ってもらうという趣旨で、平成22年2月にガイドラインを作成した。報告書やニャンニャンセミナーの案内などを町会・自治会へ送っているが反応が全くない。地域ねこの会からはアンケートを送るなどして町会・自治会との関わりを持てるよう働きかけをシからして欲しいとの要望があった。	

市民協働事業評価アンケート

市の 担当部署	公民館	団体名	第23回いべんと西河原実行委員会												
事業名	第23回いべんと西河原														
実施期間	平成	23	年	10	月	11	日	～	平成	24	年	3	月	16	日
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔行政〕	西河原公民館をご利用いただく地域のみなさんと西河原公民館が共に力を合わせて、これまでのそれぞれの活動をさまざまな表現で発表し、市民の学習・文化活動の多彩な催しで交流を深め、公民館活動の地域への発信の機会とする。														
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔団体〕	西河原公民館利用の地域の人と西河原公民館が協働して市民の学習、文化活動で交流を深め活動発信の機会とする。														
B.事業の意義・ メリット〔行政〕	いべんと西河原をとおして、西河原公民館を拠点とし、地域の文化活動・社会教育活動などで連帯のある町づくりに寄与する。														
B.事業の意義・ メリット〔団体〕	いべんと西河原実施の4日間は多くの参加者と観客で1日を楽しんでいる。														
C.事業実施中 に発生した 問題・修正点等 〔行政〕	ホール出演団体の出番前の控室として、2階の何部屋かを使用した。出番の終わった団体の方々や関係者で廊下が溢れかえり参観者や、2階で展示をしていた団体の迷惑となってしまった。また、同じような事象が舞台裏の控室でも見られたため、次回から改善が必要とされる。														
C.事業実施中 に発生した 問題・修正点等 〔団体〕	特に舞台は時間的にギリギリにつまっているので、遅延が発生しがちである														
評価基準	1:まったくできなかった 2:良くできなかった 3:良くできた 4:大変良くできた														
事業実施前についての質問															
1	協働事業についての明確・具体的な目標を、両者で共有されていたと思いますか。(A.を確認して記入してください。)								1	2	3	④			
質問の主旨															
協働事業を行うにあたり、事前に市民のニーズや社会情勢を踏まえた明確かつ具体的な目標が設定され、その目標が両者の間で認識の相違なく共有されていたか。															
2	単独実施ではなく協働で行うことについての意義やメリットについて、お互いに共通認識していたと思いますか。(B.を確認して記入してください。)								1	2	3	④			
質問の主旨															
行政あるいは市民公益活動団体が単独で実施するのではなく、両者が協働で実施する。その意義(なぜ協働で行うのか)や協働で行うことで「より高い事業効果につながる」等のメリットが、お互いに認識の相違なく共有されたか。															
3	事前に役割分担は明確かつ適正に定められていましたか。								1	2	3	④			
質問の主旨															
事前に「行政が行う部分」と「市民公益活動団体が行う部分」といった役割、責任や事業費の分担が、十分な話し合いのもとに明確かつ適正に(契約書や協定書等で)定められ、共有されていたか。															
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。															
行政	両者ともにAの目標をしっかりと意識して取り組むことができた。														
団体	特に西河原公民館の館長はじめ全職員が大変協力的かつ積極的で運営がスムーズに出来ています。実行委員会とのネゴも良い。														

市民協働事業評価アンケート

事業実施中についての質問		評価			
4	それぞれの役割をそれぞれが適切に遂行できたと思いますか。	1	2	3	④
質問の主旨 事前に分担されたそれぞれの役割を、両者が責任を持って適切に遂行できたか。実際は一方だけがほとんどの部分を担っていたということがなかったか。					
5	事業実施中に意見交換や情報交換を十分に行うことができましたか。	1	2	3	④
質問の主旨 事業実施中に、事業の進捗状況や改善点等について意見交換や情報交換を十分に行うことができたか。					
6	事業実施中に発生した問題や修正すべき点に対し、連携して柔軟に対応できましたか。(C.を確認して記入してください。)	1	2	3	④
質問の主旨 事業実施中に、予定外の事態が発生したり事業計画を変更・修正しなければならなくなった場合に、両者が連携して調整し、柔軟に対応することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	事業実施中は両者が常に館内を回り、情報交換を密に行うことができた。				
団体	実行委員と協力しながらスムーズな運営を心掛けてくれています。				
事業実施後についての質問		評価			
7	目標に対する達成感について、実感を共有できたと思いますか。	1	2	3	④
質問の主旨 協働事業を行うにあたり設定されていた目標に対する事業終了後の達成感について、両者が実感を共有できたか。					
8	協働事業として実施して、単独実施あるいは他の手法と比べて効果が上がったと思いますか。	1	2	3	④
質問の主旨 いくつかある事業形態の中から「行政と市民公益活動団体の協働」により事業を実施してみて、他の形態で実施するよりも効果が上がったと実感できたか。					
9	事業終了後に事業を振り返り、次回に活かすための話し合いの場を設け、十分に話し合うことができましたか。	1	2	3	④
質問の主旨 事業終了後に、お互いが今後の活動に活かすため事業の振り返りを行ったか。また、話し合いの場を設けてそれぞれの振り返りを共有し、検証・評価することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	事業終了の2週間後に、いべんと西河原実行委員会総会を開催し、検証・評価を実施した。				
団体	参加団体アンケートの実施、取りまとめ等、公民館として協力的である。				

市民協働事業評価アンケート

事業全体を振り返っての質問		評価			
10	今回の協働事業が市民に対して効果があったと思いますか。	1	2	③	4
質問の主旨					
今回行った協働事業が受益者である市民にとって効果があったか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	4日間で計70団体が参加し、そのご家族やご友人、近隣の方等、多くの方に足を運んでいただき、大変有意義な事業となった。				
団体	団体サークルにとっては、新しいメンバーが望まれるが高齢者のみの団体が見られる。				

自由意見記入欄 (市民協働に関するご意見を、ご自由にお書きください)	
行政	今回で23回を終えた「いべんと西河原」は西河原公民館で最も大きな事業であり、利用団体が日頃の努力を発表することができる大変貴重な事業である。終了後のアンケートでは、「1年間の成果を発表できることが励みになります」や、「目標があるということは大切なことと痛感します」等々、非常に前向きな意見を多数頂いた。これも実行委員の方々のご尽力のおかげであり、今後も連携を取りながらより良い「いべんと西河原」にしていきたいと思う。
団体	前々回から、受け付け番を自分のサークルの参加日にとらわれずに決めたため、これまで出場しなかった日に来ることとなり、新しい団体の活動を見ることが可能となった。併せて受付当番表作成も大変楽になった。(作成担当の公民館担当者にも喜ばれた)。 実行委員のメンバーは少しずつ変わっていくことが望ましい。

意見交換記入欄 (問題点・課題等を箇条書きで、ご自由にお書きください。)	
【行政側の意見】	
○例年、舞台出演団体の発表時間が押してしまい、プログラムの遅延が発生することがある。 →出演団体の順番の変更や、実行委員会開催時に時間厳守を呼びかけ徹底する。	
○実行委員メンバーの固定化について →実行委員会開催通知を送付する際の通知文書になるべく新規の方に出ていただけるような文言を盛り込む。	
○各団体メンバーの高齢化について →公民館にて発行している「公民館だより」の中に団体紹介(会員募集)の記事を載せたり、館内掲示板に団体紹介のコーナーを作るなど、現在検討中。	
○ホール出演団体の控え室として、2階の何部屋かを使用した。そこで出番の終わった団体の方々や関係者で廊下が溢れ返り、参観者や2階で展示をしていた団体の名枠となってしまった。 →2階フロア(展示・お茶・日本舞踊等の団体が発表)をホール出演団体が控え室として使用することは、他の階との部屋数の関係上、仕方ないことがあるので、2階で発表している団体や、参観者の邪魔にならぬよう、あらかじめ注意喚起をしていく。	
※23回目を終えたいべんと西河原は、出演者・参観者ともに多くの方に楽しんでいただいている。出演者へのアンケートでも「これからも積極的に参加したい」、「毎年、身近な公民館で発表の機会が得られて幸せです」等々、ありがたいご意見を多数いただいております。今後もいべんと西河原実行委員の皆さまと公民館が一体となってより良い、いべんとにしていきたいと思う。	

市民協働事業評価アンケート

市の 担当部署	児童青少年部児童青少年課	団体名	狛江市青少年第一育成委員会
事業名	青少年健全育成委託事業「楽しさいっぱい！森林公園」		
実施期間	平成 24 年 3 月 27 日	～	平成 24 年 3 月 27 日
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔行政〕	市内の子どもたちに普段できない自然との触れ合いを経験させ、またグループ活動を通じて、協力し、相互を思いやる気持ちを育む。		
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔団体〕	住宅街の中で過ごしている日々の生活から離れ、広大な自然の中で自然に触れる楽しさを味わい、自然の恵みの大切さを学ぶ。		
B.事業の意義・ メリット〔行政〕	通常の補助金だけでは出来ない規模の事業の企画・運営を任せることにより、		
B.事業の意義・ メリット〔団体〕	子供たちは、自然の中で貴重な体験ができたと思う。また、グループ行動でのもの作り等を通し、子ども同士の交流ができた。		
C.事業実施中 に発生した 問題・修正点等 〔行政〕	道中における事故渋滞等の影響で予定していた行動計画に大きな変更が生じてしまった。バスハイクという観点からも、そうした不測の事態にも対応できる計画をしておく必要があると感じた。		
C.事業実施中 に発生した 問題・修正点等 〔団体〕	当日、行きの高速道路にて事故渋滞に巻き込まれ当初の行程より1時間おくれで現地到着。そういった場合の予定も立てておくべきであった。		

評価基準	1:まったくできなかった 2:良くできなかった 3:良くできた 4:大変良くできた
------	---

事業実施前についての質問		評価			
1	協働事業についての明確・具体的な目標を、両方で共有されていたと思いますか。(A.を確認して記入してください。)	1	2	③	4
質問の主旨 協働事業を行うにあたり、事前に市民のニーズや社会情勢を踏まえた明確かつ具体的な目標が設定され、その目標が両者の間で認識の相違なく共有されていたか。					
2	単独実施ではなく協働で行うことについての意義やメリットについて、お互いに共通認識していたと思いますか。(B.を確認して記入してください。)	1	2	③	4
質問の主旨 行政あるいは市民公益活動団体が単独で実施するのではなく、両者が協働で実施する。その意義(なぜ協働で行うのか)や協働で行うことで「より高い事業効果につながる」等のメリットが、お互いに認識の相違なく共有されたか。					
3	事前に役割分担は明確かつ適正に定められていましたか。	1	2	③	4
質問の主旨 事前に「行政が行う部分」と「市民公益活動団体が行う部分」といった役割、責任や事業費の分担が、十分な話し合いのもとに明確かつ適正に(契約書や協定書等で)定められ、共有されていたか。					

その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	なし				
団体	事務局も交えての実行委員会を重ねて当日にむかったので共有されていたと思う。				

市民協働事業評価アンケート

事業実施中についての質問		評価			
4	それぞれの役割をそれぞれが適切に遂行できたと思いますか。	1	2	3	④
質問の主旨 事前に分担されたそれぞれの役割を、両者が責任を持って適切に遂行できたか。実際は一方だけがほとんどの部分を担っていたということがなかったか。					
5	事業実施中に意見交換や情報交換を十分に行うことができましたか。	1	2	③	4
質問の主旨 事業実施中に、事業の進捗状況や改善点等について意見交換や情報交換を十分に行うことができたか。					
6	事業実施中に発生した問題や修正すべき点に対し、連携して柔軟に対応できましたか。（C.を確認して記入してください。）	1	2	③	4
質問の主旨 事業実施中に、予定外の事態が発生したり事業計画を変更・修正しなければならなくなった場合に、両者が連携して調整し、柔軟に対応することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	なし				
団体	2台のバスでお互いに連絡を取り、現地にも連絡を取り日程をこなすことができた。				

事業実施後についての質問		評価			
7	目標に対する達成感について、実感を共有できたと思いますか。	1	2	3	④
質問の主旨 協働事業を行うにあたり設定されていた目標に対する事業終了後の達成感について、両者が実感を共有できたか。					
8	協働事業として実施して、単独実施あるいは他の手法と比べて効果が上がったと思いますか。	1	2	③	4
質問の主旨 いくつかある事業形態の中から「行政と市民公益活動団体の協働」により事業を実施してみて、他の形態で実施するよりも効果が上がったと実感できたか。					
9	事業終了後に事業を振り返り、次回に活かすための話し合いの場を設け、十分に話し合うことができましたか。	1	2	③	4
質問の主旨 事業終了後に、お互いが今後の活動に活かすため事業の振り返りを行ったか。また、話し合いの場を設けてそれぞれの振り返りを共有し、検証・評価することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	なし				
団体	なし				

市民協働事業評価アンケート

事業全体を振り返っての質問		評価			
10	今回の協働事業が市民に対して効果があったと思いますか。	1	2	③	4
質問の主旨					
今回行った協働事業が受益者である市民にとって効果があったか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	事業に参加した子どもの保護者から市長への手紙でお礼の言葉をいただいたことで好評をいただけたことを実感した。				
団体	うれしい市民の声が直接返ってきたので効果があり、次回を楽しみにしてくれている感じが伝わってきた。				

自由意見記入欄 (市民協働に関するご意見を、ご自由にお書きください)	
行政	なし
団体	今後ともよろしくお願いします。

意見交換記入欄 (問題点・課題等を箇条書きで、ご自由にお書きください。)	
・ 往路の高速道路にて、複数の事故渋滞が発生したため、タイムスケジュールに大きな狂いが生じてしまった。現地での時間調整により、予定していたプログラムはすべて実施できたが、想定外の事態も起こりうるため、予め臨機応変に対応しうる行動計画を練る必要があると感じた。 ・ 現地での行動班に、男女のばらつきがあり、事業実施後に参加者からクレームがあった。人数のバランスはあるものの、そういった点での配慮も必要であった。	

市民協働事業評価アンケート

市の 担当部署	教育部社会教育課	団体名	狛江市総合型スポーツ・文化クラブ 「狛〇くらぶ」												
事業名	狛江市総合型スポーツ・文化クラブ「狛〇くらぶ」の活動支援														
実施期間	平成	23	年	4	月	1	日	～	平成	24	年	3	月	31	日
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔行政〕	市民の誰もがそれぞれの体力や年齢、興味、関心、技術レベルなどに応じて、いつでもどこでも、 いつまでもスポーツや文化に親しむことができる社会の実現を目指す。														
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔団体〕	市民の誰もがそれぞれの体力、関心、技術レベルなどに応じていつまでもスポーツや文化に親しむ ことができる社会の実現を目指す。														
B.事業の意義・ メリット〔行政〕	・地域住民の交流の場として、地域コミュニティの基点となり、地域活動の活性化につながる。 ・スポーツ活動及び文化活動の場の確保につながる。														
B.事業の意義・ メリット〔団体〕	地域のつながり、コミュニティづくりの拠点となって「ひと」や「まち」が元気になることを後押しす る。														
C.事業実施中 に発生した 問題・修正点等 〔行政〕	なし														
C.事業実施中 に発生した 問題・修正点等 〔団体〕	なし														
評価基準	1:まったくできなかった 2:良くできなかった 3:良くできた 4:大変良くできた														
事業実施前についての質問															
1	協働事業についての明確・具体的な目標を、両者で共有されていたと思いますか。(A.を確認して記入 してください。)								評価 1 2 3 ④						
質問の主旨 協働事業を行うにあたり、事前に市民のニーズや社会情勢を踏まえた明確かつ具体的な目標が設定され、その目標が両者の間で認識 の相違なく共有されていたか。															
2	単独実施ではなく協働で行うことについての意義やメリットについて、お互いに共通認識していたと思いま すか。(B.を確認して記入してください。)								1 2 3 ④						
質問の主旨 行政あるいは市民公益活動団体が単独で実施するのではなく、両者が協働で実施する。その意義(なぜ協働で行うのか)や協働で行うこ とで「より高い事業効果につながる」等のメリットが、お互いに認識の相違なく共有されたか。															
3	事前に役割分担は明確かつ適正に定められていましたか。								1 2 3 ④						
質問の主旨 事前に「行政が行う部分」と「市民公益活動団体が行う部分」といった役割、責任や事業費の分担が、十分な話し合いのもとに明確かつ 適正に(契約書や協定書等で)定められ、共有されていたか。															
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。															
行政	お互いに目標を共有し、市民のスポーツ振興のために事業を遂行できた。														
団体	なし														

市民協働事業評価アンケート

事業実施中についての質問		評価			
4	それぞれの役割をそれぞれが適切に遂行できたと思いますか。	1	2	③	4
質問の主旨 事前に分担されたそれぞれの役割を、両者が責任を持って適切に遂行できたか。実際は一方だけがほとんどの部分を担っていたということがなかったか。					
5	事業実施中に意見交換や情報交換を十分に行うことができましたか。	1	2	③	4
質問の主旨 事業実施中に、事業の進捗状況や改善点等について意見交換や情報交換を十分に行うことができたか。					
6	事業実施中に発生した問題や修正すべき点に対し、連携して柔軟に対応できましたか。(C.を確認して記入してください。)	1	2	3	4
質問の主旨 事業実施中に、予定外の事態が発生したり事業計画を変更・修正しなければならなくなった場合に、両者が連携して調整し、柔軟に対応することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	なし				
団体	なし				

事業実施後についての質問		評価			
7	目標に対する達成感について、実感を共有できたと思いますか。	1	2	③	4
質問の主旨 協働事業を行うにあたり設定されていた目標に対する事業終了後の達成感について、両者が実感を共有できたか。					
8	協働事業として実施して、単独実施あるいは他の手法と比べて効果が上がったと思いますか。	1	2	3	④
質問の主旨 いくつかある事業形態の中から「行政と市民公益活動団体の協働」により事業を実施してみて、他の形態で実施するよりも効果が上がったと実感できたか。					
9	事業終了後に事業を振り返り、次回に活かすための話し合いの場を設け、十分に話し合うことができましたか。	1	2	③	4
質問の主旨 事業終了後に、お互いが今後の活動に活かすため事業の振り返りを行ったか。また、話し合いの場を設けてそれぞれの振り返りを共有し、検証・評価することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	事業終了後に話し合いの場を十分にもうけることができなかったため、設問9に関しては評価2とした。				
団体	なし				

市民協働事業評価アンケート

事業全体を振り返っての質問		評価			
10	今回の協働事業が市民に対して効果があったと思いますか。	1	2	3	④
	質問の主旨				
	今回行った協働事業が受益者である市民にとって効果があったか。				
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	なし				
団体	なし				

自由意見記入欄 (市民協働に関するご意見を、ご自由にお書きください)	
行政	なし
団体	なし

意見交換記入欄 (問題点・課題等を箇条書きで、ご自由にお書きください。)	
【行政側の意見】 ・年間を通して、特に問題等はなく、遂行できた。 ・行政は補助金及び活動場所となる体育施設等の確保等の支援を行ったが、活動そのものに参加してほしい旨の要望があった。 ・事業後のみならず、事業前にも打ち合わせを行い、双方の意見を交換する場を設けるとよい。 ・行政と団体が協働するために、どのような方法がよいか検討する必要がある。 【団体側の意見】 ・今後も市民に対してより活発な活動が出来るよう、協力を願いたい。 ・泊〇くらぶに市職員の方々も積極的に参加頂きたい。 ・地域コミュニティーの場となるよう、行政との連携が必要 ・今後はより綿密な打ち合わせを行いたい。	

市民協働事業評価アンケート

市の 担当部署	企画財政部政策室	団体名	狛江泉親会		
事業名	市民法律相談				
実施期間	平成 23 年 4 月 1 日	～	平成 24 年 3 月 31 日		
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔行政〕	・狛江市民の法律知識の向上 ・地域住民の法的ニーズに応える				
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔団体〕	・狛江市民の法律知識の向上 ・地域住民の法的ニーズに応える ・地域在住弁護士と市民の交流				
B.事業の意義・ メリット〔行政〕	・地域在住弁護士と市民の交流 ・共催することで市民に広く参加を呼びかけられる				
B.事業の意義・ メリット〔団体〕	狛江市民にとって法律知識の向上、弁護士との交流、法的ニーズに応える、ということはメリットは大きい。				
C.事業実施中 に発生した 問題・修正点等 〔行政〕	なし				
C.事業実施中 に発生した 問題・修正点等 〔団体〕	なし				
評価基準	1:まったくできなかった 2:良くできなかった 3:良くできた 4:大変良くできた				
事業実施前についての質問		評価			
1	協働事業についての明確・具体的な目標を、両者で共有されていたと思いますか。（A.を確認して記入してください。） 質問の主旨 協働事業を行うにあたり、事前に市民のニーズや社会情勢を踏まえた明確かつ具体的な目標が設定され、その目標が両者の間で認識の相違なく共有されていたか。	1	2	③	4
2	単独実施ではなく協働で行うことについての意義やメリットについて、お互いに共通認識していたと思いますか。（B.を確認して記入してください。） 質問の主旨 行政あるいは市民公益活動団体が単独で実施するのではなく、両者が協働で実施する。その意義(なぜ協働で行うのか)や協働で行うことで「より高い事業効果につながる」等のメリットが、お互いに認識の相違なく共有されたか。	1	2	③	4
3	事前に役割分担は明確かつ適正に定められていましたか。 質問の主旨 事前に「行政が行う部分」と「市民公益活動団体が行う部分」といった役割、責任や事業費の分担が、十分な話し合いのもとに明確かつ適正に(契約書や協定書等で)定められ、共有されていたか。	1	2	③	4
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	なし				
団体	なし				

市民協働事業評価アンケート

事業実施中についての質問		評価			
4	それぞれの役割をそれぞれが適切に遂行できたと思いますか。	1	2	③	4
質問の主旨 事前に分担されたそれぞれの役割を、両者が責任を持って適切に遂行できたか。実際は一方だけがほとんどの部分を担っていたということがなかったか。					
5	事業実施中に意見交換や情報交換を十分に行うことができましたか。	1	2	③	4
質問の主旨 事業実施中に、事業の進捗状況や改善点等について意見交換や情報交換を十分に行うことができたか。					
6	事業実施中に発生した問題や修正すべき点に対し、連携して柔軟に対応できましたか。（C.を確認して記入してください。）	1	2	3	4
質問の主旨 事業実施中に、予定外の事態が発生したり事業計画を変更・修正しなければならなくなった場合に、両者が連携して調整し、柔軟に対応することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	なし				
団体	なし				
事業実施後についての質問		評価			
7	目標に対する達成感について、実感を共有できたと思いますか。	1	2	③	4
質問の主旨 協働事業を行うにあたり設定されていた目標に対する事業終了後の達成感について、両者が実感を共有できたか。					
8	協働事業として実施して、単独実施あるいは他の手法と比べて効果が上がったと思いますか。	1	2	3	④
質問の主旨 いくつかある事業形態の中から「行政と市民公益活動団体の協働」により事業を実施してみて、他の形態で実施するよりも効果が上がったと実感できたか。					
9	事業終了後に事業を振り返り、次回に活かすための話し合いの場を設け、十分に話し合うことができましたか。	1	2	③	4
質問の主旨 事業終了後に、お互いが今後の活動に活かすため事業の振り返りを行ったか。また、話し合いの場を設けてそれぞれの振り返りを共有し、検証・評価することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	なし				
団体	なし				

市民協働事業評価アンケート

事業全体を振り返っての質問		評価			
10	今回の協働事業が市民に対して効果があったと思いますか。	1	2	③	4
	質問の主旨				
	今回行った協働事業が受益者である市民にとって効果があったか。				
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	なし				
団体	なし				

自由意見記入欄 (市民協働に関するご意見を、ご自由にお書きください)	
行政	なし
団体	なし

意見交換記入欄 (問題点・課題等を箇条書きで、ご自由にお書きください。)	
【行政側の意見】	
(1) 相談会の周知方法について	
相談会のPRIは、市側が担当しているが、泉親会の方でも周知活動を検討していきたい。	
(2) 相談会の回数について	
現在、年4回実施していることについて、妥当であると考えている。内容の充実を図ることも必要ではないかという意見があった。	
(3) 相談会の日程について	
年4回を土曜日の午前中に実施しているが、曜日や時間帯を変えて取り組むことを今後検討していく。	
【団体側の意見】	
なし	

市民協働事業評価アンケート

市の 担当部署	市民生活部地域活性課	団体名	南部地域センター運営協議会												
事業名	南部地域センター自主運営に関する協定														
実施期間	平成	23	年	4	月	1	日	～	平成	24	年	3	月	31	日
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔行政〕	地域住民の自発的なコミュニティ活動を助長する。														
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔団体〕	地域センターの運営及び管理に関すること(設備等含む)														
B.事業の意義・ メリット〔行政〕	地域住民により組織された運営協議会による地域センターの自主運営を支援することにより、地域に即した活動を主体的に行うことが出来る。														
B.事業の意義・ メリット〔団体〕	地域住民の自発的なコミュニティ活動の助長														
C.事業実施中 に発生した 問題・修正点等 〔行政〕	施設の維持管理において、団体からの改善要望等に対し、必ずしも全てに対応できたわけではなかった。														
C.事業実施中 に発生した 問題・修正点等 〔団体〕	【備品や設備機器の故障時の対応について】 問題点1: 空調機の故障(型式が古く修繕不可) ⇒ 突然使用不可になる可能性が高い。 ①現状: 除湿機の排水が漏れる状態 ②対応: モップや吸水シートで対応 ⇒ H25年度大規模改修に合わせて、新規空調機に交換予定。 【使用料金の徴収について】 問題点1: 料理室での活動を午前・午後行う団体が、料理は午前で終了し、午後は会議(打合せ)なので、午前は料理で予約し、午後は会議で予約をしたいとの申出の場合の取り扱い。 ①考え方: 同一団体の活動と考えれば一連の流れだととらえるべきではないか考えられる。														
評価基準	1:まったくできなかった 2:良くできなかった 3:良くできた 4:大変良くできた														

↓

事業実施前についての質問										評価				
1	協働事業についての明確・具体的な目標を、両者で共有されていたと思いますか。(A.を確認して記入してください。)									1	2	③	4	
質問の主旨														
協働事業を行うにあたり、事前に市民のニーズや社会情勢を踏まえた明確かつ具体的な目標が設定され、その目標が両者の間で認識の相違なく共有されていたか。														
2	単独実施ではなく協働で行うことについての意義やメリットについて、お互いに共通認識していたと思いますか。(B.を確認して記入してください。)									1	2	③	4	
質問の主旨														
行政あるいは市民公益活動団体が単独で実施するのではなく、両者が協働で実施する。その意義(なぜ協働で行うのか)や協働で行うことで「より高い事業効果につながる」等のメリットが、お互いに認識の相違なく共有されたか。														
3	事前に役割分担は明確かつ適正に定められていましたか。									1	②	3	4	
質問の主旨														
事前に「行政が行う部分」と「市民公益活動団体が行う部分」といった役割、責任や事業費の分担が、十分な話し合いのもとに明確かつ適正に(契約書や協定書等で)定められ、共有されていたか。														
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。														
行政	事業の実施にあたっては、お互いの立場や役割を認識し共有していたと考えている。													
団体	1ー市域センターの一般的な運営管理は協定内容に基づき行われているが、行政と4地域センター間の調整等が少ない。 (条例や規則が同じであるから、管理面などで各センターが独自性を出しすぎると公平性が失われる。) 2・3ー運営協議会との協定が形骸化されており、協働事業の意義がよく理解されていない面が見受けられる。													

市民協働事業評価アンケート

事業実施中についての質問		評価			
4	それぞれの役割をそれぞれが適切に遂行できたと思いますか。	1	2	③	4
質問の主旨 事前に分担されたそれぞれの役割を、両者が責任を持って適切に遂行できたか。実際は一方だけがほとんどの部分を担っていたということがなかったか。					
5	事業実施中に意見交換や情報交換を十分に行うことができましたか。	1	2	③	4
質問の主旨 事業実施中に、事業の進捗状況や改善点等について意見交換や情報交換を十分に行うことができたか。					
6	事業実施中に発生した問題や修正すべき点に対し、連携して柔軟に対応できましたか。(C.を確認して記入してください。)	1	②	3	4
質問の主旨 事業実施中に、予定外の事態が発生したり事業計画を変更・修正しなければならなくなった場合に、両者が連携して調整し、柔軟に対応することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	事業実施における施設管理については、施設修繕などに対し、予算額の限度があり団体からの改善要求に十分に対応することができない部分があった。				
団体	4ー特になし 5ー問題が生じれば、常に情報提供や意見交換をして問題解決に対応している。 6ーコミュニティの推進事業は、特別問題点は無いが、施設管理においては、突発的な事が起きても予算がネックとなり問題解決までに時間がかかる。				
事業実施後についての質問		評価			
7	目標に対する達成感について、実感を共有できたと思いますか。	1	2	③	4
質問の主旨 協働事業を行うにあたり設定されていた目標に対する事業終了後の達成感について、両者が実感を共有できたか。					
8	協働事業として実施して、単独実施あるいは他の手法と比べて効果が上がったと思いますか。	1	②	3	4
質問の主旨 いくつかある事業形態の中から「行政と市民公益活動団体の協働」により事業を実施してみて、他の形態で実施するよりも効果が上がったと実感できたか。					
9	事業終了後に事業を振り返り、次回に活かすための話し合いの場を設け、十分に話し合うことができましたか。	1	②	3	4
質問の主旨 事業終了後、お互いが今後の活動に活かすため事業の振り返りを行ったか。また、話し合いの場を設けてそれぞれの振り返りを共有し、検証・評価することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	業務上の関わりが多いため、事業終了後次の年度に入ってもコミュニケーションは密になっていると思います。しかし、施設の管理運営のため、事業終了後の達成感については、年度終了後すぐに次の年度が始まってしまうため達成感があっても両者の実感を共有する機会がもう少しあったらいいと思いました。				
団体	7ーコミュニティ推進事業は、運営協議会が主体となって実施しているので達成感はある。また、状況により行政から役割分担以上の支援がある。 8ー自主運営体制から20年目を迎え、この間社会情勢等が大きく変わり、市民ニーズも変わる中で見直しが必要であると思われる。(コミュニティの推進だけでなく、地域問題全体に対応できる組織づくりが必要ではないか) 9ー特に多くの課題が生じなければ、特に行わない。				

市民協働事業評価アンケート

事業全体を振り返っての質問		評価			
10	今回の協働事業が市民に対して効果があったと思いますか。	1	2	③	4
	質問の主旨				
	今回行った協働事業が受益者である市民にとって効果があったか。				
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	事前実施については、団体として非常に良く取り組んでいただきました。 周辺地域の状況や要望等に対しても、よく検討し対応していただき、地域の拠点としてコミュニティ活動を推進していただいたと考えています。				
団体	10－市民にとって利用しやすい地域センターとなっている。また、近くで各種事業等を行うことにより参加しやすい環境ができている。				

自由意見記入欄 (市民協働に関するご意見を、ご自由にお書きください)	
行政	なし
団体	①条例・規則が同じでありながら、四地域センターの独自性を出すあまり利用者への公平性が失われていないか。 ②運営協議会は地域や利用団体から選出された人々で構成された任意団体(委員の任期は2年)であるため、NPO法人とは異なり目的意識が弱いところがある。また、委員もPTA関係を除くと高齢者で構成されており、世代交代がなかなか進まない状況であります。このような状況下であるが、行政機関との関わりが増えてきている。改めて、運営協議会における市民参加と市民協議のかかわり方を見直す必要があるのではないかと考えられます。 ③協議会における協働事業では、事故や事件などにおける責任区分が明示されているが、賠償責任のない運営協議会には負担が大きい、負担軽減を図れるような組織の改正が必要ではないかと思われま。 ④運営協議会委員や職員の固定化により施設運営や事業に対し、考え方や視野が狭くなる可能性があるため、四地域センター間で職員の人事交流ができる制度など新たな制度を設けて、職員の資質及びコミュニティ活動の向上を図る。 (まとめ) 20年前の社会情勢における地域コミュニティ活動に要求された協議形態と現社会情勢で求められる市民協働のあり方が変わってきているので20年前の協働形態を見直すに伴い運営協議会のあり方も見直しをする必要があるのではないかと思います。

意見交換記入欄 (問題点・課題等を箇条書きで、ご自由にお書きください。)	
【行政側の意見】 今年で運営協議会が20年 → 細かな部分の変更はあっても、根幹の部分は20年前のまま。 委託、NPO化、指定管理化など、様々な形態への変更を検討して行くタイミングでは？ 市がやるべきことか、運営協議会がやるべきことかが、現在の協定書でははっきりしていない。 例 地域センターで事故があった場合などの、責任のあり方の明確化。 市の予算でやるか、運営協議会の予算でやるかがあいまいな部分がある。 4地域センターにどこまで独自性を持たせるのか。 → 独自性を出しすぎて、地域センターごとで不公平があるのはまずい。 解決策として、現場を一番良く知る4人の局長と地域活性課で、年に1、2回連絡会を開いてみては？ 施設管理において、突発的な故障等が発生しても、予算の関係や市のシステム上時間がどうしてもかかり、市民のニーズに応えられない。 大規模な修繕は別として、小規模・少額のものに関しては、もう少し早く対応できるようにならないものか。 人件費の問題はあるが、職員を一人増やして休みを輪番制にするなどして、土日も職員が地域センターにいるような体制にできれば、新たな運営の形が見えてくる気がする。	
【団体側の意見】 1 運営協議会による地域コミュニティの推進は一定の成果を達成しているが、運営協議会の組織形態等は会館当初から20年以上変わってきていない状況である。しかし、社会情勢や市民ニーズ等が変わっているため、自主運営(協働事業)から20年となることから、改めて自主運営(協定)のあり方を見直す時期ではないかと思う。 ※施設の運営管理については、4地域センターをまとめておこなったらどうか。(人事・職員体制も含める) 2 4地域センターの自主運営により独自性を謳われるが、事業活動においては大きな特色となるが、施設の運営管理面では利用者に対する公平性に問題が生じる恐れがある。 ※4地域センターと地域活性課間の情報交換の開催や人事交流など 3 規模などによるが設備等の突発的な事故などに対する対応に時間がかかる。 4 運営協議会は任意団体のため、賠償問題等が生じた場合の賠償責任能力がない。	

市民協働事業評価アンケート

市の 担当部署	建設環境部都市整備課	団体名	多摩川住宅街づくり(地区計画)協議会
事業名	地区まちづくり準備会助成金		
実施期間	平成 23 年 4 月 1 日	～	平成 24 年 3 月 31 日
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔行政〕	築40年以上となる多摩川住宅において、新耐震基準に基づく安心安全な住環境を創出しつつ、現在の良好な住環境を将来にわたって維持継承するため、地区計画制度を活用した一体的なまちづくりを実現すること。		
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔団体〕	未記入		
B.事業の意義・ メリット〔行政〕	大規模な集合住宅において、一体的に改築することによる防災機能の向上と、市内で初めてとなる大規模集合住宅における改築事業という点において、今後生じるであろう大規模集合住宅における改築事業のベンチマークとなる。		
B.事業の意義・ メリット〔団体〕	未記入		
C.事業実施中 に発生した 問題・修正点等 〔行政〕	平成23年11月時点で、準備会から協議会へ移行しており、具体的な議論は平成24年度からとなるため、今までのところでは大きな問題などは生じていない。		
C.事業実施中 に発生した 問題・修正点等 〔団体〕	未記入		

評価基準	1:まったくできなかった 2:良くできなかった 3:良くできた 4:大変良くできた
------	---

事業実施前についての質問		評価			
1	協働事業についての明確・具体的な目標を、両者で共有されていたと思いますか。(A.を確認して記入してください。)	1	2	③	4
質問の主旨 協働事業を行うにあたり、事前に市民のニーズや社会情勢を踏まえた明確かつ具体的な目標が設定され、その目標が両者の間で認識の相違なく共有されていたか。					
2	単独実施ではなく協働で行うことについての意義やメリットについて、お互いに共通認識していたと思いますか。(B.を確認して記入してください。)	1	2	3	④
質問の主旨 行政あるいは市民公益活動団体が単独で実施するのではなく、両者が協働で実施する。その意義(なぜ協働で行うのか)や協働で行うことで「より高い事業効果につながる」等のメリットが、お互いに認識の相違なく共有されたか。					
3	事前に役割分担は明確かつ適正に定められていましたか。	1	②	3	4
質問の主旨 事前に「行政が行う部分」と「市民公益活動団体が行う部分」といった役割、責任や事業費の分担が、十分な話し合いのもとに明確かつ適正に(契約書や協定書等で)定められ、共有されていたか。					

その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	3→大規模集合住宅である多摩川住宅において、一体的に改築事業を実現しようとした場合に、利害関係人となる全住民の中での現状認識と、改築に向けた方向性に対する認識を同一レベルにすることは困難を極め、如何にして全体での共通認識を深めていくかが大きな課題である。				
団体	1. 本協議会は、行政とともに年度を越えて「街づくり」に取り組んでいます。 2. 両者が「まちづくり」の共通認識にたち、取組みことが基本であるとともに、継続性も併せて重要な事項となります。				

市民協働事業評価アンケート

事業実施中についての質問		評価			
4	それぞれの役割をそれぞれが適切に遂行できたと思いますか。	1	2	③	4
質問の主旨 事前に分担されたそれぞれの役割を、両者が責任を持って適切に遂行できたか。実際は一方だけがほとんどの部分を担っていたということがなかったか。					
5	事業実施中に意見交換や情報交換を十分に行うことができましたか。	1	2	③	4
質問の主旨 事業実施中に、事業の進捗状況や改善点等について意見交換や情報交換を十分に行うことができたか。					
6	事業実施中に発生した問題や修正すべき点に対し、連携して柔軟に対応できましたか。(C.を確認して記入してください。)	1	2	③	4
質問の主旨 事業実施中に、予定外の事態が発生したり事業計画を変更・修正しなければならなくなった場合に、両者が連携して調整し、柔軟に対応することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	なし				
団体	1. 助成金に対しては、準備会の段階での延長を認めていただき、運営が助かりました。 2. 23年度の段階で、協議会が準備会からステップアップしたとき、粕江市側の大きな支援を受けて、協議会が誕生したと考えています。 ※支援内容⇒(1)協議会認定条件の説明、(2)認定条件の解釈、(3)審査会開催時の説明				
事業実施後についての質問		評価			
7	目標に対する達成感について、実感を共有できたと思いますか。	1	2	③	4
質問の主旨 協働事業を行うにあたり設定されていた目標に対する事業終了後の達成感について、両者が実感を共有できたか。					
8	協働事業として実施して、単独実施あるいは他の手法と比べて効果が上がったと思いますか。	1	2	3	④
質問の主旨 いくつかある事業形態の中から「行政と市民公益活動団体の協働」により事業を実施してみて、他の形態で実施するよりも効果が上がったと実感できたか。					
9	事業終了後に事業を振り返り、次回に活かすための話し合いの場を設け、十分に話し合うことができましたか。	1	②	3	4
質問の主旨 事業終了後に、お互いが今後の活動に活かすため事業の振り返りを行ったか。また、話し合いの場を設けてそれぞれの振り返りを共有し、検証・評価することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	なし				
団体	1. 行政側と特段の話し合いはなく、このアンケートがそれにあたると考えます。 2. 年度最後の総括も大切ですが、年度当初に意見交換ができればよいと思います。				

市民協働事業評価アンケート

事業全体を振り返っての質問		評価			
10	今回の協働事業が市民に対して効果があったと思いますか。	1	2	③	4
	質問の主旨				
	今回行った協働事業が受益者である市民にとって効果があったか。				
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	なし				
団体	新たな展開に向けた基礎固めを目的として、以下の取組みを進めています 1. イ号棟、二号棟にある都市計画公園の位置付けとこれからの扱い 2. 旧第4小学校跡地の扱い				

自由意見記入欄 (市民協働に関するご意見を、ご自由にお書きください)	
行政	なし
団体	粕江市には、東京都の水道局緊急資材置場があります。現状を見る限りでは100%使用されていません。市民に公園等として開放(都から無償借用)できないでしょうか。

意見交換記入欄 (問題点・課題等を箇条書きで、ご自由にお書きください。)	
○15:30から17:00まで 504会議室にて ・助成金等支援について 平成23年11月より準備会から協議会へ移行し、平成24年度から具体的な地区計画の中身の議論を行っていく状況にあり、現状では金額等に関しては、具体的な希望等は明確にできないが、調布市と比べると金額は低いといわざるを得ない。加えて、調布市は調査業務の実施や、図書作成等にも助成があるので、協議会活動に対しての支援が手厚くなっている。また、粕江市としても、旧4小跡地を有する1地権者であることから、積極的な関与を望むものである。 ・意見交換等の場について 協議会役員会といった話し合いの場は常設されているが、こういった「かしこまった」場では話せないようなこともあるので、お互いに「ざっくばらん」な話ができる場があると良いのではないかと。 ・市民意見の取扱いについて 都市計画マスタープラン改定の際に、二号棟としてA43枚程度の意見をパブリックコメントに付したが、内容によっては明確な回答がされなかったものもあった。本当の意味での「協働」から外れるのではないかと。 ・当事業における協働の意義(都市整備課より) 大規模団地における改修又は改築といった一大事業においては、市が勝手に事業化するので	

市民協働事業評価アンケート

市の 担当部署	福祉保健部福祉サービス支援室	団体名	社会福祉法人 狛江市社会福祉協議会												
事業名	東日本大震災復興支援 狛江市民ボランティア・バスパック														
実施期間	平成	23	年	6	月	19	日	～	平成	23	年	8	月	20	日
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔行政〕	東日本大震災復興に向けた狛江市民によるボランティア活動を通じた支援。														
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔団体〕	狛江市の市民ボランティアにより、東日本震災被災地での復興に向けた支援を行う。														
B.事業の意義・ メリット〔行政〕	参加市民のボランティア経験、被災地の長期的支援														
B.事業の意義・ メリット〔団体〕	参加市民のボランティア経験が、長期的な支援につながり、また、狛江市が被災した際の備えにつながる。														
C.事業実施中 に発生した 問題・修正点等 〔行政〕	準備期間が短く、事業の周知、準備が不十分であった。														
C.事業実施中 に発生した 問題・修正点等 〔団体〕	周知期間が短く、広く事業への参加に関して知ってもらうことができなかった。														
評価基準	1:まったくできなかった 2:良くできなかった 3:良くできた 4:大変良くできた														
事業実施前についての質問															
1	協働事業についての明確・具体的な目標を、両者で共有されていたと思いますか。(A.を確認して記入してください。)								1	2	③	4			
質問の主旨															
協働事業を行うにあたり、事前に市民のニーズや社会情勢を踏まえた明確かつ具体的な目標が設定され、その目標が両者の間で認識の相違なく共有されていたか。															
2	単独実施ではなく協働で行うことについての意義やメリットについて、お互いに共通認識していたと思いますか。(B.を確認して記入してください。)								1	2	③	4			
質問の主旨															
行政あるいは市民公益活動団体が単独で実施するのではなく、両者が協働で実施する。その意義(なぜ協働で行うのか)や協働で行うことで「より高い事業効果につながる」等のメリットが、お互いに認識の相違なく共有されたか。															
3	事前に役割分担は明確かつ適正に定められていましたか。								1	2	③	4			
質問の主旨															
事前に「行政が行う部分」と「市民公益活動団体が行う部分」といった役割、責任や事業費の分担が、十分な話し合いのもとに明確かつ適正に(契約書や協定書等で)定められ、共有されていたか。															
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。															
行政	なし														
団体	なし														

市民協働事業評価アンケート

事業実施中についての質問		評価			
4	それぞれの役割をそれぞれが適切に遂行できたと思いますか。	1	2	③	4
質問の主旨 事前に分担されたそれぞれの役割を、両者が責任を持って適切に遂行できたか。実際は一方だけがほとんどの部分を担っていたということがなかったか。					
5	事業実施中に意見交換や情報交換を十分に行うことができましたか。	1	2	③	4
質問の主旨 事業実施中に、事業の進捗状況や改善点等について意見交換や情報交換を十分に行うことができたか。					
6	事業実施中に発生した問題や修正すべき点に対し、連携して柔軟に対応できましたか。(C.を確認して記入してください。)	1	2	③	4
質問の主旨 事業実施中に、予定外の事態が発生したり事業計画を変更・修正しなければならなかった場合に、両者が連携して調整し、柔軟に対応することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	なし				
団体	なし				

事業実施後についての質問		評価			
7	目標に対する達成感について、実感を共有できたと思いますか。	1	2	③	4
質問の主旨 協働事業を行うにあたり設定されていた目標に対する事業終了後の達成感について、両者が実感を共有できたか。					
8	協働事業として実施して、単独実施あるいは他の手法と比べて効果が上がったと思いますか。	1	2	③	4
質問の主旨 いくつかある事業形態の中から「行政と市民公益活動団体の協働」により事業を実施してみて、他の形態で実施するよりも効果が上がったと実感できたか。					
9	事業終了後に事業を振り返り、次回に活かすための話し合いの場を設け、十分に話し合うことができましたか。	1	②	3	4
質問の主旨 事業終了後に、お互いが今後の活動に活かすため事業の振り返りを行ったか。また、話し合いの場を設けてそれぞれの振り返りを共有し、検証・評価することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	なし				
団体	なし				

事業全体を振り返っての質問		評価			
10	今回の協働事業が市民に対して効果があったと思いますか。	1	2	③	4
質問の主旨 今回行った協働事業が受益者である市民にとって効果があったか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	なし				
団体	なし				

自由意見記入欄 (市民協働に関するご意見を、ご自由にお書きください)	
行政	なし
団体	なし

市民協働事業評価アンケート

市の 担当部署	建設環境部環境政策課	団体名	水辺の楽校運営協議会		
事業名	水辺の楽校事業運営委託				
実施期間	平成 23 年 4 月 1 日	～	平成 24 年 3 月 31 日		
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔行政〕	多摩川の水辺の自然と生き物の保護、子ども達の自然体験や世代を超えた交流、憩いの場として活用することを目的とする。				
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔団体〕	地域の園児、児童の自然体験及び環境学習の指導、支援を目標とする				
B.事業の意義・ メリット〔行政〕	多摩川の自然を守ると同時に、河川敷を子ども達の環境学習の場として活用できる。				
B.事業の意義・ メリット〔団体〕	地域の自然を活用した知的、情操的教育の構築ができる				
C.事業実施中 に発生した 問題・修正点等 〔行政〕	台風や増水時に倒木等の被害があった。また、スズメバチの巣の撤去を行った。				
C.事業実施中 に発生した 問題・修正点等 〔団体〕	台風、集中豪雨被害からの復旧活動が大変だった				
評価基準	1:まったくできなかった 2:良くできなかった 3:良くてきた 4:大変良くてきた				
事業実施前についての質問		評価			
1	協働事業についての明確・具体的な目標を、両者で共有されていたと思いますか。(A.を確認して記入してください。)	1	2	3	④
質問の主旨 協働事業を行うにあたり、事前に市民のニーズや社会情勢を踏まえた明確かつ具体的な目標が設定され、その目標が両者の間で認識の相違なく共有されていたか。					
2	単独実施ではなく協働で行うことについての意義やメリットについて、お互いに共通認識していたと思いますか。(B.を確認して記入してください。)	1	2	3	④
質問の主旨 行政あるいは市民公益活動団体が単独で実施するのではなく、両者が協働で実施する。その意義(なぜ協働で行うのか)や協働で行うことで「より高い事業効果につながる」等のメリットが、お互いに認識の相違なく共有されたか。					
3	事前に役割分担は明確かつ適正に定められていましたか。	1	2	3	④
質問の主旨 事前に「行政が行う部分」と「市民公益活動団体が行う部分」といった役割、責任や事業費の分担が、十分な話し合いのもとに明確かつ適正に(契約書や協定書等で)定められ、共有されていたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	行政側が広報活動や使用申請の受付、団体側が環境学習指導や河川敷の復旧作業指導等と、それぞれ役割を分担し、作業を迅速に行うことで、大きな事故もなく事業を遂行することができた。				
団体	なし				

市民協働事業評価アンケート

事業実施中についての質問		評価			
4	それぞれの役割をそれぞれが適切に遂行できたと思いますか。	1	2	3	④
質問の主旨 事前に分担されたそれぞれの役割を、両者が責任を持って適切に遂行できたか。実際は一方だけがほとんどの部分を担っていたということがなかったか。					
5	事業実施中に意見交換や情報交換を十分に行うことができましたか。	1	2	③	4
質問の主旨 事業実施中に、事業の進捗状況や改善点等について意見交換や情報交換を十分に行うことができたか。					
6	事業実施中に発生した問題や修正すべき点に対し、連携して柔軟に対応できましたか。(C.を確認して記入してください。)	1	2	3	④
質問の主旨 事業実施中に、予定外の事態が発生したり事業計画を変更・修正しなければならなくなった場合に、両者が連携して調整し、柔軟に対応することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	台風や増水時の被害について、団体が適正に処理をしてくれたため、二次被害を防止できた。				
団体	スズメバチの巣撤去など速やかな行政協力を得た。 広報活動の積極的な行政支援を得た。				
事業実施後についての質問		評価			
7	目標に対する達成感について、実感を共有できたと思いますか。	1	2	3	④
質問の主旨 協働事業を行うにあたり設定されていた目標に対する事業終了後の達成感について、両者が実感を共有できたか。					
8	協働事業として実施して、単独実施あるいは他の手法と比べて効果が上がったと思いますか。	1	2	3	④
質問の主旨 いくつかある事業形態の中から「行政と市民公益活動団体の協働」により事業を実施してみて、他の形態で実施するよりも効果が上がったと実感できたか。					
9	事業終了後に事業を振り返り、次回に活かすための話し合いの場を設け、十分に話し合うことができましたか。	1	2	③	4
質問の主旨 事業終了後に、お互いが今後の活動に活かすため事業の振り返りを行ったか。また、話し合いの場を設けてそれぞれの振り返りを共有し、検証・評価することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	意見交換の機会が少なかったため、本調査をきっかけとして、今後意見交換を活発に行っていきたい。				
団体	担当部署には当事業団体のみならず多摩側流域19校の連絡協議会事務局としても良かった。賞賛。				

市民協働事業評価アンケート

事業全体を振り返っての質問		評価			
10	今回の協働事業が市民に対して効果があったと思いますか。	1	2	3	④
質問の主旨					
今回行った協働事業が受益者である市民にとって効果があったか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	多摩川源流体験教室には多くの市民から参加申込みがあった。また、他自治体からも多数の問い合わせがあった。				
団体	年間5301名の子どもたちを指導(別紙参照)。 粕江のみならず他市区からの事業依頼も増加傾向にある。				

自由意見記入欄 (市民協働に関するご意見を、ご自由にお書きください)	
行政	水辺の楽校事業は、毎年度新規事業への取組が見られ、先進的な環境学習の機会を提供する場として市内外から高い評価を得ている。今後、水辺の楽校事業と市の事業をリンクさせることで、さらなる事業の発展を目指したい。
団体	なし

意見交換記入欄 (問題点・課題等を箇条書きで、ご自由にお書きください。)	
【行政側の意見】 ・行政と団体が明確な役割分担が行われており、特に大きな問題はない。 ・台風や増水時の被害については、環境学習の中で十分復旧作業・対応が可能であり、行政側は情報のみ所有していただければよい。 ・水辺の楽校事業の他にも、多摩・島しょ広域連携事業についても、行政と団体とが事務局として十分に機能を果たすことができた。 ・源流体験事業については、市民に情報が浸透してきたこともあり、教育委員会への移管等も考えている。 ・東京都からもらっていた多摩・島しょ広域連携事業の助成金は今年度で終了するが、来年度も別の形で助成が受けられるようであれば、新たな事業も視野に入れて対応していきたい。 ・流域全体で日程を定めて一つのイベントを行うことは難しいので、それぞれの水辺の楽校で調査を行い、それをまとめた報告書のようなものが出せればと考えている。 ・八王子市の水辺の楽校から、八王子市の子どもたちに粕江市の水辺の楽校を観察させ、粕江市の子ども達もぜひ八王子市の水辺の楽校に遊びに来てほしいとの話が来ている。また、上流域の水辺の楽校が下流の視察を行いたいとの話もある。上流と下流では生き物の生態等もだいぶ異なるため、交換見学会のようなものは環境学習として有効である。	

市民協働事業評価アンケート

市の 担当部署	児童青少年部子育て支援課	団体名	一般社団法人サポート狛江		
事業名	むいからで遊ぼう				
実施期間	平成 23 年 5 月 21 日	～	平成 23 年 10 月 21 日		
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔行政〕	子育て中の親子が、遊びの中でそれぞれ交流し、子育てについて学ぶことを目標とする。				
A.事業の明確・ 具体的な目標 〔団体〕	1. 子どもとその保護者を対象に遊びの場を提供する。 2. 子育て中の親子が楽しく遊びながら子育てについて学び合う。 3. 子育てに関する専門スタッフが子どもたちの遊びや参加者の交流のお手伝いをする。				
B.事業の意義・ メリット〔行政〕	多様な人材を活用でき、子育て中の親子の交流を促進できる。また、役割分担の中で効率的な事業運営ができる。				
B.事業の意義・ メリット〔団体〕	親子に楽しんでもらえるプログラム準備には長い時間と労力が必要なので行政単独では実施が困難。一方、テント等の機材の手配や搬入、市内各機関への広報(チラシ配布)の徹底など、団体単独では難しい点について、行政の応援を得ることで、スムーズな進行が可能になる。				
C.事業実施中 に発生した 問題・修正点等 〔行政〕	なし				
C.事業実施中 に発生した 問題・修正点等 〔団体〕	なし				
評価基準	1:まったくできなかった 2:良くできなかった 3:良くできた 4:大変良くできた				
事業実施前についての質問		評価			
1	協働事業についての明確・具体的な目標を、両者で共有されていたと思いますか。(A.を確認して記入してください。)	1	2	3	④
質問の主旨					
協働事業を行うにあたり、事前に市民のニーズや社会情勢を踏まえた明確かつ具体的な目標が設定され、その目標が両者の間で認識の相違なく共有されていたか。					
2	単独実施ではなく協働で行うことについての意義やメリットについて、お互いに共通認識していたと思いますか。(B.を確認して記入してください。)	1	2	3	④
質問の主旨					
行政あるいは市民公益活動団体が単独で実施するのではなく、両者が協働で実施する。その意義(なぜ協働で行うのか)や協働で行うことで「より高い事業効果につながる」等のメリットが、お互いに認識の相違なく共有されたか。					
3	事前に役割分担は明確かつ適正に定められていましたか。	1	2	③	4
質問の主旨					
事前に「行政が行う部分」と「市民公益活動団体が行う部分」といった役割、責任や事業費の分担が、十分な話し合いのもとに明確かつ適正に(契約書や協定書等で)定められ、共有されていたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	「3」の評価理由:昨年度の協働事業の中で、お互いの役割分担については確認できていたが、別途契約書等により定められてはいなかった。				
団体	共催の相手が市(子育て支援課)と、むいから民家園の二つであった。団体側の実施責任者が双方と、密に連絡を取り、万全の準備をしたことでスムーズな進行が保障されたと考える。責任分担について、文書で約束を取り交わすことはせず、その都度の話しあいでの解決できたが、この点は、次年度以降への課題である。				

市民協働事業評価アンケート

事業実施中についての質問		評価			
4	それぞれの役割をそれぞれが適切に遂行できたと思いますか。	1	2	3	④
質問の主旨 事前に分担されたそれぞれの役割を、両者が責任を持って適切に遂行できたか。実際は一方だけがほとんどの部分を担っていたということがなかったか。					
5	事業実施中に意見交換や情報交換を十分に行うことができましたか。	1	2	3	④
質問の主旨 事業実施中に、事業の進捗状況や改善点等について意見交換や情報交換を十分に行うことができたか。					
6	事業実施中に発生した問題や修正すべき点に対し、連携して柔軟に対応できましたか。(C.を確認して記入してください。)	1	2	3	④
質問の主旨 事業実施中に、予定外の事態が発生したり事業計画を変更・修正しなければならなくなった場合に、両者が連携して調整し、柔軟に対応することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	双方の役割について、お互いがしっかりと認識できていたため、事業をスムーズに進められたと感じている。 「6」の評価理由：事業実施中に発生した問題点等がなかった。				
団体	物品購入依頼や、機材確保等について迅速に対応してもらえて助かった。対応してもらえない場合には、団体独自で対応する用意はあったものの、行政が組織で動くことのメリットを実感した。				
事業実施後についての質問		評価			
7	目標に対する達成感について、実感を共有できたと思いますか。	1	2	3	④
質問の主旨 協働事業を行うにあたり設定されていた目標に対する事業終了後の達成感について、両者が実感を共有できたか。					
8	協働事業として実施して、単独実施あるいは他の手法と比べて効果が上がったと思いますか。	1	2	3	④
質問の主旨 いくつかある事業形態の中から「行政と市民公益活動団体の協働」により事業を実施してみて、他の形態で実施するよりも効果が上がったと実感できたか。					
9	事業終了後に事業を振り返り、次回に活かすための話し合いの場を設け、十分に話し合うことができましたか。	1	2	③	4
質問の主旨 事業終了後に、お互いが今後の活動に活かすため事業の振り返りを行ったか。また、話し合いの場を設けてそれぞれの振り返りを共有し、検証・評価することができたか。					
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	開催日当日にその日の振り返りは行い、次回の課題など意見が出ることもあったが、次回に結びつけるための打ち合わせ等ができていなかった。				
団体	担当課の管理職はじめ、担当職員が最初から最後まで活動の場所に留まってくれたことに「委託」ではない「協働」の意味が感じられた。毎回の事業ごとの当日反省会では、意見を出し合っている。事業の振り返りや次回に活かすためのまとめて話し合う時間は取らずに来た。適宜、メールでのやり取りや、スタッフを通じた意見交換は日常的にある。				

市民協働事業評価アンケート

事業全体を振り返っての質問		評価			
10	今回の協働事業が市民に対して効果があったと思いますか。	1	2	3	④
	質問の主旨				
	今回行った協働事業が受益者である市民にとって効果があったか。				
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					
行政	多くの子育て中の親子が事業に参加することで、遊びの中から、子育てについて学び合う場、交流する場を提供することができた。				
団体	障害のある人や手のかかる子、乳幼児が参加しても気兼ねなく楽しめるよう遊びやイベントを選定し、専門性のあるメンバー(スタッフ含め)を配置している。「支援の必要な子」に対しての見えない配慮が、その他の多くの通常発達の親子にとっても居心地のよい空間を作りだしている。父子での参加、母が遅れて合流など、さまざまな参加のスタイルがある。土曜日に小さい子を連れて行ける場所が少なく、毎回多くの参加者があることから見て、このような事業が市民に求められていると考える。お弁当持ちで長時間過ぎて帰る親子も多かったが、「むいから民家園」というゆったりした空間が、市民ニーズに合致しているのと思う。				

自由意見記入欄 (市民協働に関するご意見を、ご自由にお書きください)	
行政	なし
団体	市民協働の事業は、市民の側からの提案を行政が(しづしづ)受ける形で始まることが多いと思うが、当事業は、市の側から提案があり、団体側がもともと実施したかった事業内容であったため、スムーズにスタートできた。前提として21年度市民協働提案事業(子育て支援ネットワークマップ 通称「育ちの森マップ」)作成と毎年の更新のために、市と団体が継続的に連絡を取り合い、信頼関係が構築されていたことが大きい。市民協働においてもっとも大切なことは、日常的な行政と団体・市民との協働関係、信頼関係であると考え。市の他のセクションでも市民(団体)との協働にもっと慣れ、日常的な連携を図っていただきたい。市民団体側メンバーは開庁時間内に市役所に行くことが難しいため、主としてメールによる情報交換が確保されていたことで助けられた。テレビ電話、テレビ会議システムなど、もっとITを駆使した行政と市民の情報共有ができるとよい。行政側の担当者の異動によって、事業の目的や進め方の細部が引き継がれない点がもっとも危惧される。その部分は、ずっと人が入れ替わらない「市民」「団体」の側が引き受けていかねばならないのかもしれないが、団体にとって荷が重いのは事実である。「協働調整担当」が実際に団体と市の調整機能(コーディネーター役)を持ち、市民に見える形で協働の入口、相談窓口を担ってくれるとなじみやすいかもしれない。福祉の分野で強調されている「ワンストップサービス」が、市民協働においても検討されてほしい。

意見交換記入欄 (問題点・課題等を箇条書きで、ご自由にお書きください。)	
【行政側の意見】 ・保育や療育など各分野の専門家が揃っており、子育て相談ができることについてチラシにも載せているので、各スタッフがそれぞれ相談に対応していた。各スタッフが受けた相談について記録としてまとめる等共有が図れば、より良い支援に繋がるのではないと思う。 ・開催当日に、個々の役割ごとに振り返りを行うことができたため、課題や反省点が出ることもあったが、次回に結びつける打ち合わせがなく、課題等が活かされたかの確認ができなかった。 ・むいから民家園の共催を受けていることを活かして、むいから民家園の紹介や、日本の伝統文化の継承についてもっとアピールできれば良い。 ・市民協働団体には、行政にはない企画力、人材、ネットワークが備わっており、明確な役割分担のもと、協働のメリットを活かした事業が実施できた。 【団体側の意見】 ・会場で行う子育て相談について、記録を残すかどうかについては、団体内でも話しあったことがあるが、気軽なしつらえでの相談であり、相談者の側の「相談する」という意識が不明確であること、来場者が粕江市民とは限らないこと、などから、件数だけは記録するがサマリーは残さないことにした。ただ、「さらにじっくり相談したい場合にはこういう窓口があります」と、『育ちの森マップ』を渡している。 ・当日のふりかえりの別に、次回に結びつけるようなまとめた打ち合わせ(検証)の時間が必要である。 ・回を重ねて、運営にも余裕が出てきているので、今後は、市から意見のあった、むいから民家園のアピール、伝統文化の継承といった視点を取り入れて行けるとよい。 ・行政の担当者は異動による変更が予測されるので、実施の詳細をマニュアル的な印刷物にして残しておくことが必要であると考えている。	

市民協働事業評価アンケート

市の 担当部署					団体名										
事業名															
実施期間	平成		年		月		日	～	平成		年		月		日
A.事業の明確・ 具体的な目標															
B.事業の意義・ メリット															
C.事業実施中 に発生した 問題・修正点等															

評価基準	1:まったくできなかった	2:良くできなかった	3:良くできた	4:大変良くできた
------	--------------	------------	---------	-----------

事業実施前についての質問		評価			
1	協働事業についての明確・具体的な目標を、両者で共有されていたと思いますか。(A.を確認して記入してください。) 質問の主旨 協働事業を行うにあたり、事前に市民のニーズや社会情勢を踏まえた明確かつ具体的な目標が設定され、その目標が両者の間で認識の相違なく共有されていたか。	1	2	3	4
2	単独実施ではなく、協働で行うことについての意義やメリットについて、お互いに共通の認識をしていたと思いますか。(B.を確認して記入してください。) 質問の主旨 行政あるいは市民公益活動団体が単独で実施するのではなく、両者が協働で実施する。その意義(なぜ協働で行うのか)や、協働で行うことで「より高い事業効果につながる」等のメリットが、お互いに認識の相違なく共有されていたか。	1	2	3	4
3	事前に役割分担は明確かつ適正に定められていましたか。 質問の主旨 事前に「行政が行う部分」と「市民公益活動団体が行う部分」といった役割、責任や事業費の分担が、十分な話し合いのもとに明確かつ適正に(契約書や協定書等で)定められ、共有されていたか。	1	2	3	4
その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。					

事業実施中についての質問		評価			
4	それぞれの役割をそれぞれが適切に遂行できたと思いますか。 質問の主旨 事前に分担されたそれぞれの役割を、両者が責任を持って適切に遂行できたか。実際は一方だけがほとんどの部分を担っていたということがなかったか。	1	2	3	4
5	事業実施中に意見交換や情報交換を十分に行うことができましたか。 質問の主旨 事業実施中に、事業の進捗状況や改善点等について意見交換や情報交換を十分に行うことができましたか。	1	2	3	4
6	事業実施中に発生した問題や修正すべき点に対し、連携して柔軟に対応できましたか。(C.を確認して記入してください。) 質問の主旨 事業実施中に、予定外の事態が発生したり事業計画を変更・修正しなければならなくなった場合に、両者が連携して調整し、柔軟に対応することができたか。	1	2	3	4

市民協働事業評価アンケート

その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。

事業実施後についての質問

評価

7	目標に対する達成感について、実感を共有できたと思いますか。	1	2	3	4
	質問の主旨				
	協働事業を行うにあたり設定されていた目標に対する事業終了後の達成感について、両者が実感を共有できたか。				
8	協働事業として実施して、単独実施あるいは他の手法と比べて効果が上がったと思いますか。	1	2	3	4
	質問の主旨				
	いくつかある事業形態の中から「行政と市民公益活動団体の協働」により事業を実施してみて、他の形態で実施するよりも効果が上がったと実感できたか。				
9	事業終了後に事業を振り返り、次回に活かすための話し合いの場を設け、十分に話し合うことができましたか。	1	2	3	4
	質問の主旨				
	事業終了後に、お互いが今後の活動に活かすため事業の振り返りを行ったか。また、話し合いの場を設けてそれぞれの振り返りを共有し、検証・評価することができたか。				

その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。

事業全体を振り返っての質問

評価

10	今回の協働事業が市民に対して効果があったと思いますか。	1	2	3	4
	質問の主旨				
	今回行った協働事業が受益者である市民にとって効果があったか。				

その他特記事項・評価の理由・補足事項等をご記入ください。

自由意見記入欄

(市民協働に関するご意見を、ご自由にお書きください)

意見交換シート

意見交換記入欄

(問題点・課題等を箇条書きで、ご自由にお書きください。)

意見交換日(月 日 曜日)